

奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事

図 面 リ ス ト							
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	備 考	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	備 考
M-01	表紙・図面リスト	—		M-22	物質創成科学E棟 屋階高置水槽回り更新ステップ図（1）	1/100, 1/50	
特-01	特記仕様書（1）	—		M-23	物質創成科学E棟 屋階高置水槽回り更新ステップ図（2）	1/100, 1/50	
特-02	特記仕様書（2）	—		M-24	各棟 アンカーボルト位置平面図（参考図）	1/50	
特-03	特記仕様書（3）	—		M-25	衛生設備 機器表（撤去）	—	
M-02	案内図、配置図	1/2,000		M-26	情報科学A棟 屋階高置水槽回り詳細図（撤去）	1/100, 1/50	
M-03	情報科学A棟 地階平面図	1/250		M-27	バイオサイエンスC棟 屋階高置水槽回り詳細図（撤去）	1/100, 1/50	
M-04	情報科学A棟 屋階平面図	1/250		M-28	物質創成科学E棟 屋階高置水槽回り詳細図（撤去）	1/100, 1/50	
M-05	バイオサイエンスC棟 屋階平面図	1/250		M-29	各棟 屋階仮設足場平面図	1/100	
M-06	物質創成科学E棟 屋階平面図	1/200		M-30	事務局別館 地階平面詳細図（撤去、改修）	1/50	
M-07	事務局別館 地階、1階平面図	1/100		E-01	情報科学A棟 自動制御・動力設備 地階平面図（改修）	1/100	
M-08	情報科学A棟 断面図（参考図）	1/200		E-02	情報科学A棟 自動制御設備 屋階平面図（改修）	1/100	
M-09	バイオサイエンスC棟 断面図（参考図）	1/200		E-03	バイオサイエンスC棟 自動制御設備 屋階平面図（改修）	1/100	
M-10	物質創成科学E棟 断面図（参考図）	1/200		E-04	物質創成科学E棟 自動制御設備 屋階平面図（改修）	1/100	
M-11	事務局別館 断面図（参考図）	1/100		E-05	事務局別館 自動制御・動力設備 地階、1階平面図（改修）	1/100	
M-12	衛生設備 機器表（改修）	—		E-06	情報科学A棟 自動制御・動力設備 地階平面図（撤去）	1/100	
M-13	情報科学A棟 給水設備系統図（改修）	—		E-07	情報科学A棟 自動制御設備 屋階平面図（撤去）	1/100	
M-14	情報科学A棟 地階ポンプ室平面詳細図（撤去、改修）	1/50		E-08	バイオサイエンスC棟 自動制御設備 屋階平面図（撤去）	1/100	
M-15	情報科学A棟 屋階高置水槽回り詳細図（改修）	1/100, 1/50		E-09	物質創成科学E棟 自動制御設備 屋階平面図（撤去）	1/100	
M-16	情報科学A棟 屋階高置水槽回り更新ステップ図（1）	1/100, 1/50		E-10	事務局別館 自動制御・動力設備 地階、1階平面図（撤去）	1/100	
M-17	情報科学A棟 屋階高置水槽回り更新ステップ図（2）	1/100, 1/50					
M-18	バイオサイエンスC棟 屋階高置水槽回り詳細図（改修）	1/100, 1/50					
M-19	バイオサイエンスC棟 屋階高置水槽回り更新ステップ図（1）	1/100, 1/50					
M-20	バイオサイエンスC棟 屋階高置水槽回り更新ステップ図（2）	1/100, 1/50					
M-21	物質創成科学E棟 屋階高置水槽回り詳細図（改修）	1/100, 1/50					

訂正 令和 年 月 日						設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 課長 課長補佐 係長 担当者	工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	年度 令和 7 年度	
									図面名称 表紙・図面リスト	縮尺 —	図面番号 M-01



奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事

I 工事概要

1. 工事場所 奈良県生駒市高山町8916番地の5、19

2. 完成期限 令和 8 年 3 月 13 日（金曜日）

3. 建物概要

建物名称	情報科学A棟	バイオサイエンス棟	物質創成科学E棟	事務局別館
工種	修繕	修繕	修繕	修繕
構造	SR	SR	SR	S
階数	7-1、7	7-1	6-1	3-1
建築基準法による	建築面積(m <sup>2</sup> ) 延べ面積(m <sup>2</sup> )	— 9,402㎡	— 8,845㎡	— 7,106㎡
2.125㎡				
消防法施行令別表第一の区分	(7)項	(7)項	(7)項	(7)項
改修面積(m <sup>2</sup> )	291㎡・36㎡	34㎡	34㎡	80㎡
備考				

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

工事種目	情報科学A棟	バイオサイエンスC棟	物質創成科学E棟	事務局別館
○空調調和設備				
○換気設備				
○排煙設備				
●自動制御設備	一式	一式	一式	一式
●動力設備	一式			一式
○衛生器具設備				
●給水設備	一式	一式	一式	
○排水設備				
○給湯設備				
●消火設備	一式			一式
○ガス設備				
○雨水利用設備				
●撤去工事	一式	一式	一式	一式

5. 指定部分 ● 無 ○ 有 対象部分（指定部分工期 年 月 日）

6. 概成工期 ● 無 ○ 有 令和 年 月 日（曜日）  
（第1編1.1.2）（第1編1.1.2）

7. 設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設 備 概 要
空調方式	○ 空冷ヒートポンプ空調調和機式
主要熱源機器	○ 空冷ヒートポンプ空調調和機式
自動制御方式	○ 電気式 ○ 電子式 ○ デジタル式
給水方式	● 高置タンク方式 ○ 直圧方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○合流式 ○分流水） ポンプ排水 ○有（○汚物 ○雑排水 ○湧水） ○無 排水槽 ○有（計画容量 m <sup>3</sup> ） ○無 建物外放流先 (1) 汚水 ○直放流下水管 (2) 雑排水○直放流下水管
消火設備の種類	●屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 不活性ガス消火設備 ○（ ）
ガスの種類	○都市ガス（種別 13A、高位発熱量45.0MJ/m <sup>3</sup> (N) 低位発熱量40.6MJ/m <sup>3</sup> (N) 供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名 大阪ガス（株） ○液化石油ガス

※改修の場合は既存概要を示す

II 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学工事請負契約細則（別記第1号）の工事請負契約基準、現場説明書、図面4.0枚及び本特記仕様書3枚によるほか、●印の付いたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
- 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）
- 文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）（以下「文科仕様書」という。）
- 文部科学省機械設備工事標準図（特記基準）（平成31年版）（以下「文科標準図」という。）
- 工事写真撮影要領（令和5年版）

(2) 建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
- 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）
- 文部科学省電気設備工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）（以下「文科仕様書」という。）
- 文部科学省電気設備工事標準図（特記基準）（令和4年版）（以下「文科標準図」という。）

2. 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

1) 項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

2) 項目に記載の（第 編 ）内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。

3) 項目に記載の〔第 編 ）内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。

4) 項目に記載の＜第 編 ）内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

章 項 目 特 記 事 項

● 一 般 共 通 事 項

○ 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

○ 風圧力

風速 (V<sub>0</sub>= m/s)

○ 地表面粗度区分 ( )

○ 積雪荷重

建設省告示第1455号における区域 別表 ( )

この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項 目 名 電気保安技術者

1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者 ●

2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ●

3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者 ●

4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者 ●

5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者 ●

6. 第1種電気工事士の資格を有する者 ●

7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ●

8. 第2種電気工事士の資格を有する者 ●

9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において、一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者 ○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

● 施工条件

(第1編1.3.3)

[第1編1.3.3]

● 環境への配慮

(第1編1.4.1)

[第1編1.4.1]

● 機材の品質等

(第1編1.4.2)

[第1編1.4.2]

● 機材の検査等・機材の検査に伴う試験

(第1編1.4.5～6)

[第1編1.4.5～6]

● 施工調査

[第1編1.5.1～3]

○ 技能士

(第1編1.5.2)

[第1編1.6.2]

● 施工の検査等・検査に伴う試験・立会い等

(第1編1.5.4～6)

[第1編1.6.5～7]

○ 技術検査

(第1編1.6.2)

[第1編1.7.2]

● 完成時の提出図書

(第1編1.7.1～5)

[第1編1.8.1～6]

● 石綿含有材料の事前調査

[第1編4.1.2]

○ 他工事又は他工種との取り合い

○ 電動機

(第2編1.2.1)

[第2編1.2.1]

● 電源周波数

● 容量等の表示

● 総合試運転調整

(第2編1.3.1～3)

[第2編1.3.1～3]

● 足場その他

(第2編4.1.1)

[第1編2.2.1]

監督職員が行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機 材 名 検 査 試 験 備 考

高置水槽 ● ○ 簡易専用水道検査

ポンプ類 ● ○ 消防検査

事前調査 ● 本工事 ○ 別途

調査内容 ● 既存資料調査

調査項目 ● 図示 ● 配管・配線経路等

調査範囲 ● 図示 ● 既存図面調査、現場立会調査

調査方法 ● 図示 ● 既存図面調査、現場立会調査

下記の職種及び作業に適用する。

下記の施工部分は、監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

施 工 部 分 検 査 立 会 試 験 備 考

断水作業 ○ ○ ○

配管撤去時 ● ○ ○

機器撤去時 ● ○ ○

配管施工時 ● ○ ○ 保温前

機器設置時 ● ○ ○

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名 称 体 裁 等

● 完成図・施工図 CADデータ（電子納品）及び電子データ

● 完成図・施工図 原図 ○ A1版（ 部） ● A3版（ 1 部）

● 完成図・施工図 複写図 仮製本 ○ A1版（ 部） ● A3版（ 2 部）

● 完成図・施工図(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）

● 機器完成図(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）

● 試験成績書(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）

● 官公庁書類(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）

● 保全指導書(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）

● 工事写真帳 ● 紙媒体（ 1部） ● 電子データ（電子納品）

※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。

電子納品は次による。

(1) 貸与する設計図CADデータの著作権者名：国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

ファイル形式：JWW

貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図以外に使用しないこと。

(2) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。

(3) 電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。

(4) 提出方法及びファイル形式は以下による。

CADデータ：JWW、DXF及びPDF

提出方法：CD又はDVDに保存し、 部提出する。

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有材料の事前調査を行う。

● 採取箇所：給水設備における配管保温材

● サンプル数：各棟 1 箇所（1 箇所あたり 3 検体）

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

○ 5 0 H z ● 6 0 H z

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

● 本工事 ○ 別途

調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）

○ 風量調整 各空調換気設備

○ 水量調整

○ 室内外空気の温湿度の測定

○ 室内気流及びじんあいの測定

○ 騒音の測定

● 飲料水の水質の測定 1 6 項目 各水槽 1 検体

○ 雑用水の水質の測定

○ その他

○ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で利用できる。

● 本工事で設置する。（ M-30 図参照）

○ 内部足場（ ○ 種 ○ 種）

○ 外部足場（ ○ 種 ○ 種）

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

○ 埋め戻し土・盛土

(第2編4.2.1)

[第2編7.1.1]

○ 建設発生土の処理方法

(第2編4.2.1)

[第2編7.1.1]

● 耐震措置

○ 根切り土の良質土 ○ 山砂の類

以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。

○ 構内敷きならしとする。 ○ 構外に搬出し、適切に処分する。

設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。

(1) 機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0、及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

機器種別	機器	○ 特定の施設		● 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

1. 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

2. 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

3. 水槽類にはオイルタンクを含む。

4. 重要機器は次による。

[名称：高置水槽、記号：TWH-1（情報科学A棟）]

[名称：高置水槽、記号：TWH-1A（バイオサイエンス棟）]

[名称：高置水槽、記号：TWH-1（物質創成科学E棟）]

[名称：消火ポンプユニット、記号：PFU-1（情報科学A棟）]

[名称：消火ポンプユニット、記号：PFU-B-1（事務局別館）]

(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とする。

● 配管

(第2編第2章)

[第2編第2章]

<第2編1.1.1>

<第2編2.1.1>

○ 地中埋設標等

(第2編2.7.1～3)

○ 絶縁継手

(第2編2.2.12)

[第2編2.2.1]

● 試験

(第2編2.9.1～5)

[第2編2.7.1～5]

● 保温

(第2編3.1.1～6)

[第2編3.1.1～3]

保温仕様は下記によるものとし、下記以外のものは標準仕様書による。

施 工 箇 所	保 温 仕 様						備 考
	屋内露出	天井	機械室倉庫	床下	屋外露出	保温無	
外気取入ダクト、排気ダクト	・	・	・	・	・	・	室内排気ダクトは外壁部より1m以内とする
消火設備の機器、配管等	・	・	・	・	・	・	
共同構内給水管	・	・	・	・	・	・	
弁類（給水・給湯）	●	●	●	●	●	・	

○ 口径38.10mm以下の冷媒管は、冷媒用被覆断熱管を用いる場合は、保温材厚さは液管で10mm、ガス管で20mmとする。ただし、液管に使用する口径9.52mm以下の配管については、保温材厚さは8mmとしてもよい。

○ 図示された部分を除き冷媒用被覆断熱管の保温が装は下記による。

..... 屋内露出部：合成樹脂製カバー、屋外露出部：ステンレス鋼板 .....

次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。

○ 屋外：○ドレン管（○指定色塗装 ○ ）

● 金属電線管（○溶融亜鉛めっき仕上げ[付着量300 g / m<sup>2</sup>以上] ● 指定色塗装）

○ 屋内：○金属電線管（○溶融亜鉛めっき仕上げ ○ 指定色塗装）

電線及びケーブルはエコマテリアル仕様とする。

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する

○ 走査式埋設物調査 ○ 放射線透過検査

訂正 令和 年 月 日

設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務

設計年月日 令和 7 年 6 月 日

整理番号

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

課長 課長補佐 係長 担当者

工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事

図面名称 特記仕様書（1）

年度 令和7年度

縮尺 図面番号 特-01

株式会社新日本設備計画

密

秘

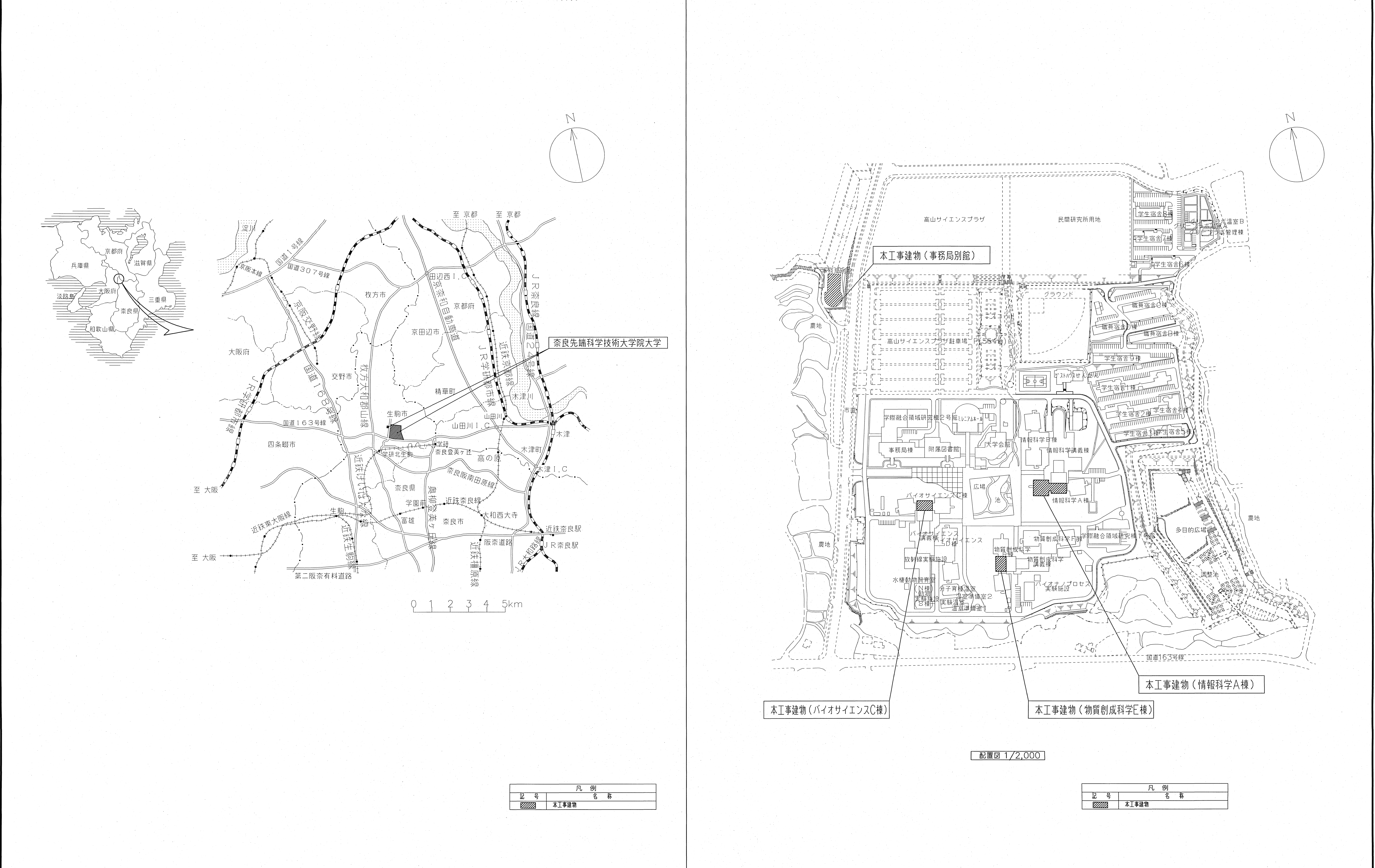


<div>○空気調和設備</div> <div>○設計温湿度</div> <table><tr><td></td><td colspan="2">外 気</td><td colspan="2">一般系統</td><td colspan="4">屋 内</td></tr><tr><td></td><td>温 度</td><td>湿 度</td><td>温 度</td><td>湿 度</td><td>温 度</td><td>湿 度</td><td>温 度</td><td>湿 度</td></tr><tr><td>夏 季</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 季</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table> <div>○鋼板製煙道 (第3編1.1.3) [第3編1.1.1]</div> <div>○ダクト (第3編1.14.1 ~3) [第3編1.2.1]</div> <div>○チャンパー (第3編1.14.4) [第3編1.2.1]</div> <div>○ダンパー (第3編1.15.6 ~14) [第3編1.3.1]</div> <div>○配管材料 (第2編2.1.1 ~2) [第2編2.1.1] &lt;第2編2.1.1&gt;</div> <div>○弁類 (第2編2.2.1 ~6) [第2編2.1.1]</div> <div>○保温及び 消音内貼 (第2編3.1.1 ~2) [第2編3.1.1] [第2編3.1.3]</div> <div>○ダクト (第3編1.14.1 ~3) [第3編1.2.1] &lt;第3編1.2.1 ~4&gt;</div> <div>○ダンパー (第3編1.15.6 ~14) [第3編1.3.1]</div> <div>○シールする 排気ダクト の系統</div> <div>○チャンパー (第3編1.14.4) [第3編1.2.1]</div> <div>○保温 (第2編3.1.4) [第2編3.1.3]</div>		外 気		一般系統		屋 内					温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	夏 季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	冬 季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	<div>○排煙設備</div> <div>○ダクト (第3編1.14.1) [第3編1.2.1]</div> <div>○排煙口の形式</div> <div>○排煙口開放及び 復帰方式</div> <div>○排煙風量測定</div> <div>●自動制御設備</div> <div>○システム構成 その他</div> <div>●電気計装用配線 (第4編1.5.1) [第4編1.2.1]</div> <div>○衛生器具設備</div> <div>○自動洗浄装置 及びその組み込 み小便器</div> <div>○自動水栓の 電源種別 (第5編1.1.7) [第5編1.1.1]</div> <div>○衛生器具 (第5編1.1.3) [第5編1.1.1]</div> <div>●給水設備</div> <div>●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</div> <div>●量水器 (第2編2.2.16) [第2編2.1.1]</div> <div>○量水器併 (第5編1.8.4) [第5編1.1.1]</div> <div>●弁類 (第2編2.2.1 ~6) [第2編2.2.1]</div> <div>○水栓柱 (第2編2.2.23) [第2編2.1.1]</div> <div>○管の地中埋設 深さ (第2編2.7.2) [第2編2.5.2]</div> <div>○建築物導入部</div> <div>○引込納付金等</div>	<div>○垂鉛鉄板    ○普通鋼板 (厚 1.6mm)</div> <div>○パネル形 (○天井取付    ○壁取付) ○スリット形 (○天井取付    ○壁取付) ○ダンパー形 (○天井内取付    ○)</div> <div>○電気式 (遠隔操作    ○要    ○不要) 排煙口から手動解放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1 表4.1.11による耐熱・耐火ケーブルとする。 建築設備定期検査業務基準書 2016年版 (一財)日本建築設備・昇降 機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。</div> <div>別図による。</div> <div>屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。</div> <div>○個別感知フラッシュ方式 (○AC電源    ○自己発電)</div> <div>○AC電源    ○自己発電    ○</div> <div>別図による。</div> <div>●配管材料は ( ● 下記による。 ○ 図示による。 ) (1) 一般配管    ● 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VB) (水槽内の水管部を含む) ● 配管用炭素鋼鋼管 (白) (水槽内・バ・ブ・ドレン管) (2) 地中配管    ○ (3) 水道直結配管    ○引き込みは水道事業者の指定により、量水器 以降の地中埋設配管は (○) とし、 他の部分は (1) による。</div> <div>○親メーター (○現地表示式 (直読式)    ○遠隔表示式 (○電文式    ○バ・ル式)) (○貸与品    ○)</div> <div>●子メーター (○現地表示式 (直読式)    ● 遠隔表示式 (○電文式    ● バ・ル式)) (○買取り    ○)</div> <div>○水道事業者指定品 (○ 貸与品    ○買取り)    ○標準図MC形</div> <div>●揚水配管の耐圧は、1.0K とする。 ●高置水槽からの供給配管の耐圧は、5K とする。 ○水道直結部分の耐圧は、1.0K とする。 ●管端防食ねじ込み形弁 (50A以下) ウェハ形コック・シャワー弁 (65A以上)</div> <div>○</div> <div>埋設深さ (管の上端深さ) は原則として、 車両通行部分は (○600mm    ○    mm) その他の部分は (○300mm    ○    mm) 以上とする。</div> <div>○建築物導入部の変位吸収方法は、標準図 (建築物導入部の変位吸収配 管要領) による。 (○ (a)    ○ (b)    ○ (c) ) ○別図による。</div> <div>○要 (○本工事 (    )    ○別途)    ○不要</div>	<div>○排水設備</div> <div>○配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1] &lt;第2編2.1.1&gt;</div> <div>○台所流し等の 排水管</div> <div>○満水試験継手</div> <div>○放流納付金等</div> <div>○給湯設備</div> <div>○配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</div> <div>○弁類 (第2編2.2.1 ~6) [第2編2.2.1]</div> <div>○保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3]</div> <div>●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</div> <div>○屋内消火栓種別 (第5編1.5.2) [第5編1.2.1]</div> <div>○屋内消火栓開閉 弁 (第5編1.5.2) [第5編1.2.1]</div> <div>○地中埋設配管の 接合</div> <div>○保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3]</div> <div>○不活性ガス消火 設備 (第5編1.5.6) [第5編1.2.2]</div> <div>○泡消火設備 (第5編1.5.8)</div> <div>○ガス設備</div> <div>○配管材料 (第6編2.1.1) [第6編2.1.1] (第6編3.1.1)</div> <div>○メーター (第6編2.1.7) [第6編2.1.1]</div> <div>○ガス漏れ警報器 (第6編2.1.3) [第6編2.1.1]</div> <div>○一般事項 (第11編1.1.1 ~3)</div> <div>○機 材 (第11編2.1.1 ~3)</div> <div>○施 工 (第11編2.2.1 ~2.3.1)</div>	<div>配管材料は (    ○ 下記による。    ○ 図示による。 ) (1) 屋内    雑排水管 汚水管 実験排水管 通気管 ポンプアップ管 (2) 屋外    第一樹まで 樹間 図示の位置に取り付ける。 ○要 (本工事 (    )    ○別途)    ○不要</div> <div>配管材料は (    ○ 下記による。    ○ 図示による。 ) ○ ○図示による。 (特記なき場合の耐圧は、5K とする。) ○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排気筒 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の 種別は標準仕様書第2編 3.1.5表2.3.5のh・f・g・k・l・m・n・o・p・q・r・s・t・u・v・w・x・y・zと する。</div> <div>配管材料は ( ● 下記による。 ○ 図示による。 ) (1) 屋内消火栓    一般配管    ● 配管用炭素鋼鋼管 (SGP (白) ) (2) 連結送水管    地中配管    ○ 一般配管    地中配管    ○ (3) ○広範囲型 2号消火栓    ○易操作性 1号消火栓    ○1号消火栓 ○2号消火栓 ○10K 外面被覆鋼管の呼び径100A以下はねじ接合とする。 ○屋外露出部分    ○有 (○e 2・(ハ)・Ⅶ    ○    )    ○無 別図による。 別図による。</div> <div>配管材料は (    ○ 下記による。    ○ 図示による。 ) ○都市ガス    一般ガス導管事業者の供給規定による。 ○液化石油ガス ○親メーター (○実測式    ○パルス式    ) (○貸与品    ○) ○子メーター (○実測式    ○パルス式    ) (○買取り    ○) ○本工事 (図示による)    ○別途工事 外部警報端子 (○無    ○有)</div> <div>1) ガスの種別は、下記による。 ○酸素    ○亜酸化窒素 (笑気)    ○治療用空気    ○二酸化炭素 ○吸引 (○水封式    ○油回転式)    ○麻酔ガス排除 (排ガス) ○圧縮空気 (○治療    ○手術機器駆動用) ○手術器械駆動用窒素</div>	<div>○特殊ガス等設備工 事</div> <div>○一般事項 &lt;第5編1.1.1 ~2&gt;</div> <div>○機 材 &lt;第5編2.1.1 ~2.4.3&gt;</div> <div>○施 工 &lt;第5編3.1.1 ~3.2.8&gt;</div> <div>○システム構成 その他</div> <div>○配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</div> <div>○量水器 (第2編2.2.16) [第2編2.1.1]</div> <div>○弁類 (第5編1.9.1) [第5編1.1.1]</div> <div>○事前調査 (第7編1.2.1)</div> <div>○掘削 (第7編2.1.1) (第7編3.1.1)</div> <div>○試験 (第7編3.1.4)</div> <div>●撤去工 事</div> <div>●撤去内容 [第1編4.1.1 ~4.2.4]</div> <div>●発生材の処理等 [第1編5.1.1 ~2]</div>	<div>1) ガスの種別は、下記による。 ○窒素ガス (○高純度    ○一般)    ○ヘリウムガス (○高純度    ○一般) ○水素ガス (○高純度    ○一般)    ○酸素ガス (一般) ○アルゴンガス (○高純度    ○一般)    ○炭酸ガス (一般) ○圧縮空気 (○高純度    ○一般)    ○圧縮空気 (空気圧縮機)</div> <div>別図による</div> <div>配管材料は (    ○ 下記による。    ○ 図示による。 ) (1) 一般配管    ○ (2) 集水管    ○ ○遠隔表示式 (パルス式)    ○現地表示式 (直読式) ○図面に特記なき場合の耐圧は、5K とする。</div> <div>下記の項目について事前調査を行う。 ○揚水井    ○地中熱交換井 ○既設井分布調査    ○既設井分布調査 ○法的規制調査    ○法的規制調査 ○地表探査    ○地質情報の収集、整理 (探査方法: 電気探査の比例抵抗法)    ○代表井による熱交換効率の把握 (測定方式: 直流型方式)    ○熱応答試験方法: (解析方法: 標準曲線法)    ○周辺環境調査 (騒音・振動測定)</div> <div>掘削工法は下記による。 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○回転振動式 ○ロータリーパーカッション式 地中熱交換器挿入完了後の水圧試験は下記による。</div> <div>図示による。</div> <div>発生材の処理は、下記による。 (1) 引渡しを要するもの 1) 品 名 2) 引渡し先 3) 集積場所 4) 集積方法 (2) 特別管理産業廃棄物 1) 品 名    石棉含有材 (含有が確認された場合) 2) 処理方法    関係法令に従い適切に処理する。 (3) 現場において再利用するもの 1) 品 名 2) 使用場所 (4) 再生資源化するもの 1) 品 名 (5) その他の発生材 1) 品 名    機器・配管・配線類 2) 処理方法    関係法令に従い適切に処理する。</div>
	外 気		一般系統		屋 内																																					
	温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度																																		
夏 季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																		
冬 季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																		
訂正 令和 年 月 日	設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 工事	年度 令和 7 年度																																					
株式会社新日本設備計画	課長	課長補佐	係長	担当者	図面名称 特記仕様書 (2)																																					
					縮尺 —																																					
					図面番号 特-02																																					

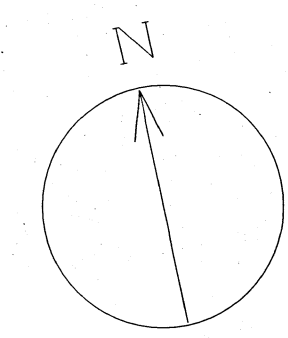
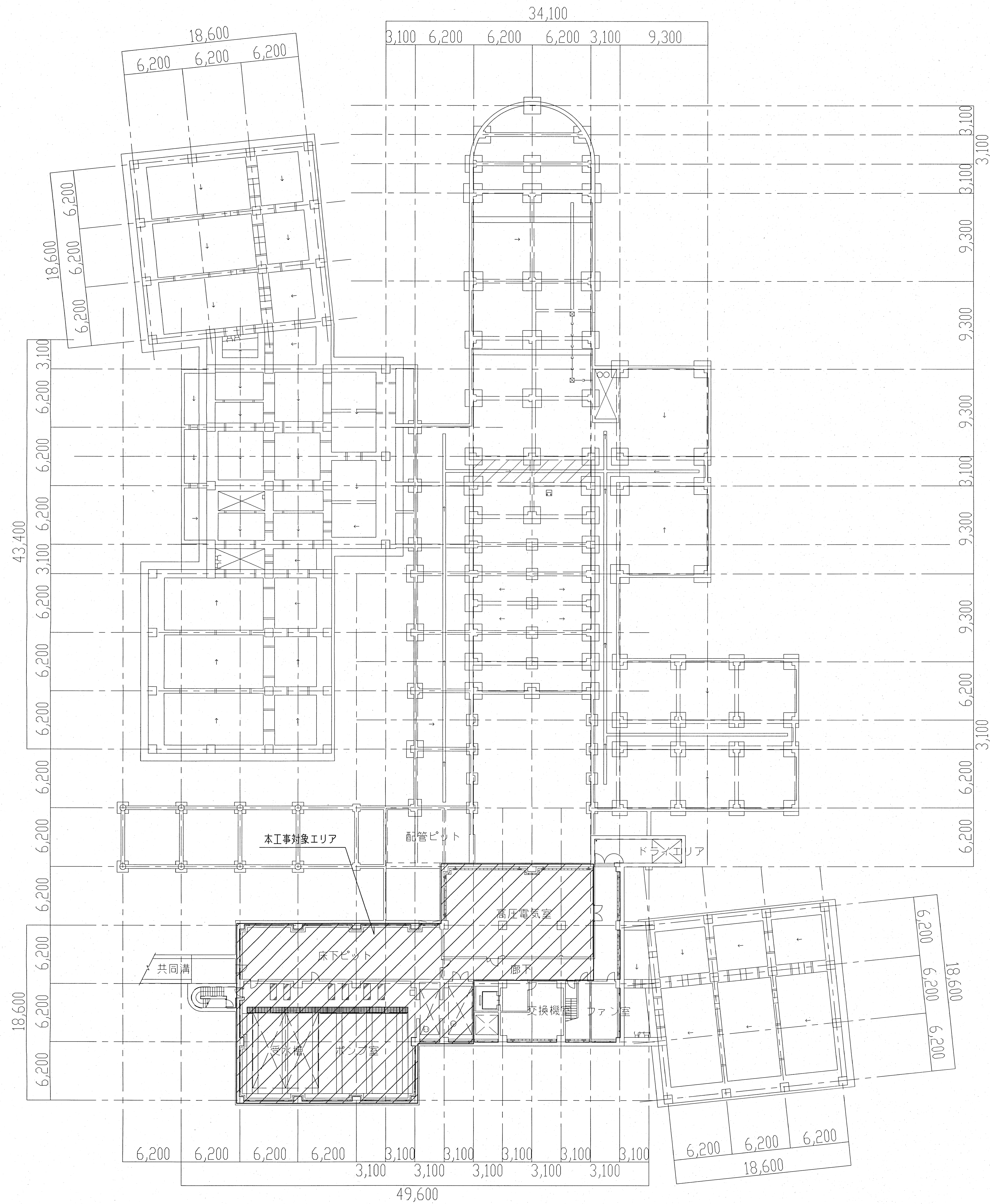







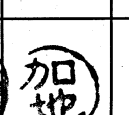
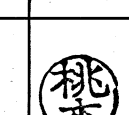
項 目				特 記 事 項				項 目				特 記 事 項							
● 電線・ケーブル等の規格 電気(第2編1.1.1) 電気(第6編1.1.1) 電気[第2編1.2.1]				電線・ケーブル等の規格、記号で公共仕様書に定める以外のものは下記による。				○ 特殊場所 電気(第2編2.1.1~9)				特殊場所は下記による。							
				呼 称								規 格		記 号		特 殊 場 所 の 内 容			
																適用する場所			
																危険場所の種別			
																危険物の種類			
● 電線保護物類の規格 電気(第2編1.2.1~10) 電気(第6編1.2.1~3)				電線保護物の規格で公共仕様書に定める以外のものは下記による。															
				呼 称								規 格		記 号					
○ ケーブルの 端末処理等 電気(第2編2.1.1) 電気[第2編2.1.2]				ケーブルの端末処理で、端末処理材を用いて処理する場所は下記による。															
				施工箇所及びケーブル種別		摘要													
				ケーブルの直線・分岐処理で、直線・分岐処理材を用いて処理する場所は下記による。															
				種 別		レジンモールド加工						モールド加工 (工場加工)							
				施工箇所及びケーブル種別															
● 電線の色別 電気(第2編2.1.3) 電気(第3編1.1.4) 電気[第2編2.1.4]				配線及び主回路の導体の色別は、次による。															
				● 標準仕様書による。															
				○ 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。															
				電気方式								第1相	第2相	第3相	中性相				
				高 圧	三相3線式	赤	白					青							
					三相3線式	赤	接地側 白					黒							
					三相4線式	赤	青					黒	白						
					単相2線式	赤(青)	接地側 白												
					単相3線式	赤	青								白				
				低 圧	直流2線式	青	白								白				
					(1) 分岐回路の色別							分岐前の色別による。							
					(2) 発電回路の第2相							接地側の電線の色は黄色とする(無停電回路含む)							
					(3) 切替回路の2次側							規定しない。							
					(4) 漏電遮断器回路の接地							専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。							
				分 電 盤 類	共通事項							配線(1)~(4)による。							
左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態			ア) 左右の別は、左からとする。 イ) 上下の別は、上からとし、直流2線式は、下からとする。 ウ) 遠近の別は、近いほうからとし、直流2線式は、遠いほうからとする。																
備考																			
(a) 配電盤類については、次による。																			
(1) 左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。																			
(2) 三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。																			
(3) 三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。																			
(b) 屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。																			
(c) 接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。																			
○ 非常照明装置の照度測定箇所 電気(第2編2.18.2) 電気[第2編2.20.2]				1部屋あたり 箇所以上測定し、監督職員に報告する。															
訂正 令和 年 月 日								設計業務名				設計年月日							
								奈良先端大 基幹・環境整備(給水設備Ⅱ)設計業務				令和 7 年 6 月 日							
												整理番号							
												国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学							
												課長							
												課長補佐							
												係長							
												担当者							
												工事名							
												奈良先端大 基幹・環境整備(給水設備Ⅱ)工事							
												年度							
												令和 7 年度							
												図面名称							
												特記仕様書(3)							
												縮尺							
												図面番号							
												- 特-03							



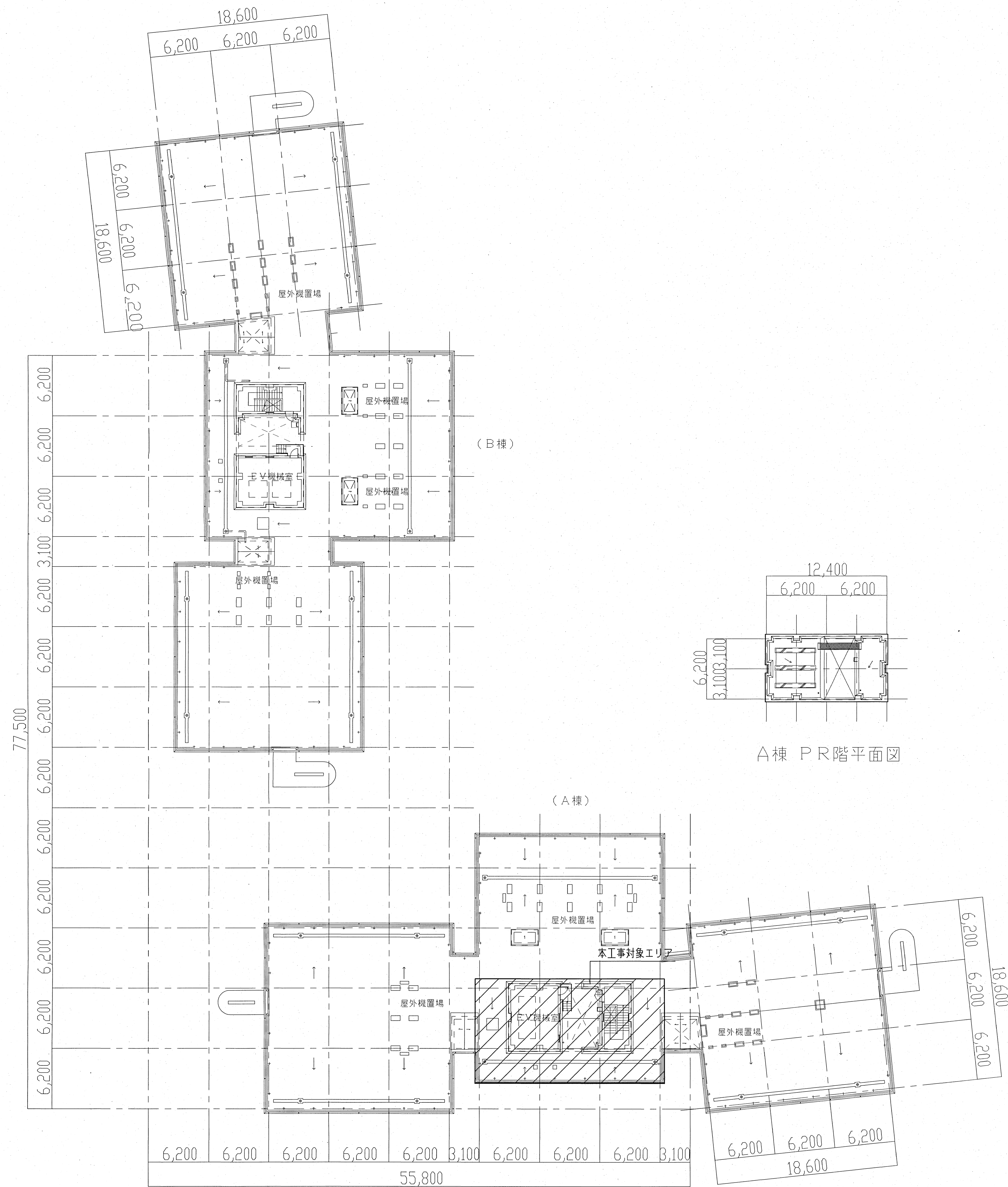




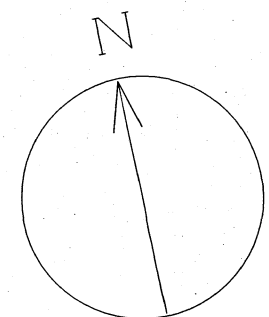


訂正 令和 年 月 日						設計業務名		設計年月日		工事名				年度
						奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務		令和 7 年 6 月 日		奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事				令和 7 年度
								整理番号		課長 課長補佐 係長 担当者				
										   				
		株式会社新日本設備計画   								図面名称				縮尺 図面番号
										情報科学A棟 地階平面図				A1:1/250 A3:1/500 M-03





A棟 P R階平面図

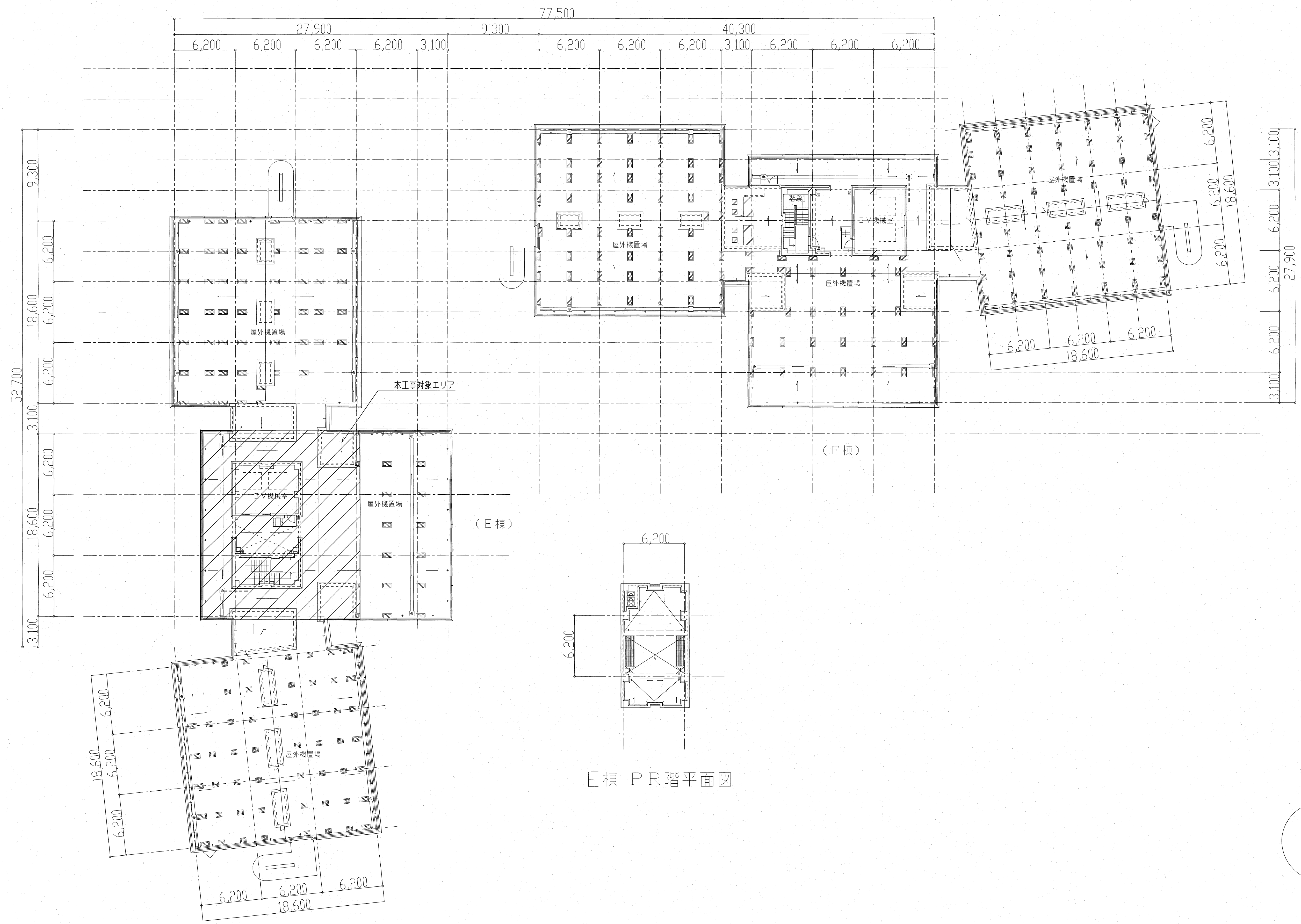


訂正 令和 年 月 日				設計業務名		設計年月日		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名		年度	
				奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務		令和 7 年 6 月 日		課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事		令和 7 年度	
						整理番号						図面名称		縮尺	図面番号
												情報科学A棟 屋階平面図		A1:1/250 A3:1/500	M-04

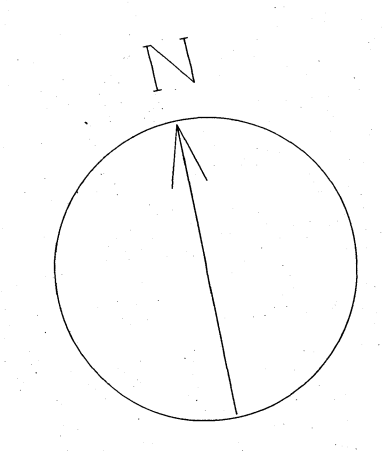




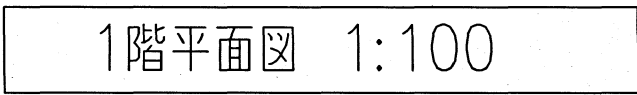
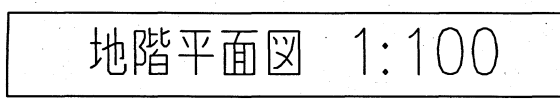




E棟 PR階平面図

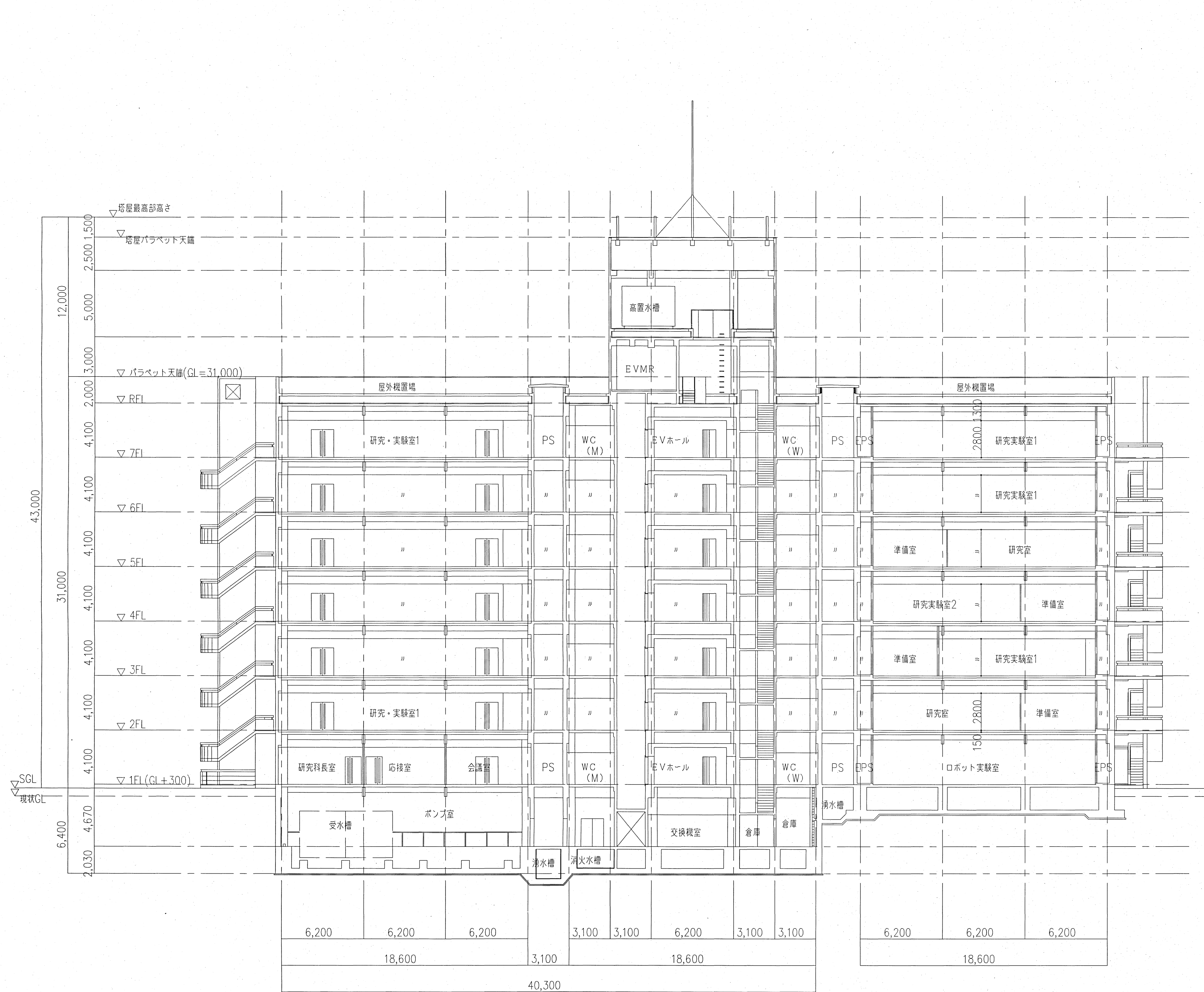


訂正 令和 年 月 日						設計業務名		設計年月日		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名		年度	
						奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務		令和 7 年 6 月 日		課長 課長補佐 係長 担当者				奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事		令和 7 年度	
								整理番号		④ ⑤ ⑥ ⑦				図面名称		縮尺 図面番号	
		株式会社新日本設備計画		⑧		⑨								物質創成科学E棟 屋階平面図		A1:1/200 A3:1/400 M-06	

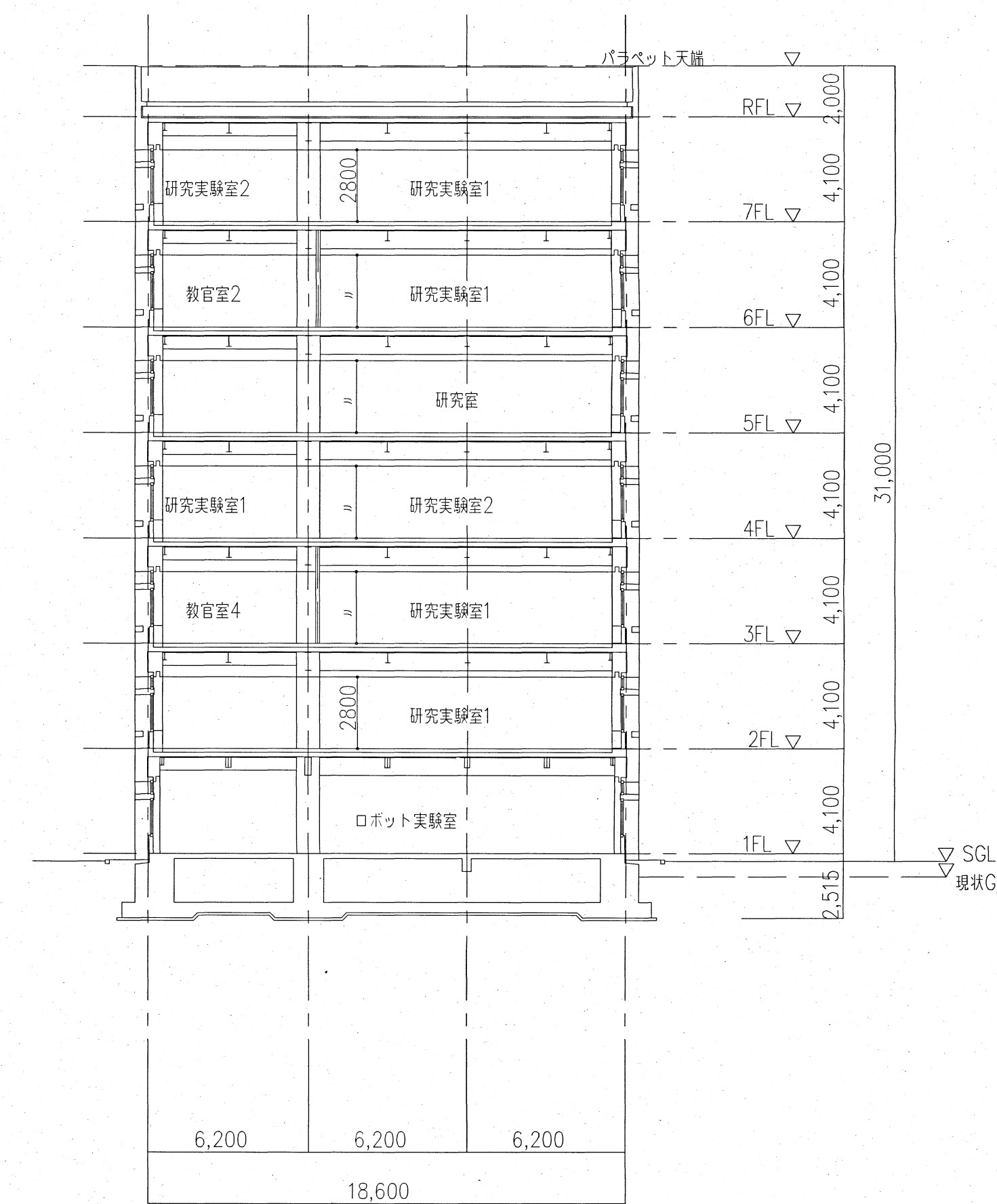
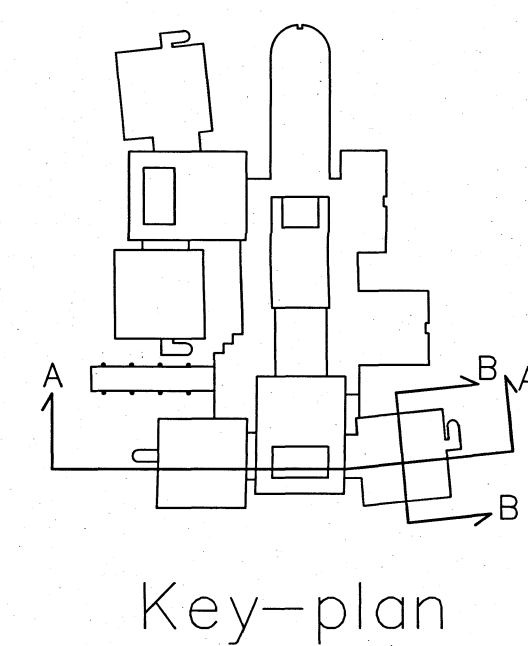


訂正 令和 年 月 日							設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	年度 令和 7 年度
									課長	課長補佐	係長	担当者		
								整理番号	①山	②岸	③園	④福	図面名称 事務局別館 地階、1 階平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
							株式会社新日本設備計画							M-07



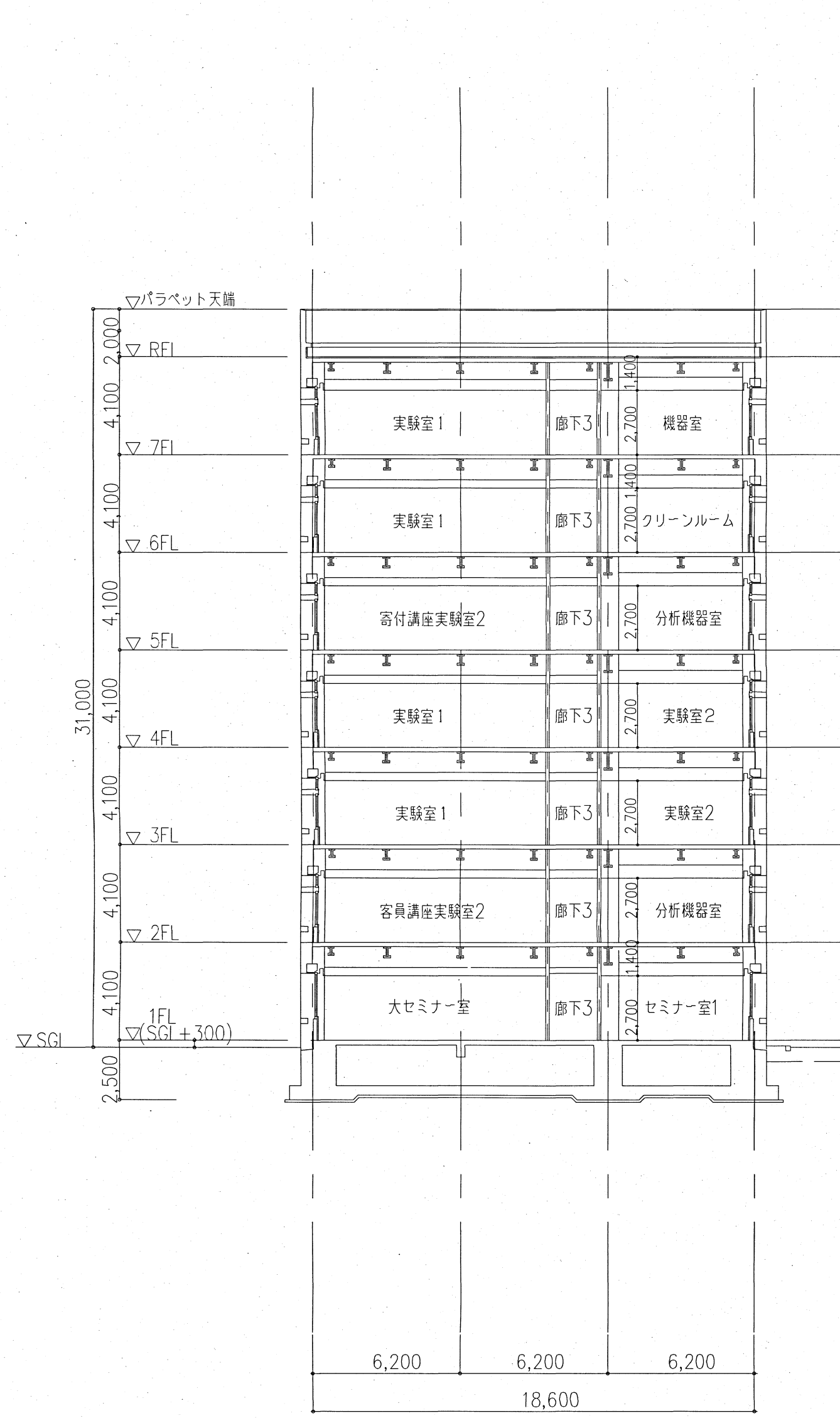
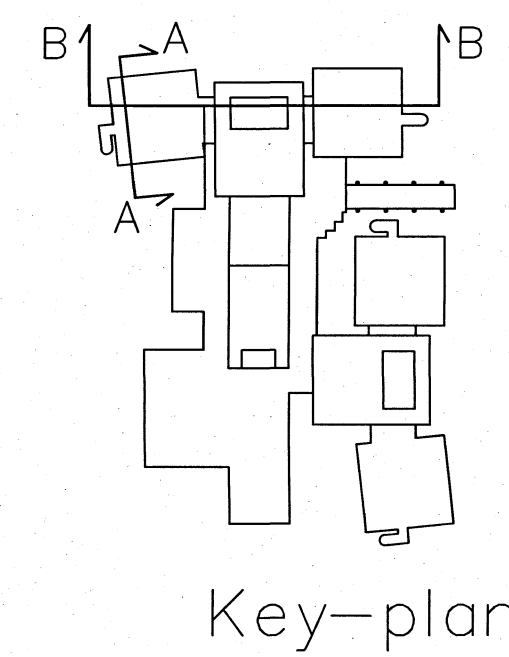


南棟 東－西断面図 A-A S=1/200

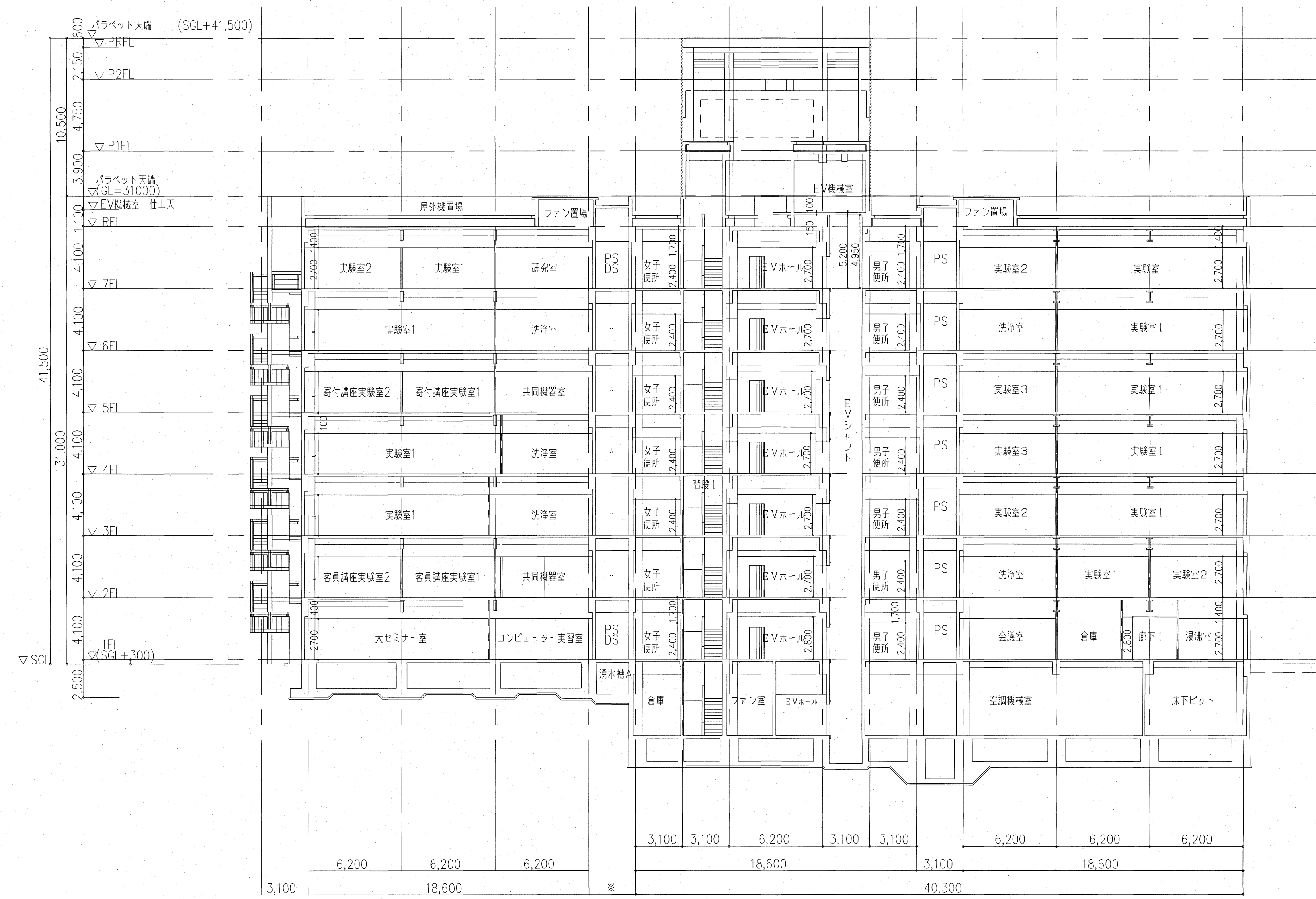


南棟 南－北断面図 B-B S=1/200





訂正 令和 年 月 日	株式会社新日本設備計画	設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	年度 令和 7 年度		
				課長	課長補佐	係長	担当者		図面名称 情報科学A棟 断面図（参考図）	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 M-08



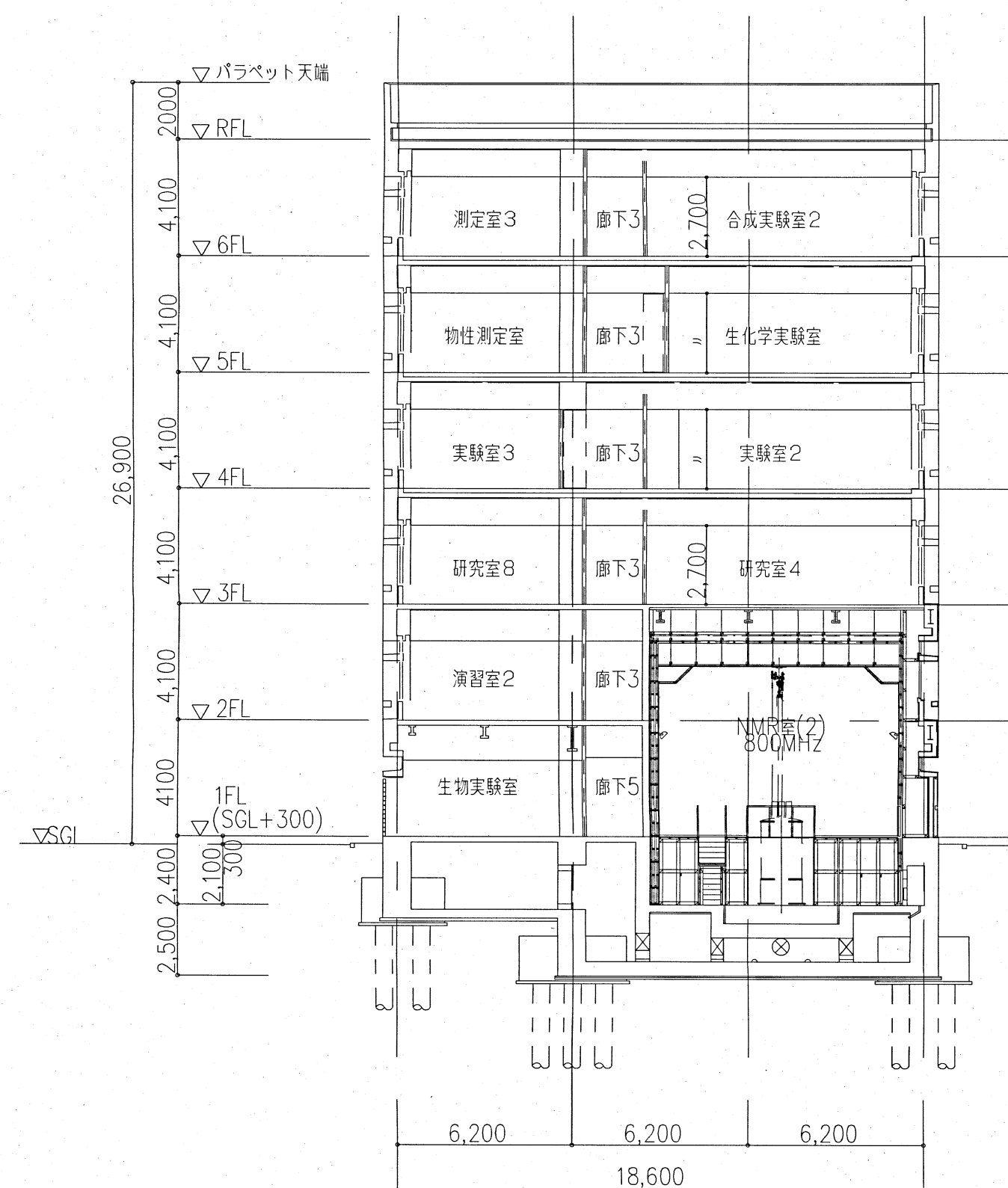
北棟 北-南断面図 A-A S=1/200



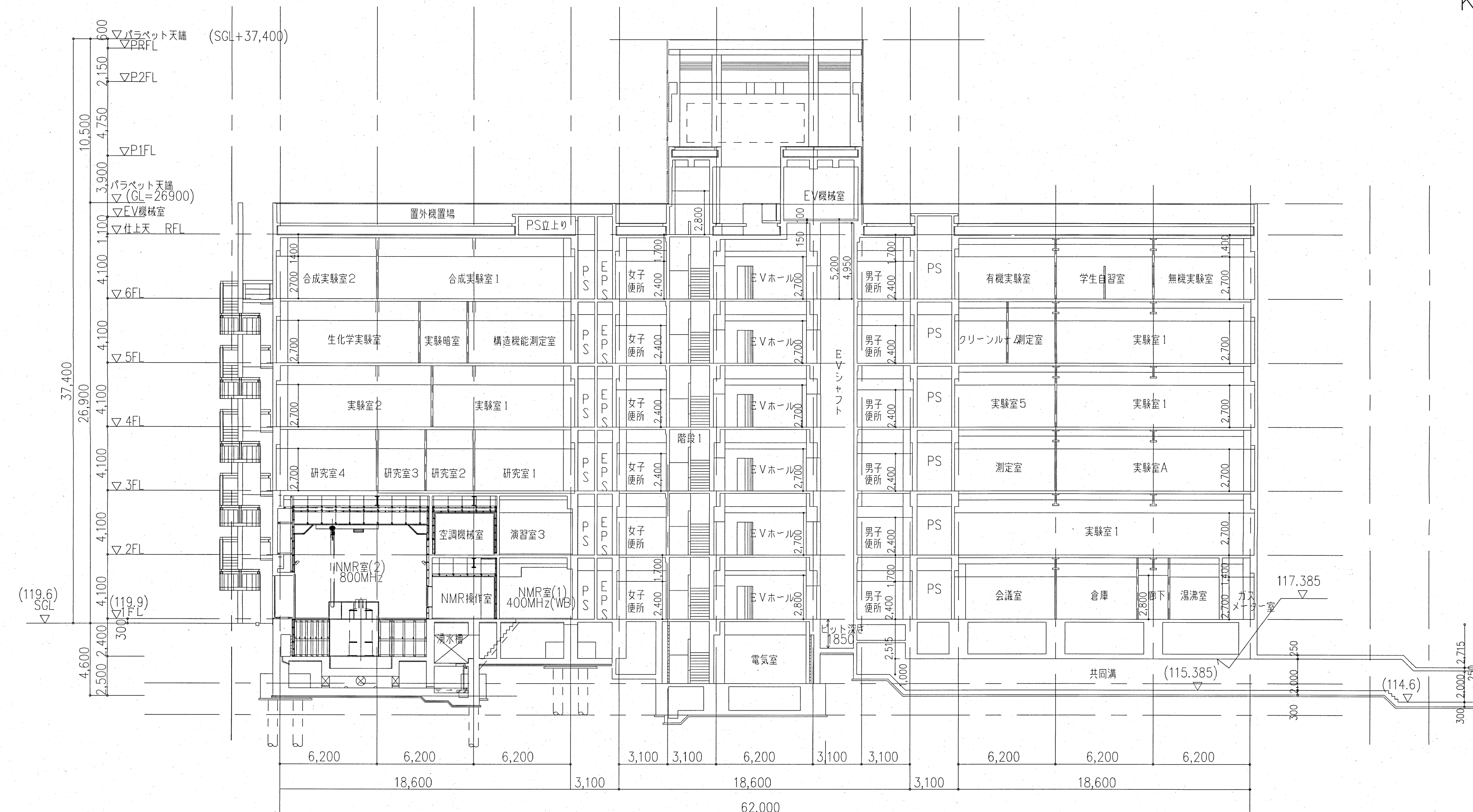
北棟 西-東断面図 B-B S=1/200

訂正	令和 年 月 日					設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	年度 令和 7 年度
								課長	課長補佐	係長	担当者		
													
株式会社新日本設備計画								図面名称 バイオサイエンスC棟 断面図（参考図）				縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 M-09

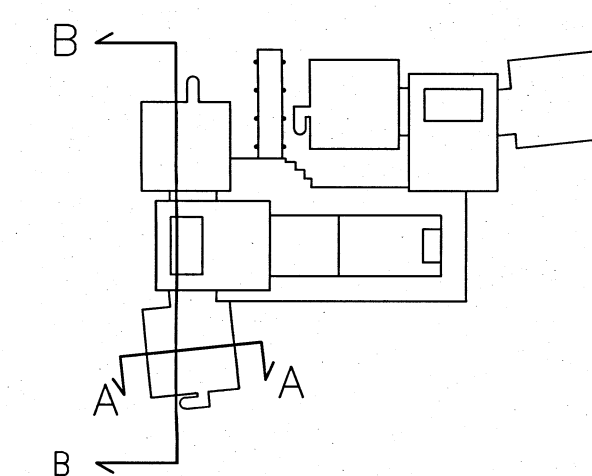








西棟 東-西断面図 A-A S=1/200

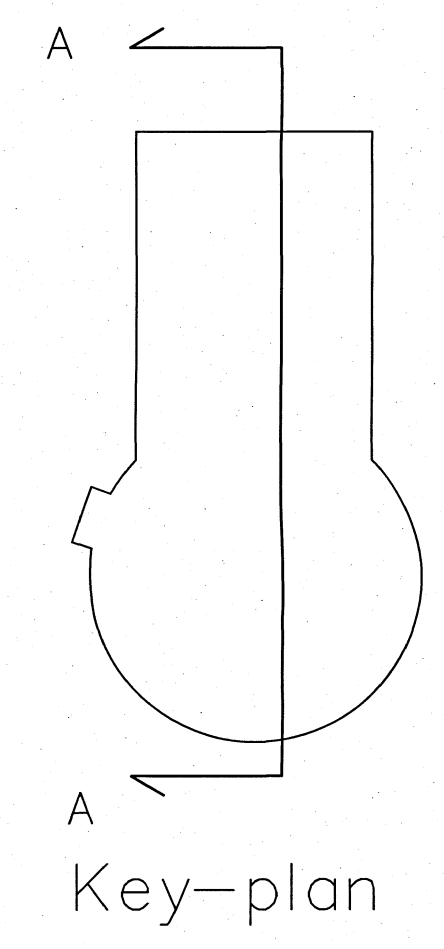
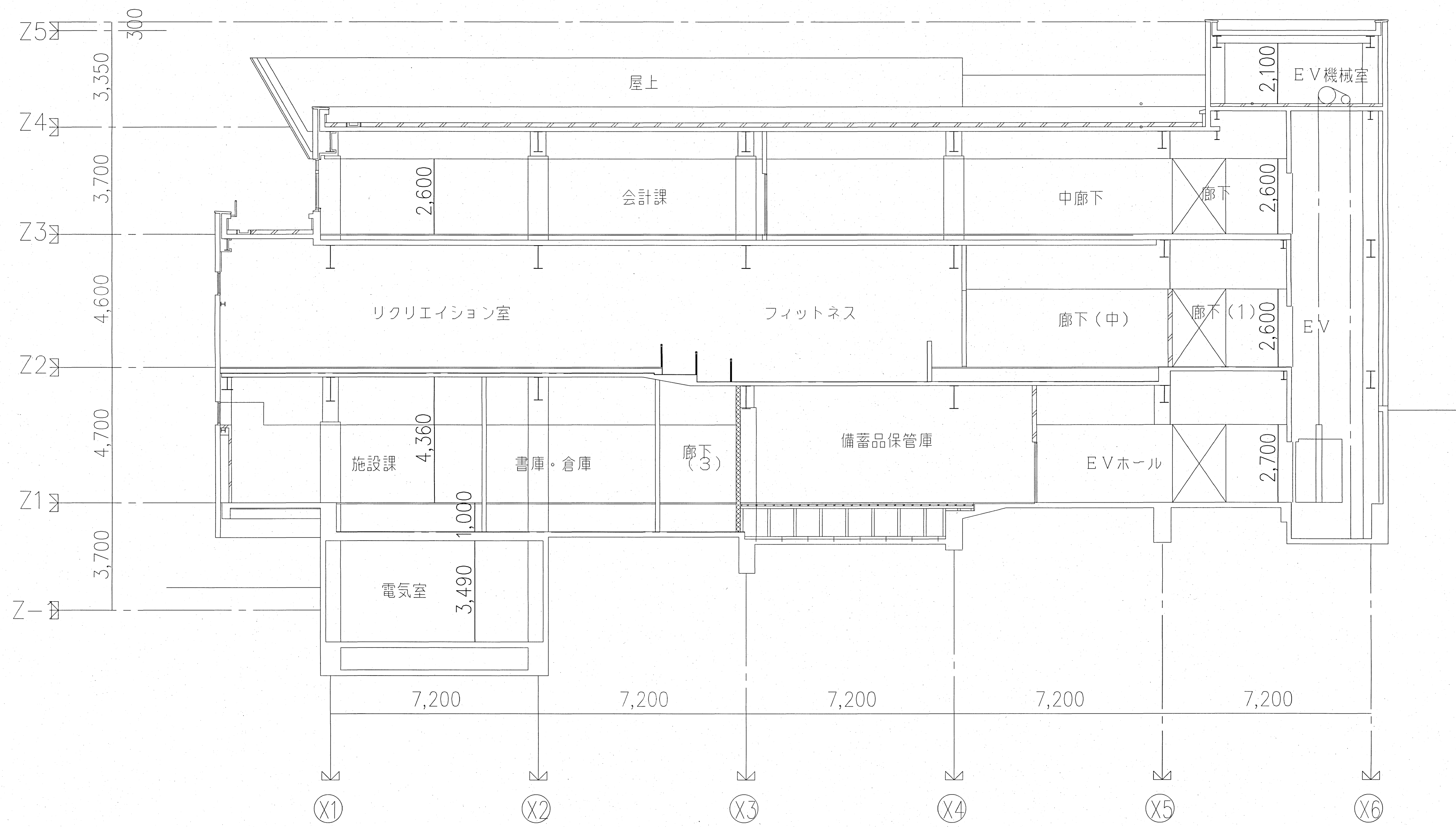


西棟 南-北断面図 B-B S=1/200







Key-plan

訂正 令和 年 月 日							設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	年度 令和 7 年度	
									課長	課長補佐	係長	担当者			
													図面名称 物質創成科学E棟 断面図（参考図）	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 M-10
							株式会社新日本設備計画								



南-北断面図 A-A S=1/100

訂正	令和 年 月 日	株式会社新日本設備計画	加地	秘木	設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	年度 令和 7 年度	
							課長	課長補佐	係長	担当者			
													
							図面名称 事務局別館 断面図（参考図）					縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 M-11



衛生設備機器表 ※ 電源容量は参考値とする。

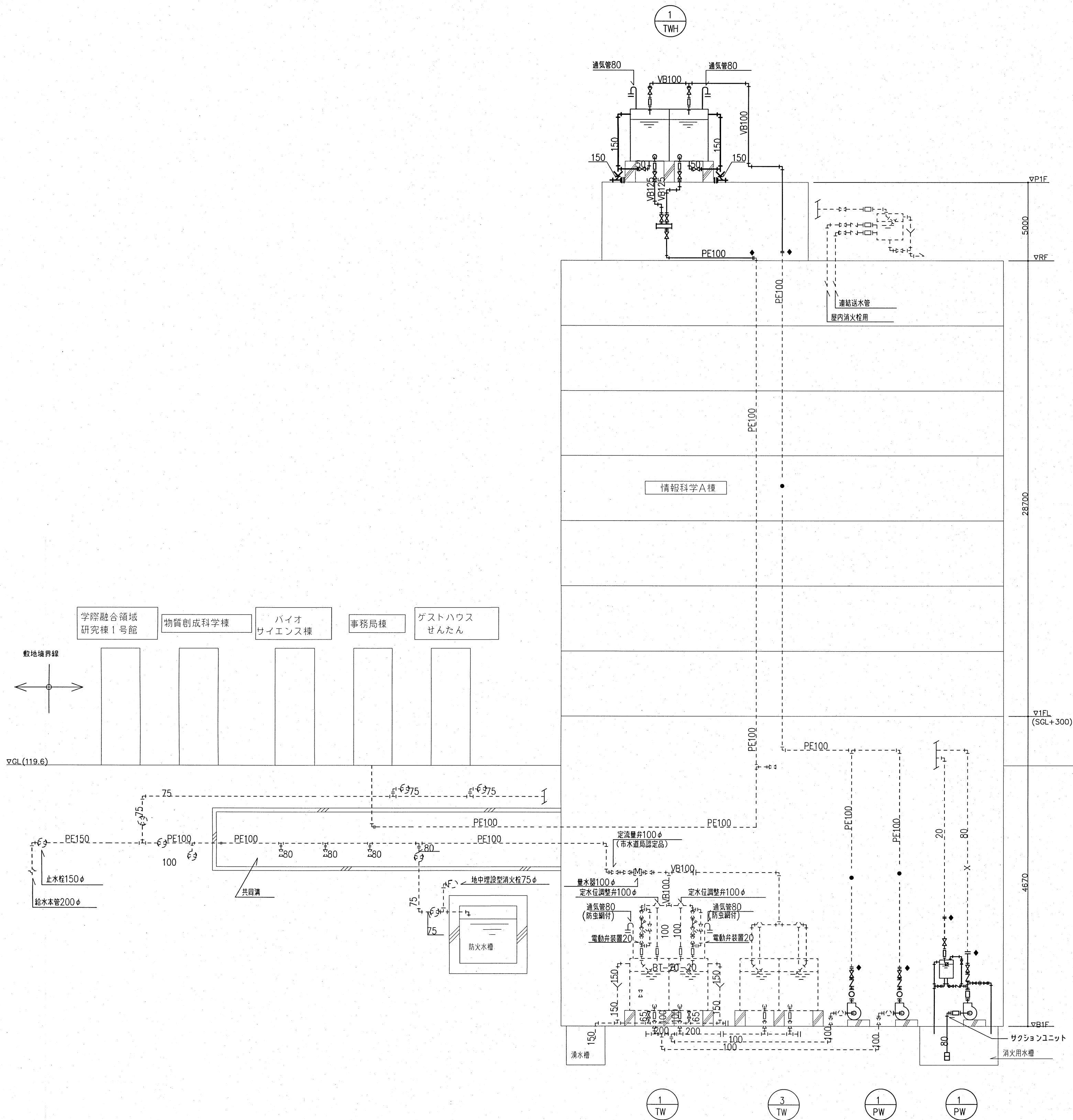
記号	名称	機	器	性	能	電圧 ( $\phi-V$ )	動力 (KW)	台数	設置場所	備考
TWH-1	高置水槽	形式	ステンレス製パネル組立式	液相部：SUS444	気送部：SUS329J4L	-	-	1基	情報科学A棟	コンクリート基礎既設再利用
		有効容量	34.0 m³以上						屋上	
		参考寸法	4,000 × 4,000 (1,500+2,500) × 3,000H							
		設計震度	1.5G							
		付属品	鋼製平架台（溶融亜鉛めっき仕上）、マンホール600φ×2、電極受座、 通気口、防波板、水槽内外トラップ（水槽内合成樹脂製・水槽外ステンレス製、 又は鋼管製（溶融亜鉛めっき仕上））、アンカーボルト（ステンレス製）、  他標準付属品一式共							
		特記事項	・水槽の天板及び側板上部2,000HはSUS329J4L製とする。 ・本水槽は片槽毎の新設のため、必要な補強材も見込むこと。							
TWH-2	高置水槽	形式	ステンレス製パネル組立式	液相部：SUS444	気送部：SUS329J4L	-	-	1基	バイオサイエンスC棟	水槽据付用H型鋼既設再利用
		有効容量	40.0 m³以上						屋上	基礎とH型鋼との固定はNo.M-24図を参照のこと。
		参考寸法	3,500 × 7,500 (3,500+4,000) × 2,000H							
		設計震度	1.5G							
		付属品	鋼製平架台（溶融亜鉛めっき仕上）、マンホール600φ×2、電極受座、 通気口、防波板、水槽内外トラップ（水槽内合成樹脂製・水槽外ステンレス製、 又は鋼管製（溶融亜鉛めっき仕上））、アンカーボルト（ステンレス製）、  他標準付属品一式共							
		特記事項	・水槽の天板及び側板はSUS329J4L製とする。 ・本水槽は片槽毎の新設のため、必要な補強材も見込むこと。							
TWH-3	高置水槽	形式	ステンレス製パネル組立式	液相部：SUS444	気送部：SUS329J4L	-	-	1基	物質創成科学研究科E棟	水槽据付用H型鋼既設再利用
		有効容量	20.0 m³以上						屋上	基礎とH型鋼との固定はNo.M-24図を参照のこと。
		参考寸法	4,000 × 4,000 (1,500+2,500) × 1,500H							
		設計震度	1.5G							
		付属品	鋼製平架台（溶融亜鉛めっき仕上）、マンホール600φ×2、電極受座、 通気口、防波板、水槽内外トラップ（水槽内合成樹脂製・水槽外ステンレス製、 又は鋼管製（溶融亜鉛めっき仕上））、アンカーボルト（ステンレス製）、  他標準付属品一式共							
		特記事項	・水槽の天板及び側板はSUS329J4L製とする。 ・本水槽は片槽毎の新設のため、必要な補強材も見込むこと。							

特記) 1. 高置水槽更新に当たり、屋上への機器・配管等の搬出入のためのラフタークレーン(70t)による揚重を1棟当たり3回を見込むこと。

[illegible]





凡 例	記 号	名 称	管 種
	—— —	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
	—— ● ——	湯水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
	—— X ——	消火管	配管用炭素鋼管 (B) (SGP)
		仕切弁 (JIS10K)	
		バタフライ弁 (JIS10K)	
		逆止弁 (JIS10K)	
		水道メーター	
		フレキシブル継手 (ゴム製)	
		防振継手 (ゴム製)	

[illegible]



凡 例			※口は径を示す。
記 号	名 称	管材、仕様	
PE□	給水管	給水用高密度ポリエチレン管 (PE)	
VB□	給水管 (高置水 Tank 有り)	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)	
GV□	仕切弁 (GV)		
BV□	バックライ弁 (BV)		
CV□	逆止弁 (CV)		

注記)  
1. ----- 線は既設を示す  
2. ----- 太線は新設を示す  
3. ◆ 既設配管・バルブに接続を示す

訂正 令和 年 月 日								設計業務名	設計年月日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度		
								奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	令和 7 年 6 月 日					奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事		令和 7 年度	
										課長	課長補佐	係長	担当者				
																	
								株式会社新日本設備計画	整理番号					図面名称	縮尺	図面番号	
														情報科学A棟 給水設備系統図（改修）	—	M-13	

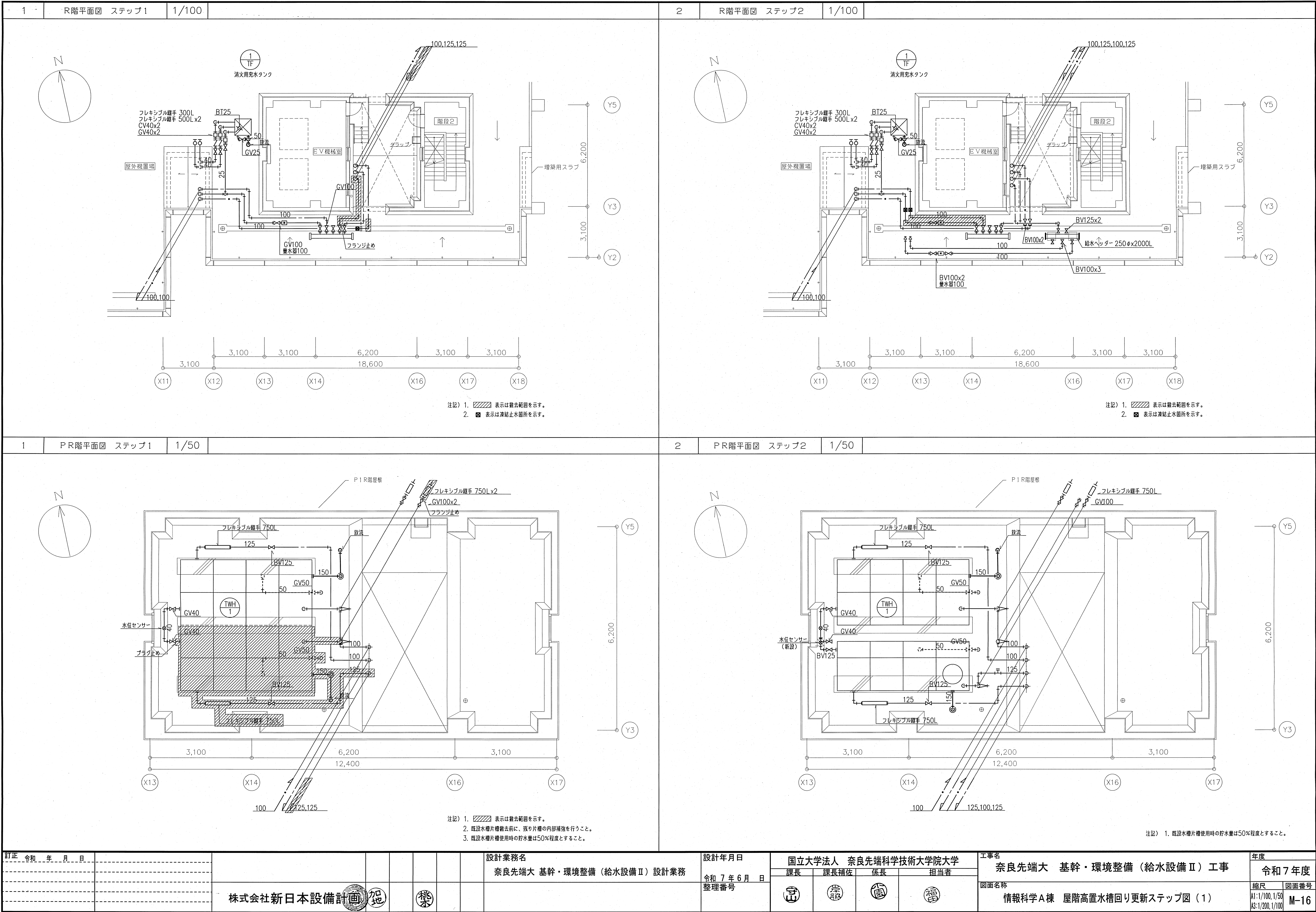








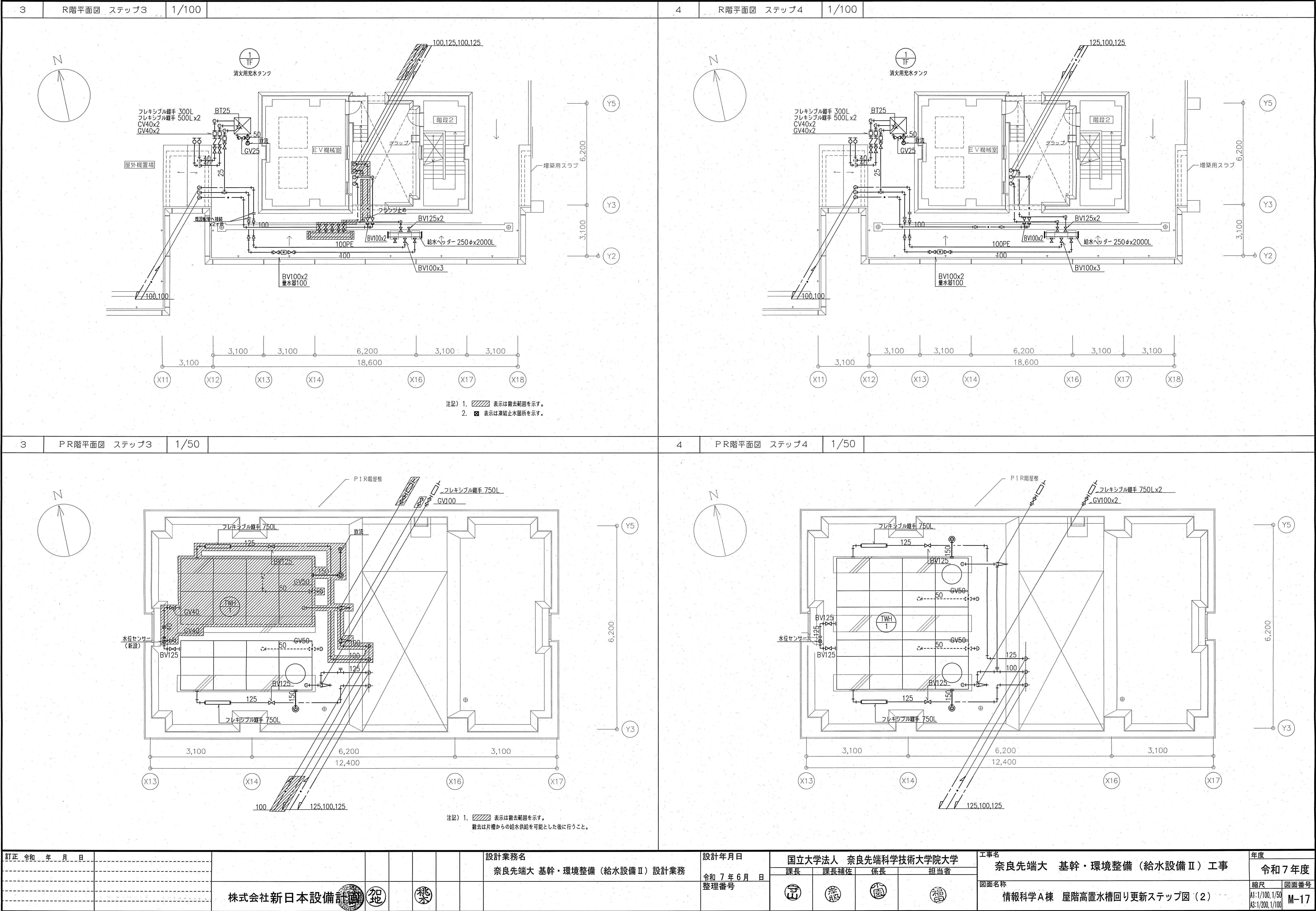
1	R階平面図	1/100	3	PR階断面図	1/50
<p>注記) 1. 実線表示のみ支持材も含め改修範囲を示す。 2. 改修順序は別紙ステップ図を参照のこと。 3.  表示の配管は支給品とする。</p>			<p>注記) 1. 図面表示の機器・配管は全て改修を示す。 但し、破線表示の配管支持架台類は既設再利用とする。 2. 改修順序は別紙ステップ図を参照のこと。 3.  表示の配管は支給品とする。</p>		
2	PR階平面図	1/50	4	給水ヘッダー、配管架台詳細図	1/40
<p>注記) 1. 図面表示の機器・配管は全て改修を示す。 2. 改修順序は別紙ステップ図を参照のこと。 3.  表示の配管は支給品とする。</p>			<p>注) 架台類は全て消滅箇所めっき仕上とする。</p>		

訂正	令和 年 月 日						設計業務名	設計年月日	工事名				年度		
							奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 設計業務	令和 7 年 6 月 日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 工事	令和 7 年度	
								整理番号	課長	課長補佐	係長	担当者	図面名称	縮尺	図面番号
							株式会社新日本設備計画						情報科学A棟 屋階高置水槽回り詳細図 (改修)	A1:1/100, 1/50 A3:1/200, 1/100	M-15

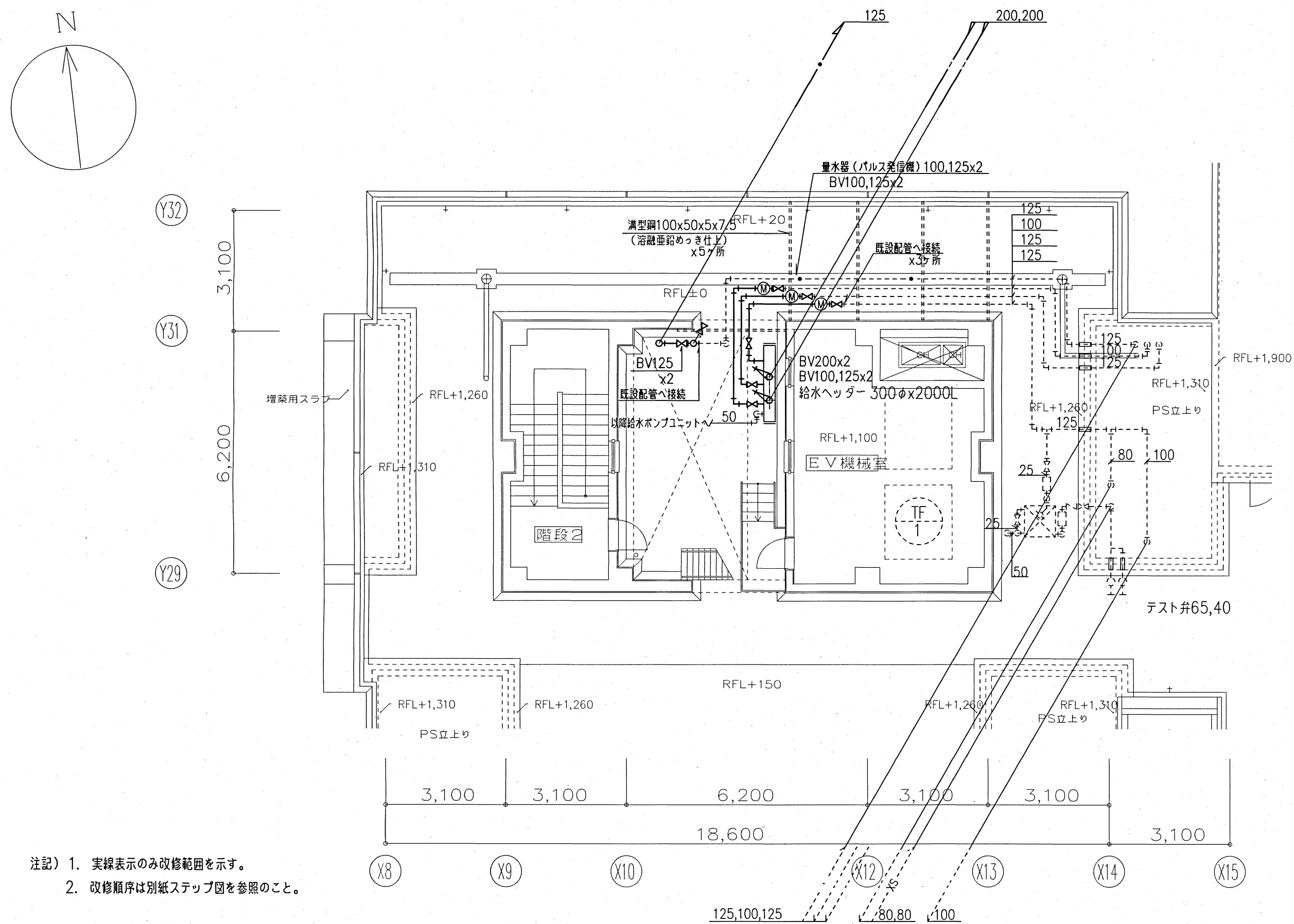




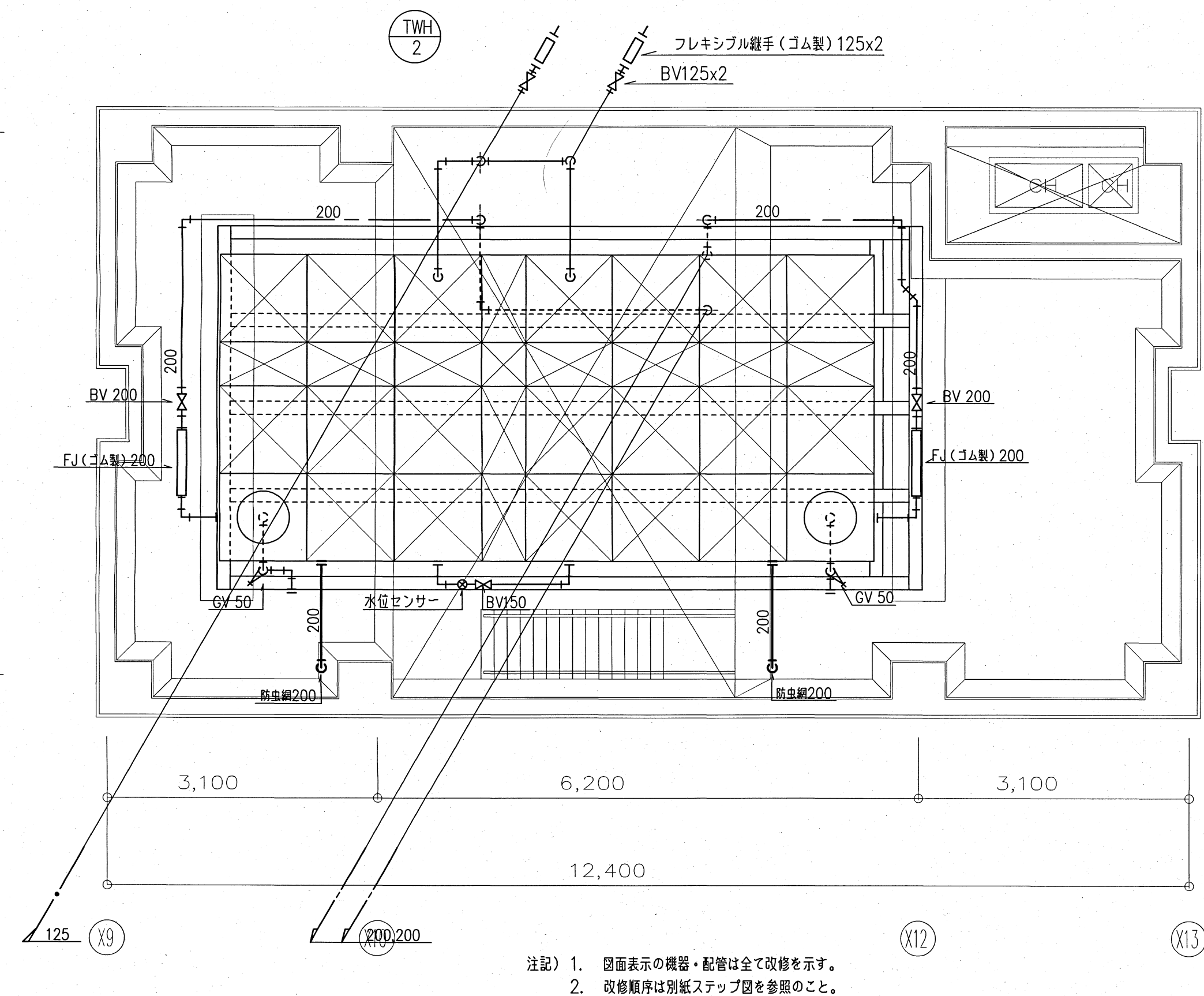
訂正	令和	年	月	日						設計業務名	設計年月日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度				
										奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	令和 7 年 6 月 日	課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	令和 7 年度	
										株式会社新日本設備計画	整理番号					図面名称	縮尺	図面番号
																情報科学A棟 屋階高置水槽回り更新ステップ図（1）	A1:1/100, 1/50 A3:1/200, 1/100	M-16



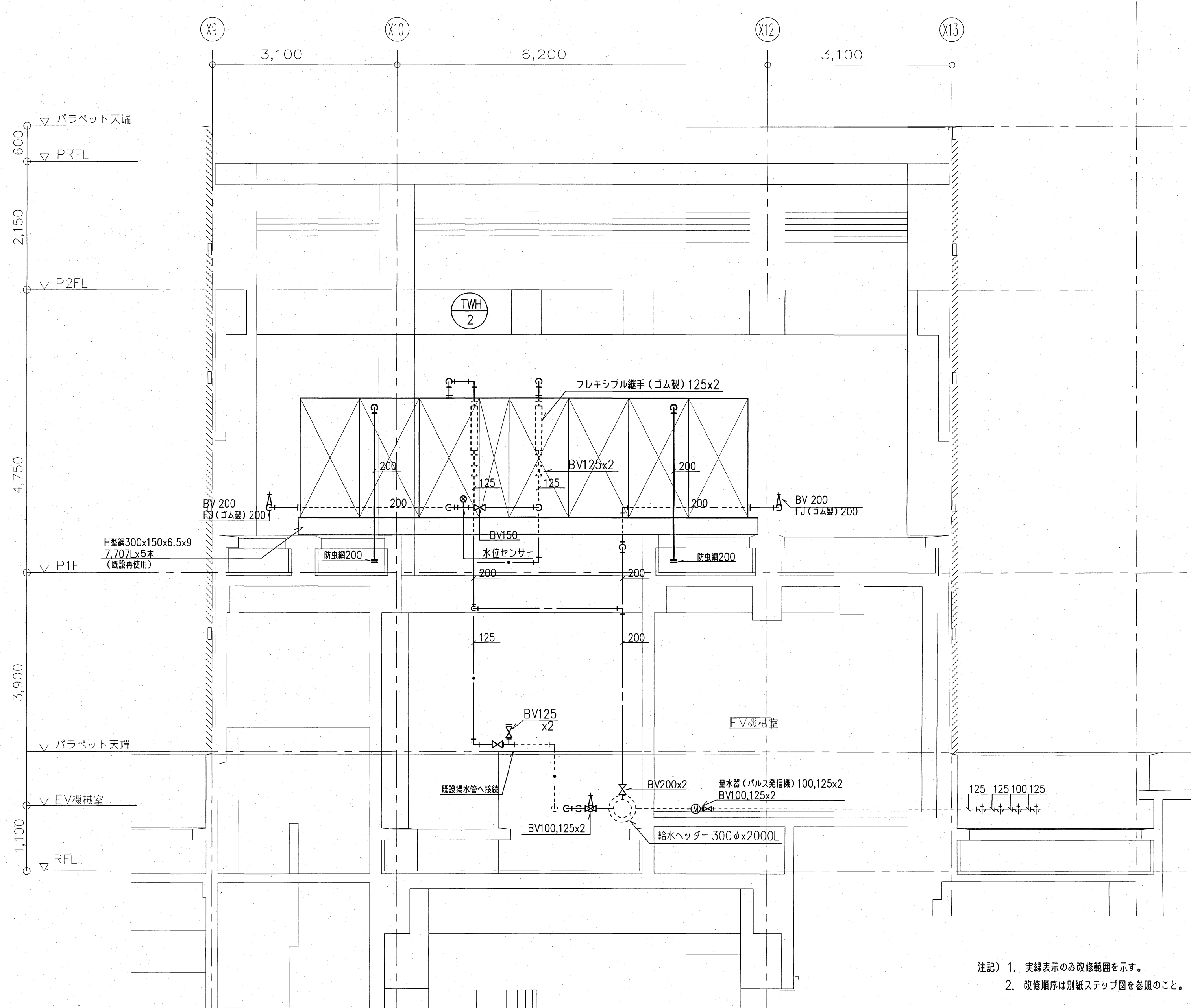




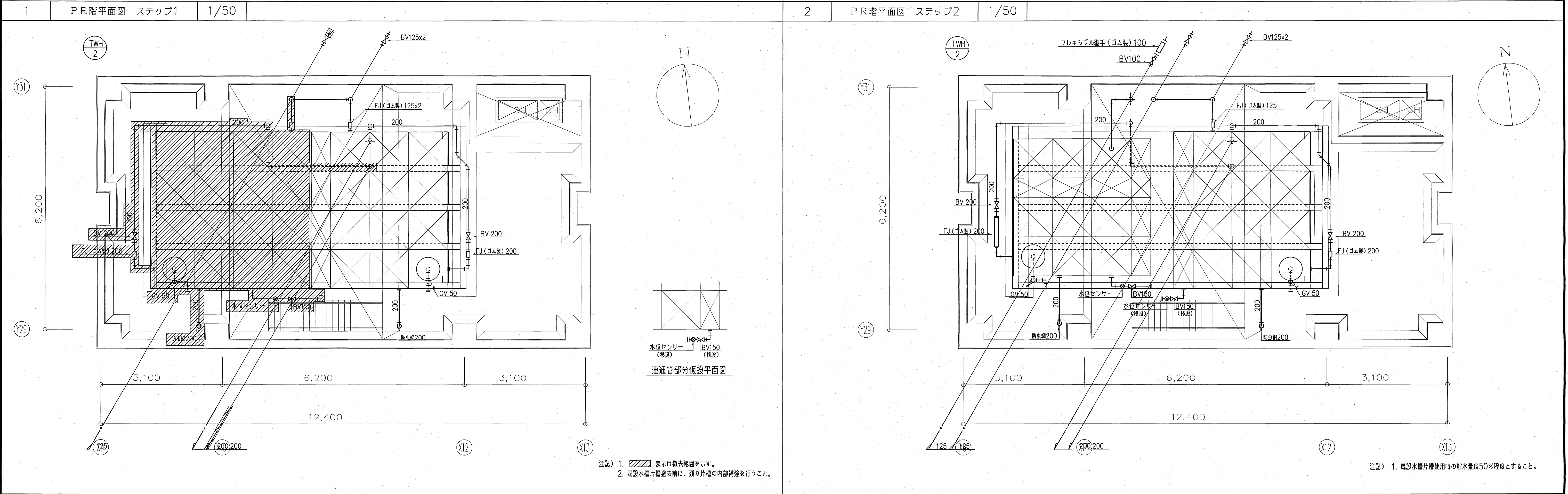
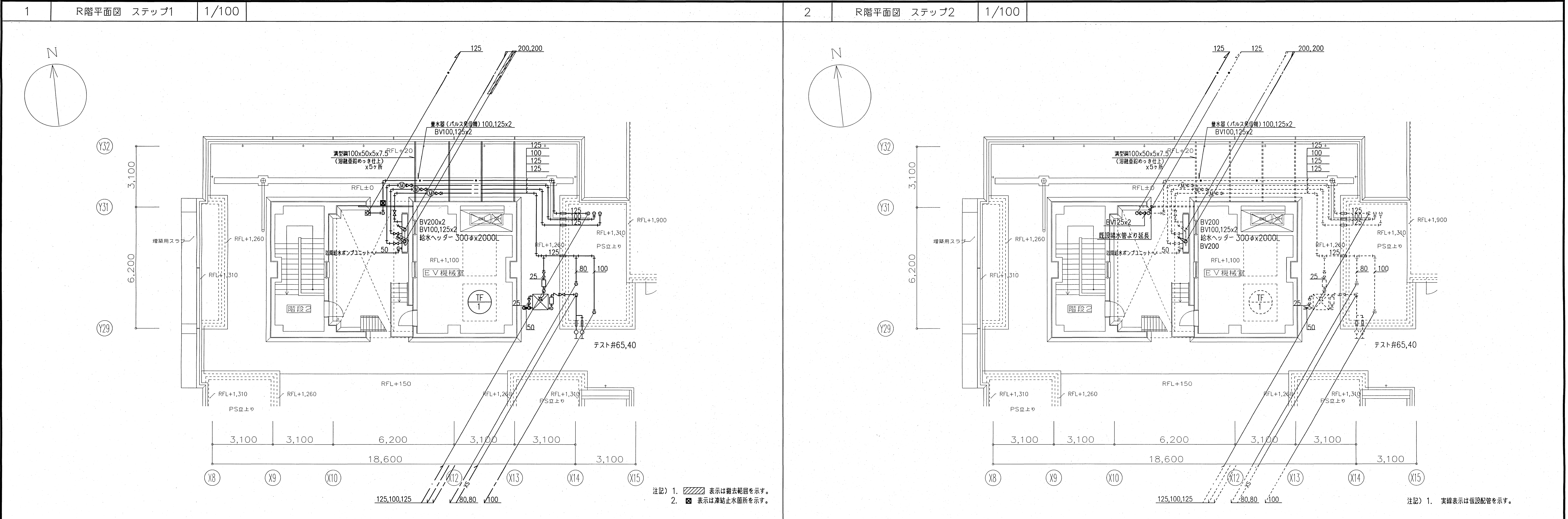
注記) 1. 実線表示のみ改修範囲を示す。  
2. 改修順序は別紙ステップ図を参照のこと。



注記) 1. 図面表示の機器・配管は全て改修を示す。  
2. 改修順序は別紙ステップ図を参照のこと。

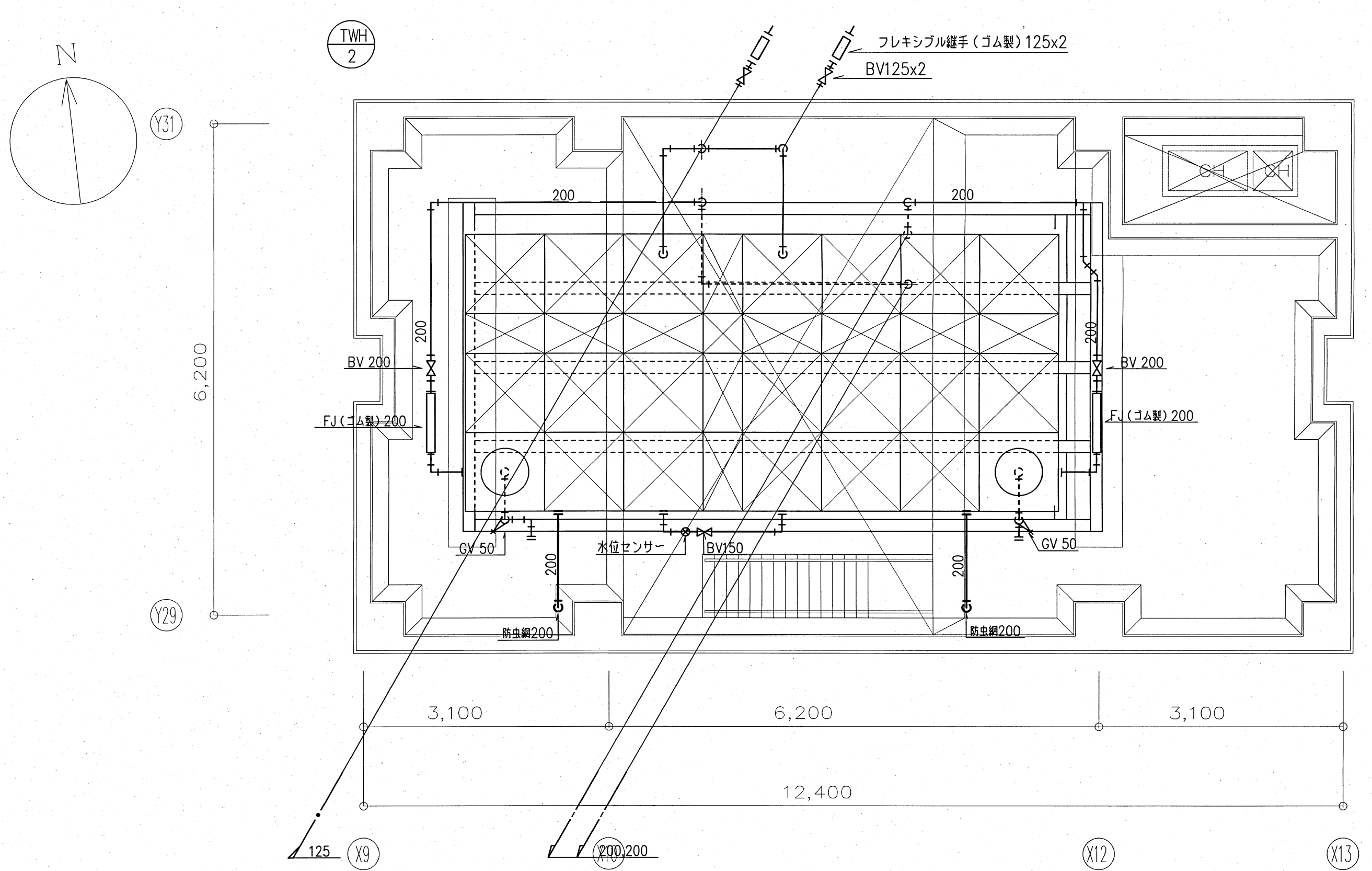
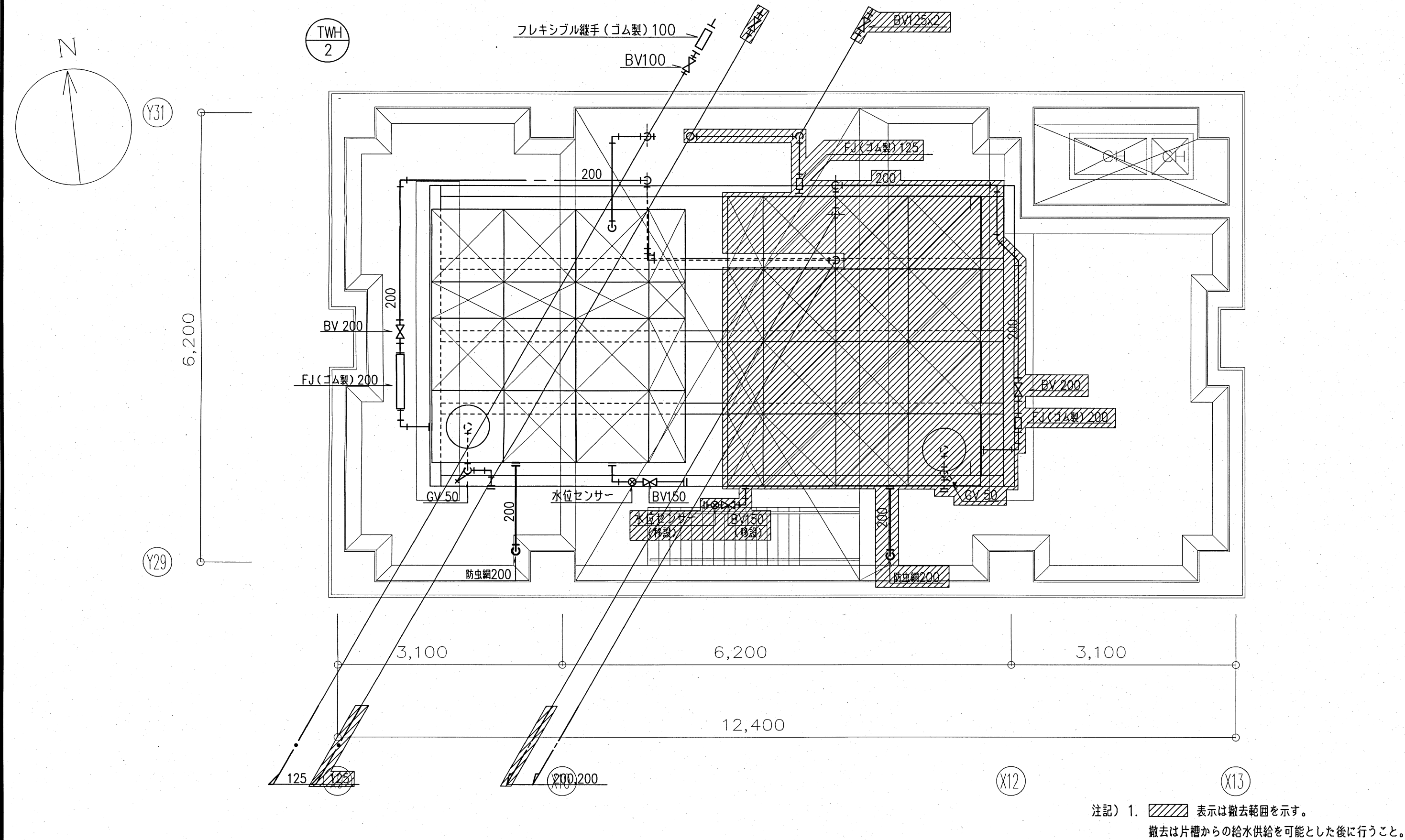
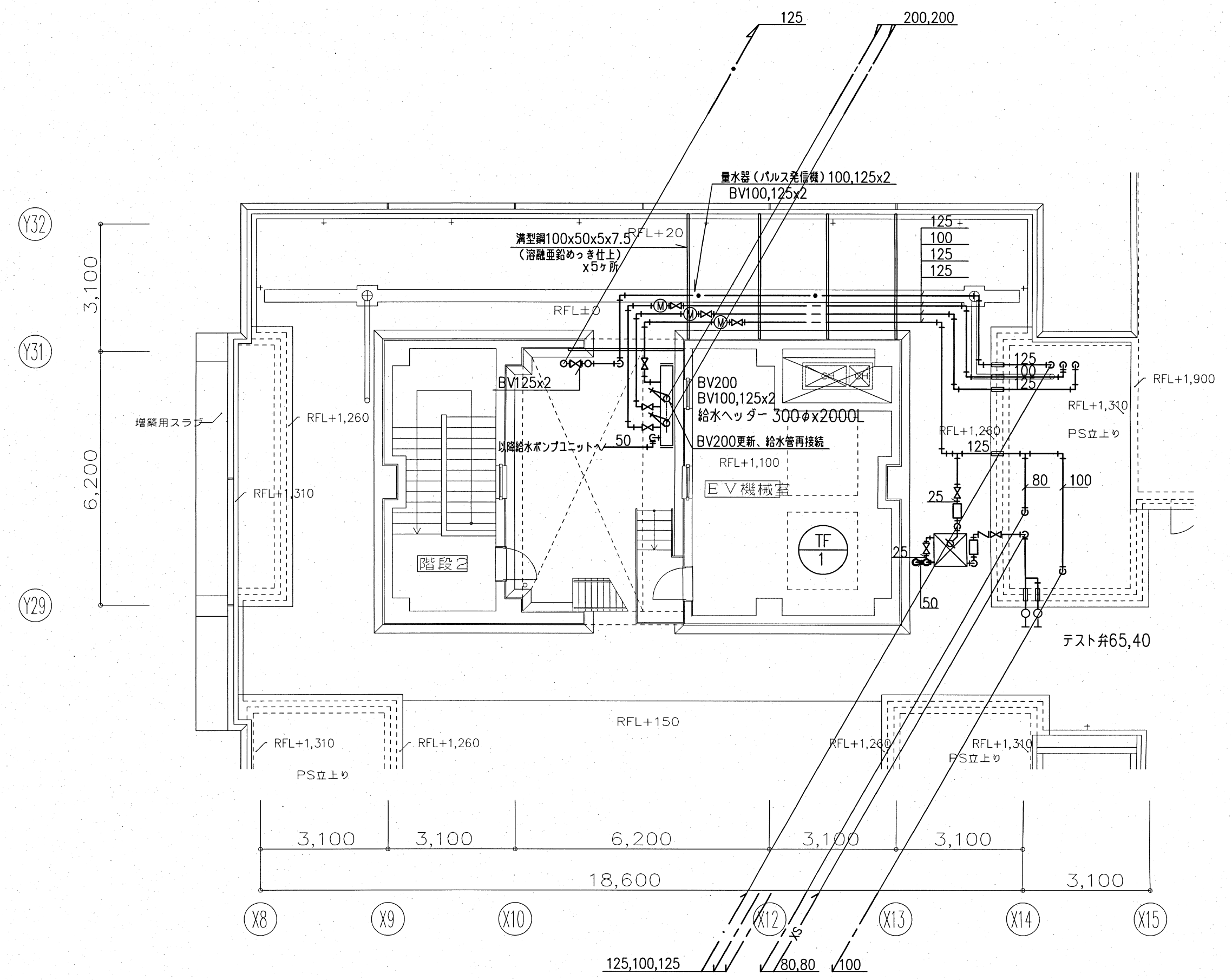
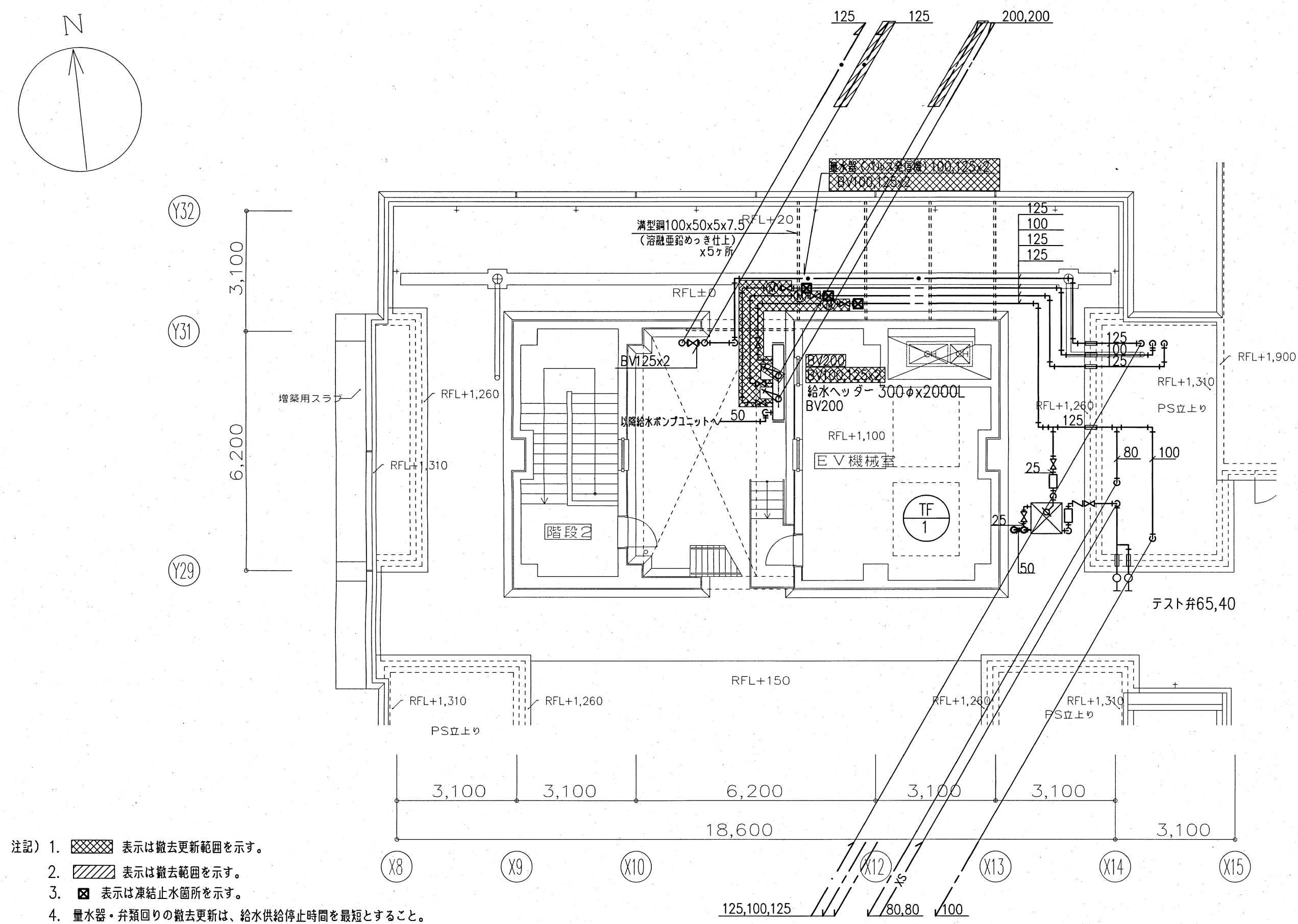


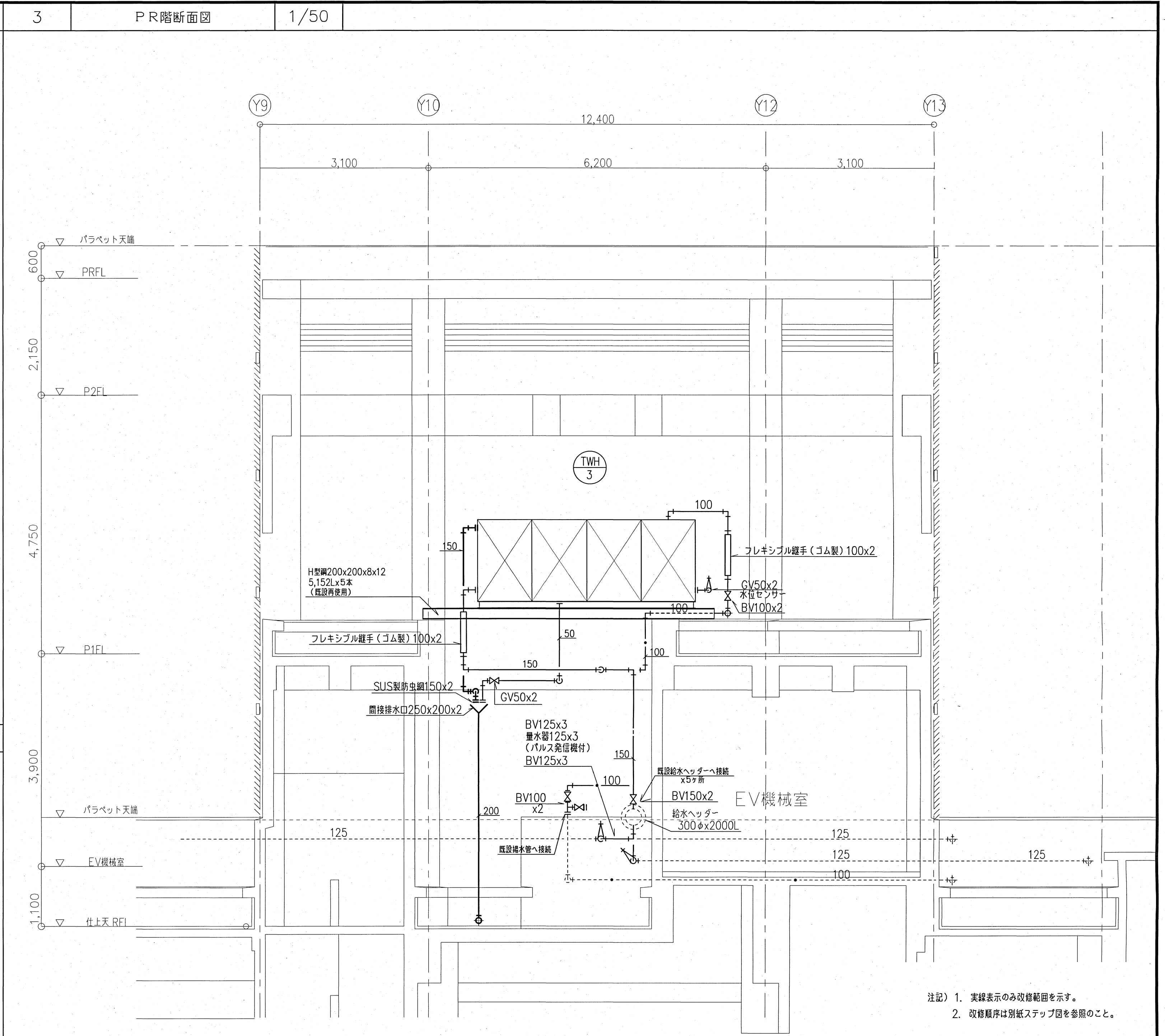
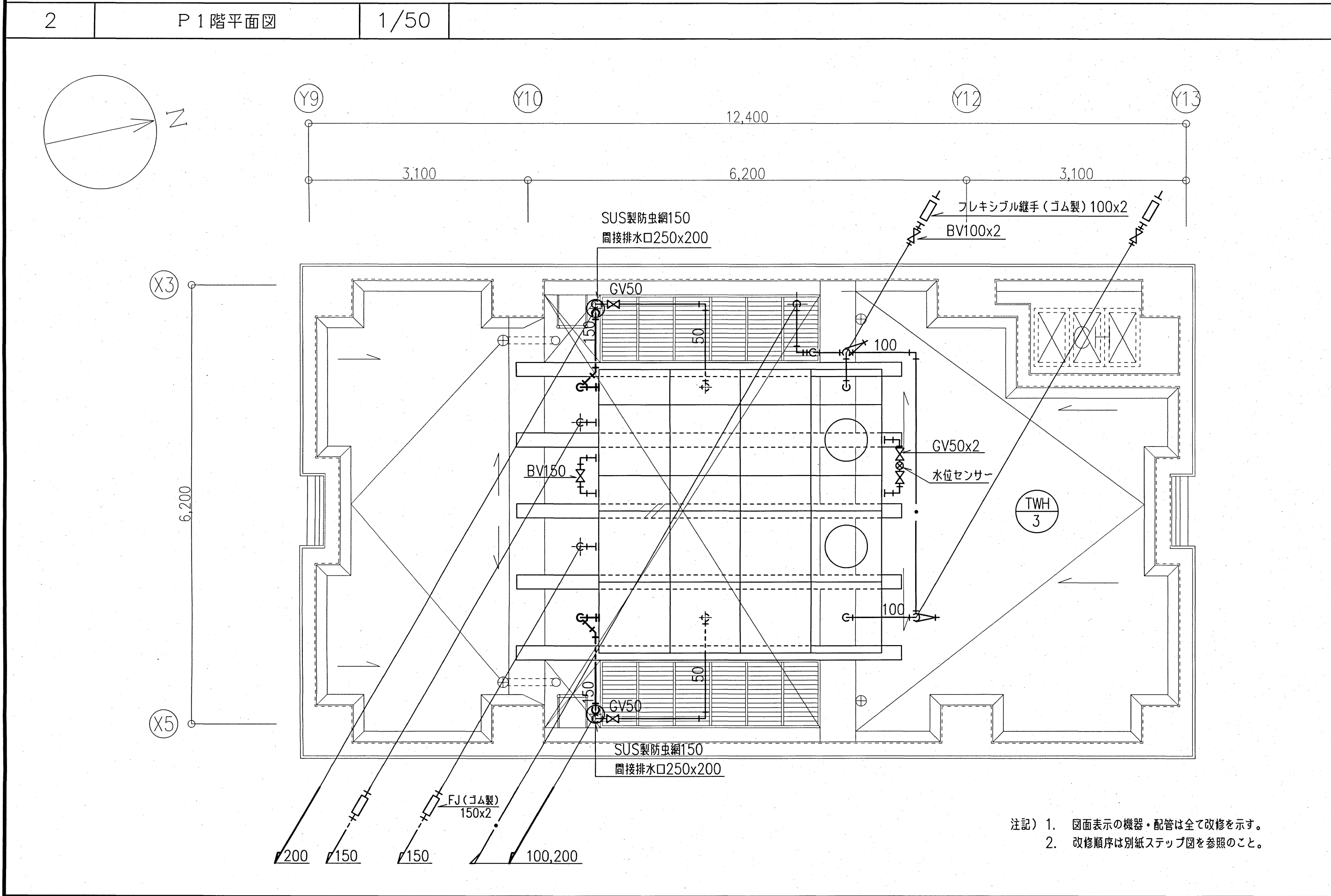
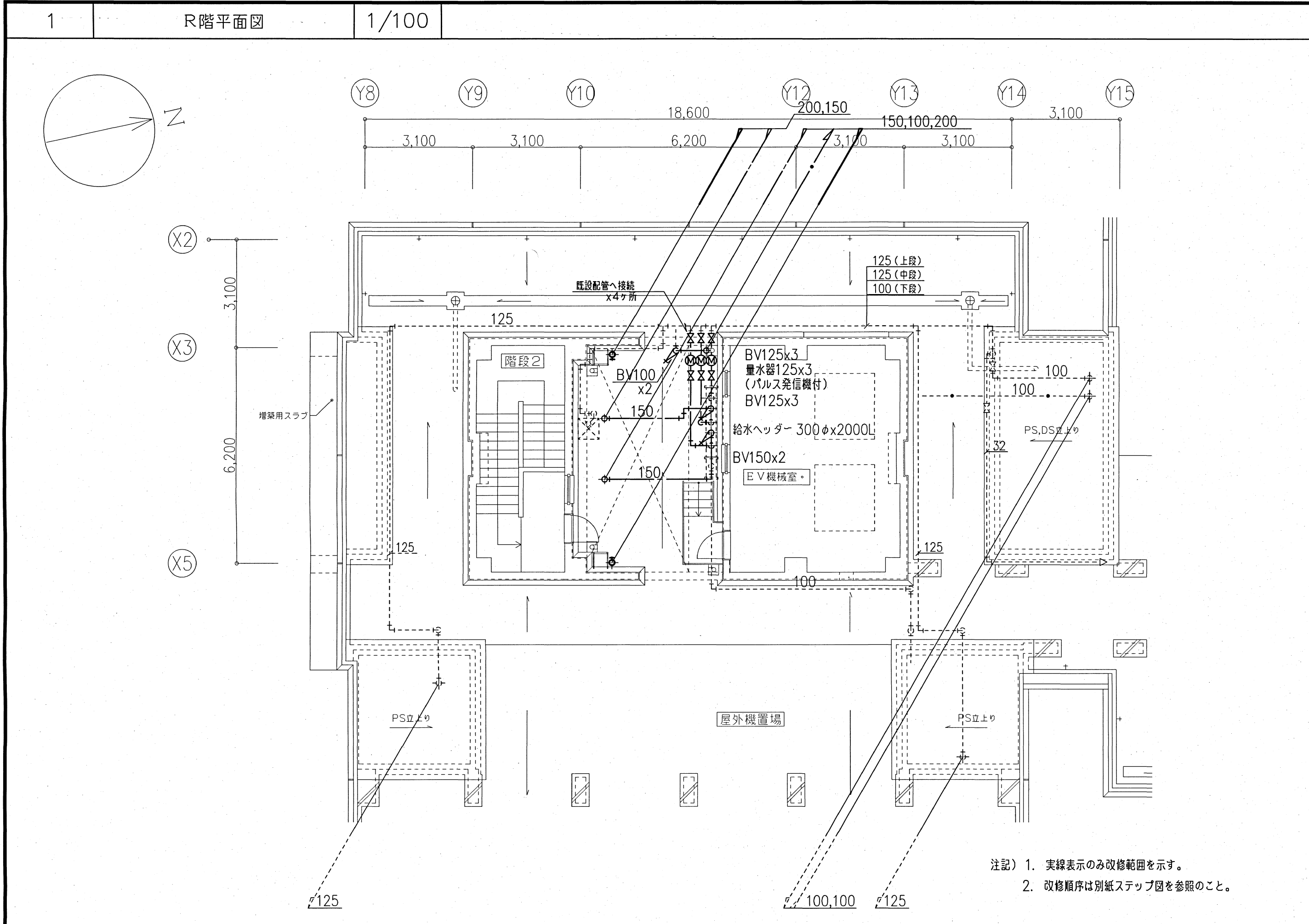
注記) 1. 実線表示のみ改修範囲を示す。  
2. 改修順序は別紙ステップ図を参照のこと。



訂正	令和 年 月 日	設計業務名	設計年月日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
		奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	令和 7 年 6 月 日	課長 課長補佐 係長 担当者	奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	令和 7 年度
		株式会社新日本設備計画	整理番号	図面名称	パイオサイエンスC棟 屋階高置水槽回り更新ステップ図（1）	縮尺 図面番号
						A1: 1/100, 1/50 M-19
						A3: 1/200, 1/100

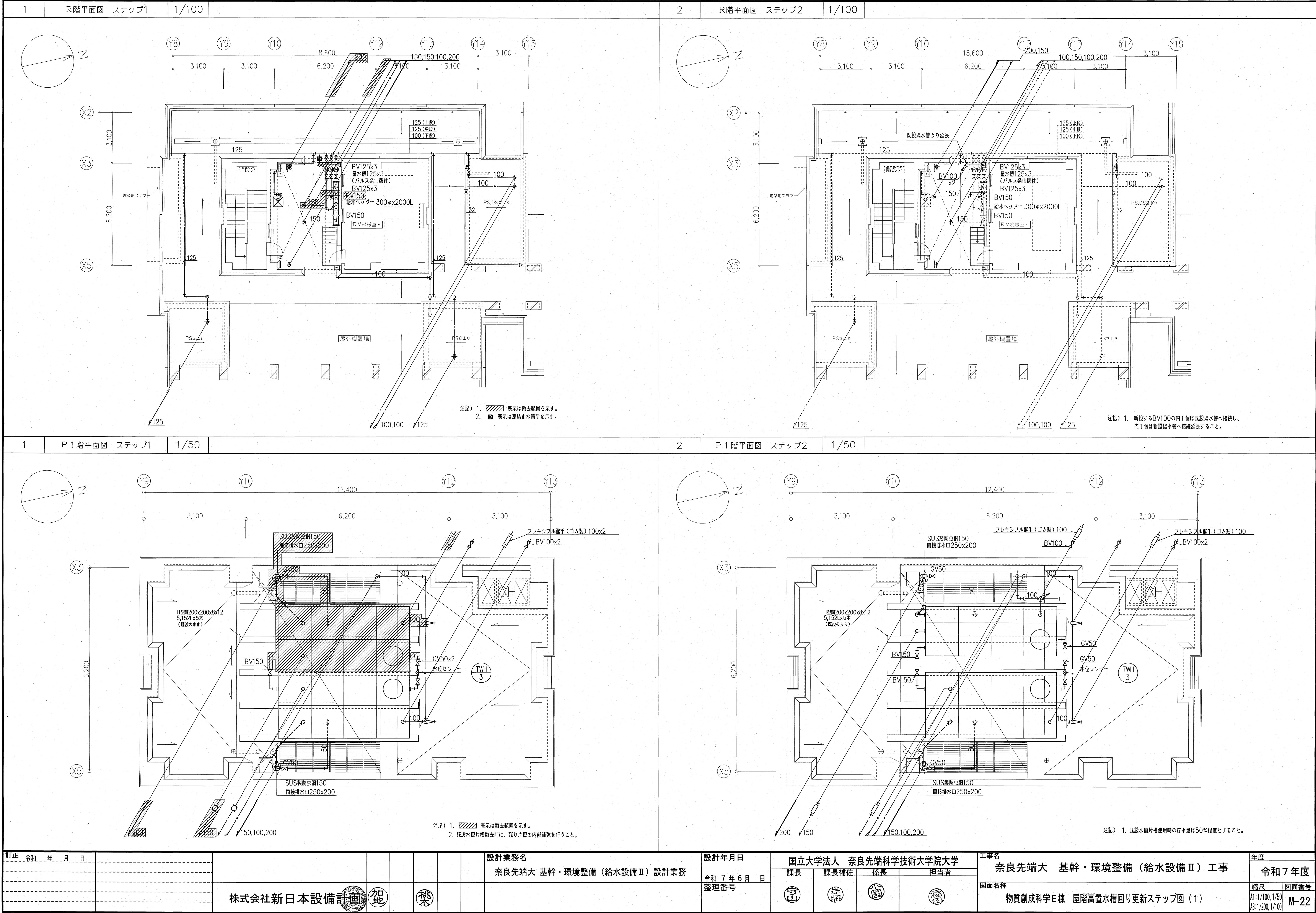


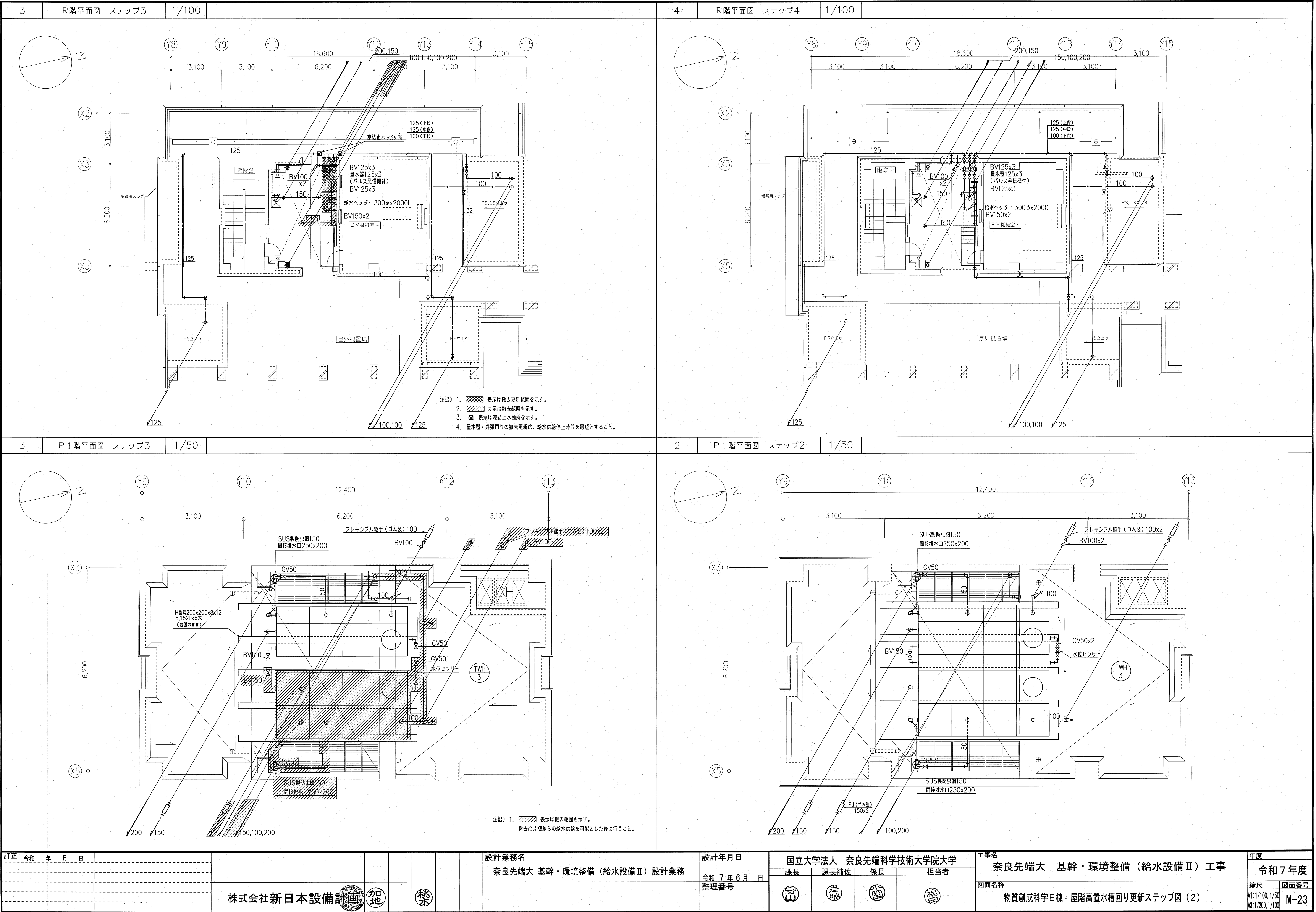




訂正 令和 年 月 日		設計業務名		設計年月日		工事名		年度	
		奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 設計業務		令和 7 年 6 月 日		奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 工事		令和 7 年度	
		整理番号				図面名称		縮尺	
		株式会社新日本設備計画				物質創成科学E棟 屋階高置水槽回り詳細図 (改修)		図面番号	
								A1: 1/100, 1/50 A3: 1/200, 1/100	
								M-21	













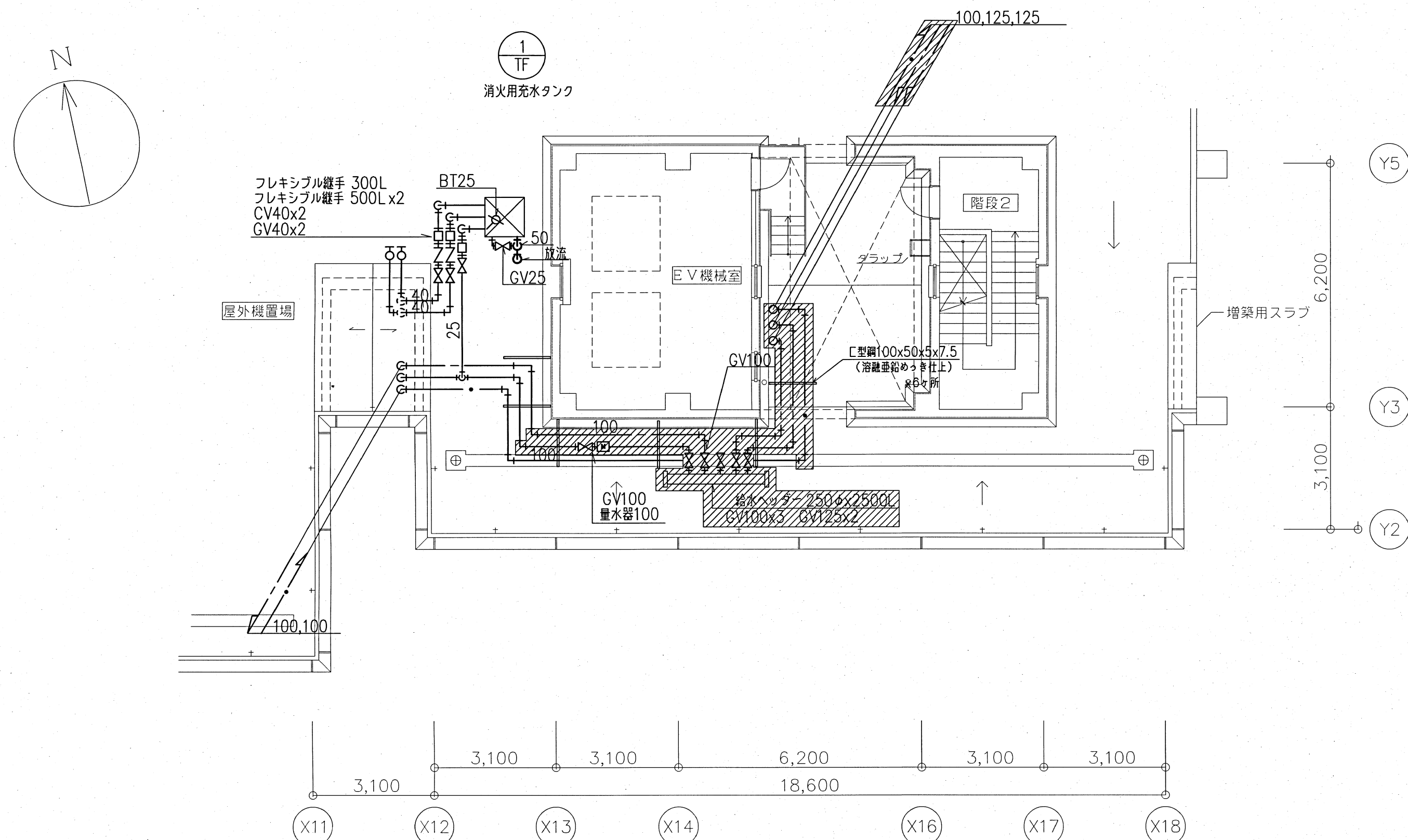



衛生設備撤去機器表

[illegible][illegible]

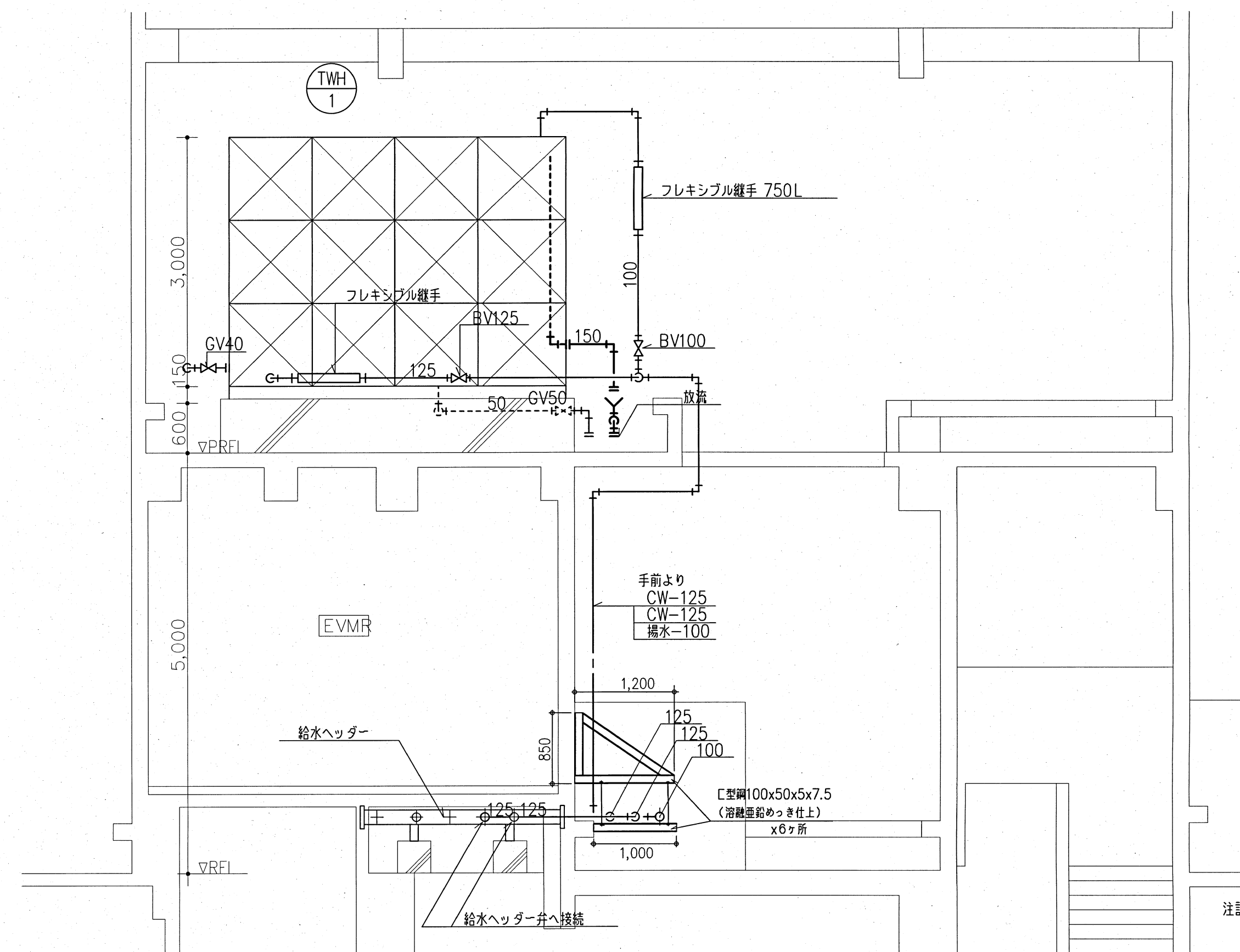
訂正	令和	年	月	日							設計業務名	設計年月日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度	
											奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	令和 7 年 6 月 日	課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事		令和 7 年度
												整理番号					図面名称	縮尺	図面番号
											株式会社新日本設備計画						衛生設備 機器表（撤去）	—	M-25





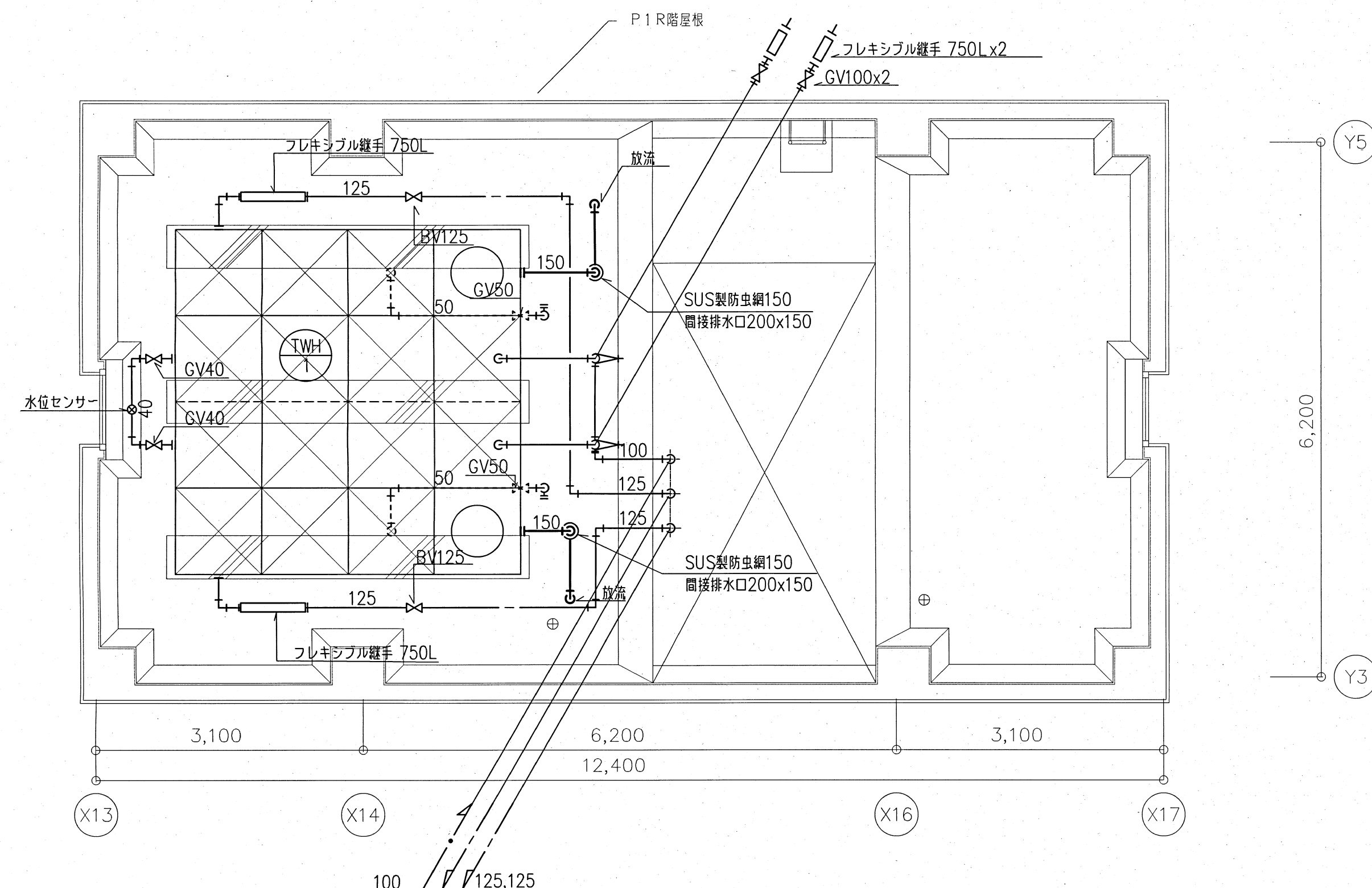
注記) 1.  表示は撤去範囲を示す。  
但し、図面表示の配管支持架台類は残置のままとする。

2. 撤去順序は別紙ステップ図を参照のこと。

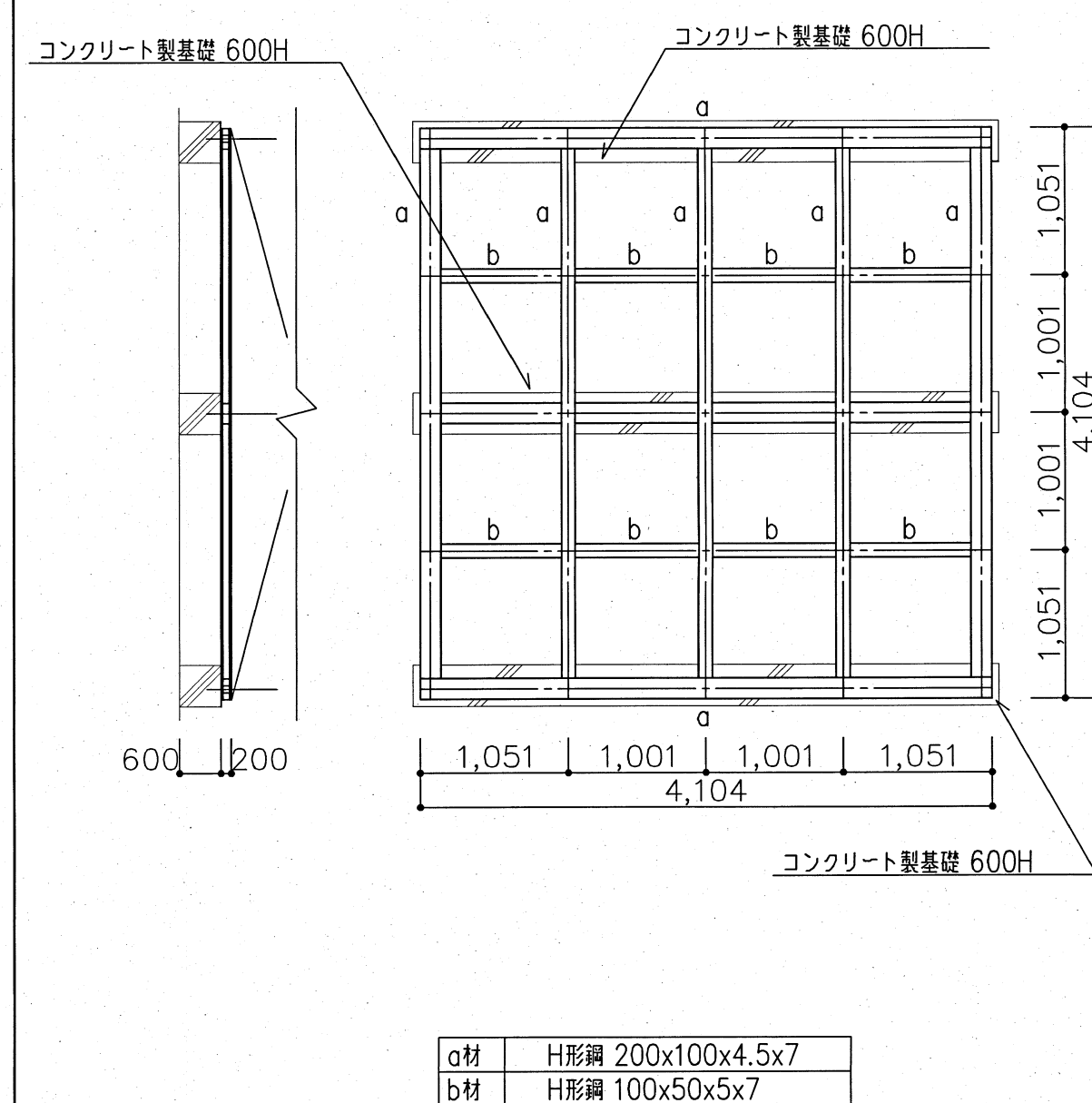


注記) 1. 図面表示の機器・配管は全て撤去を示す。  
但し、図面表示の配管支持架台類は残置のままとする。

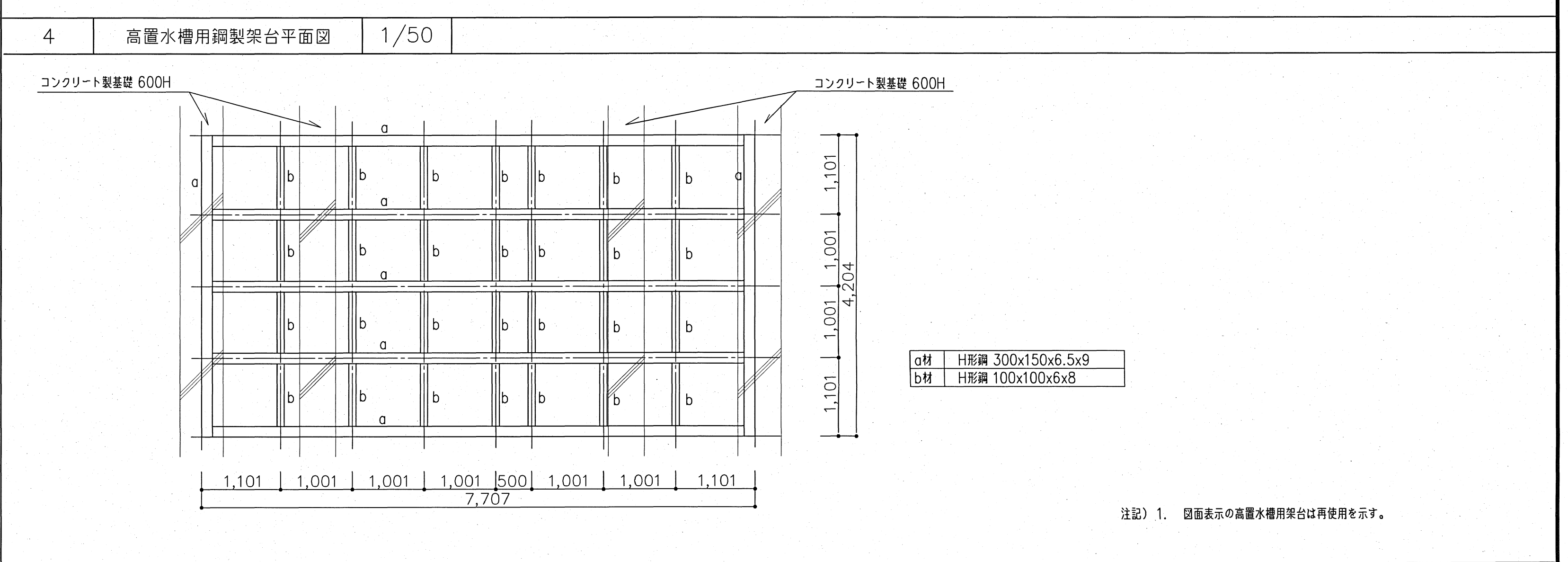
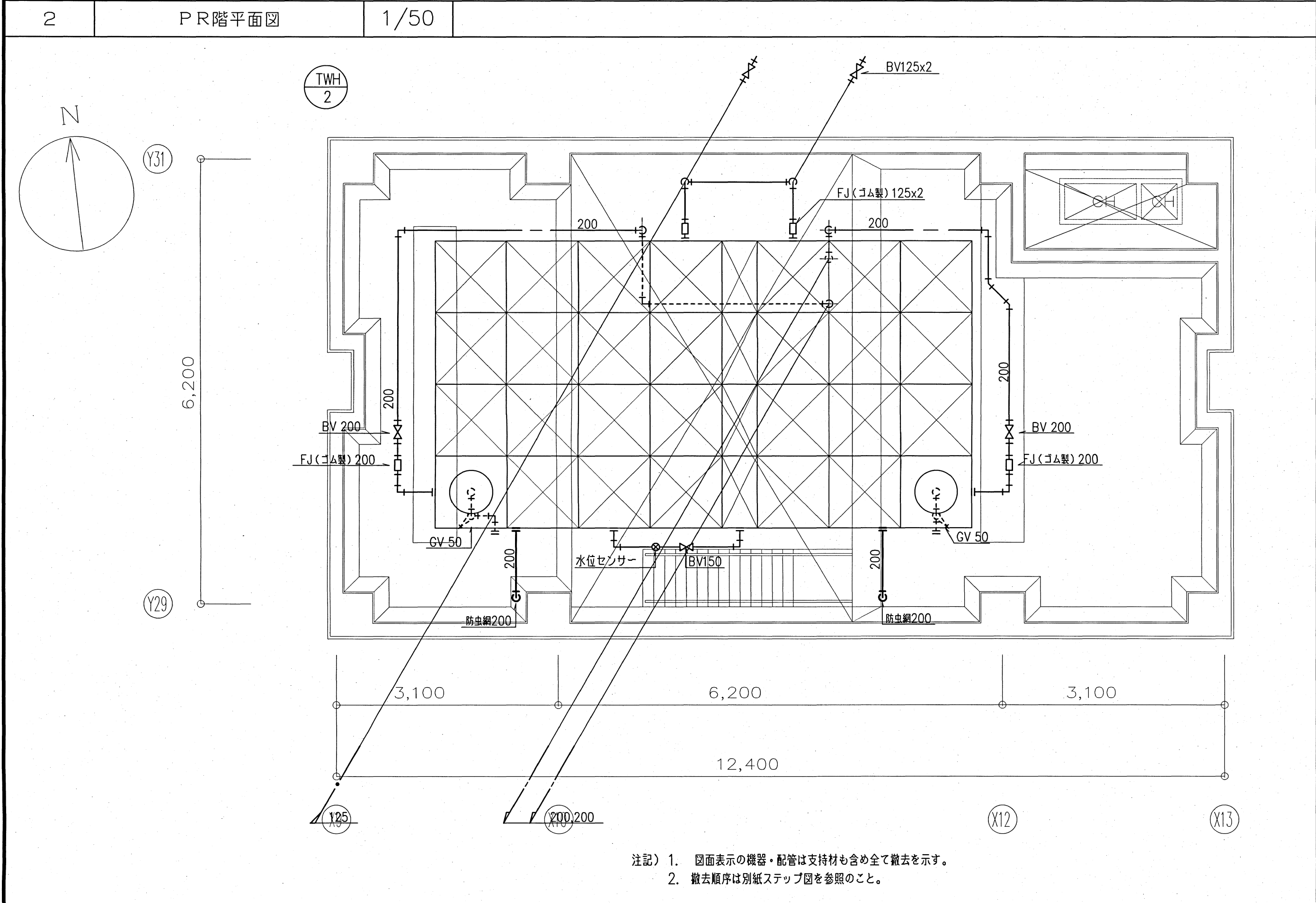
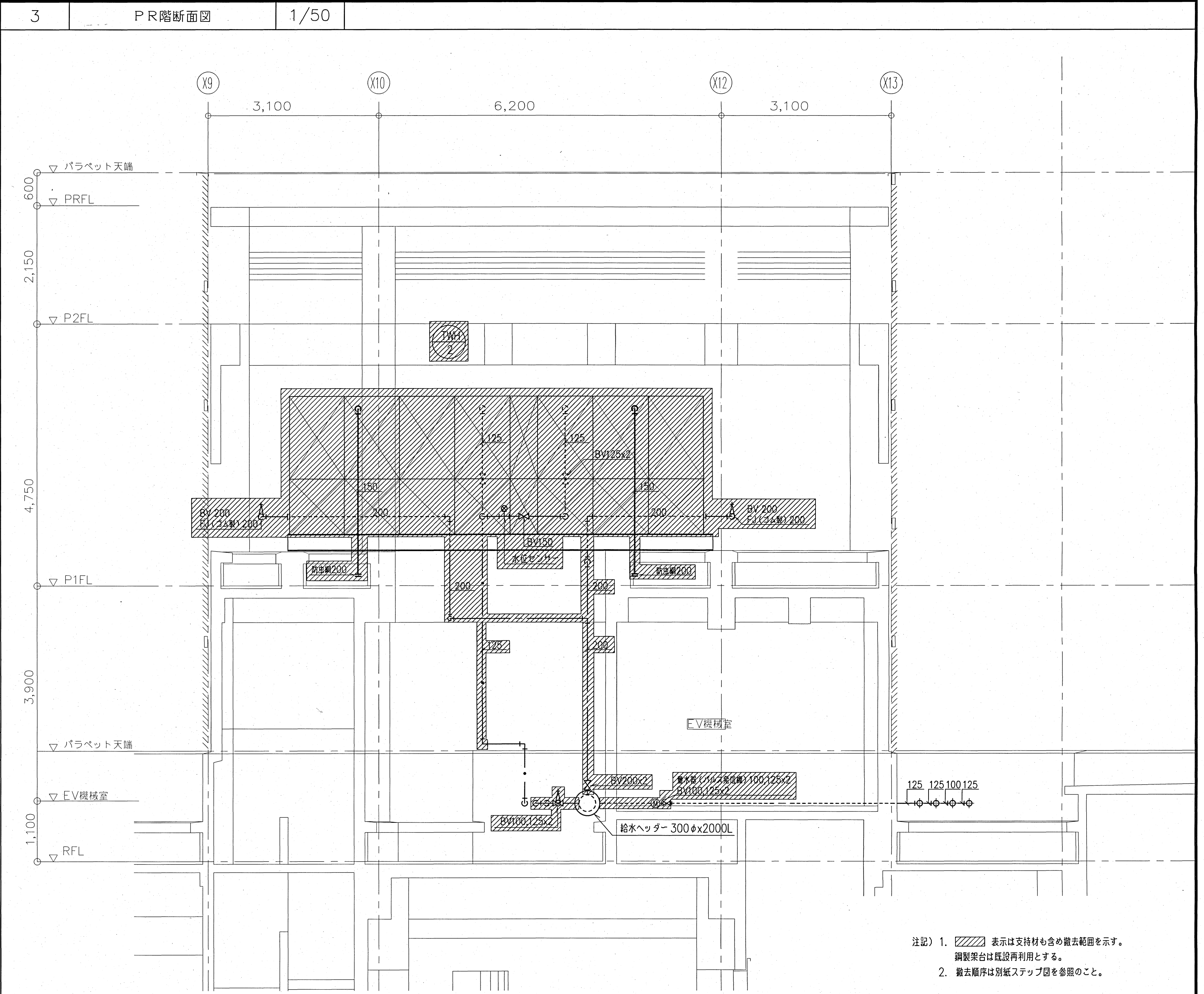
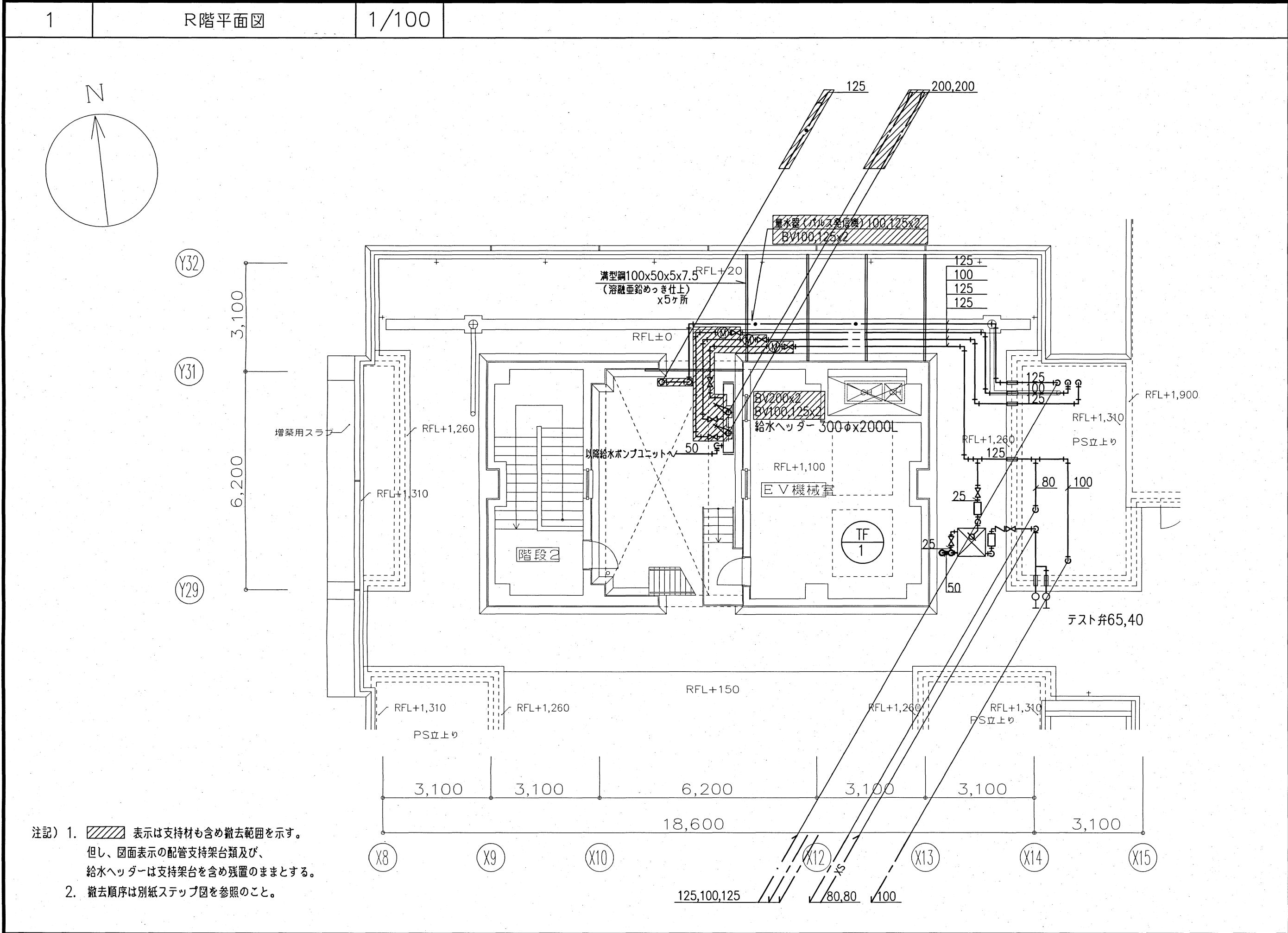
2. 撤去順序は別紙ステップ図を参照のこと。



注記) 1. 図面表示の機器・配管は支持材も含め全て撤去を示す。  
2. 撤去順序は別紙ステップ図を参照のこと。

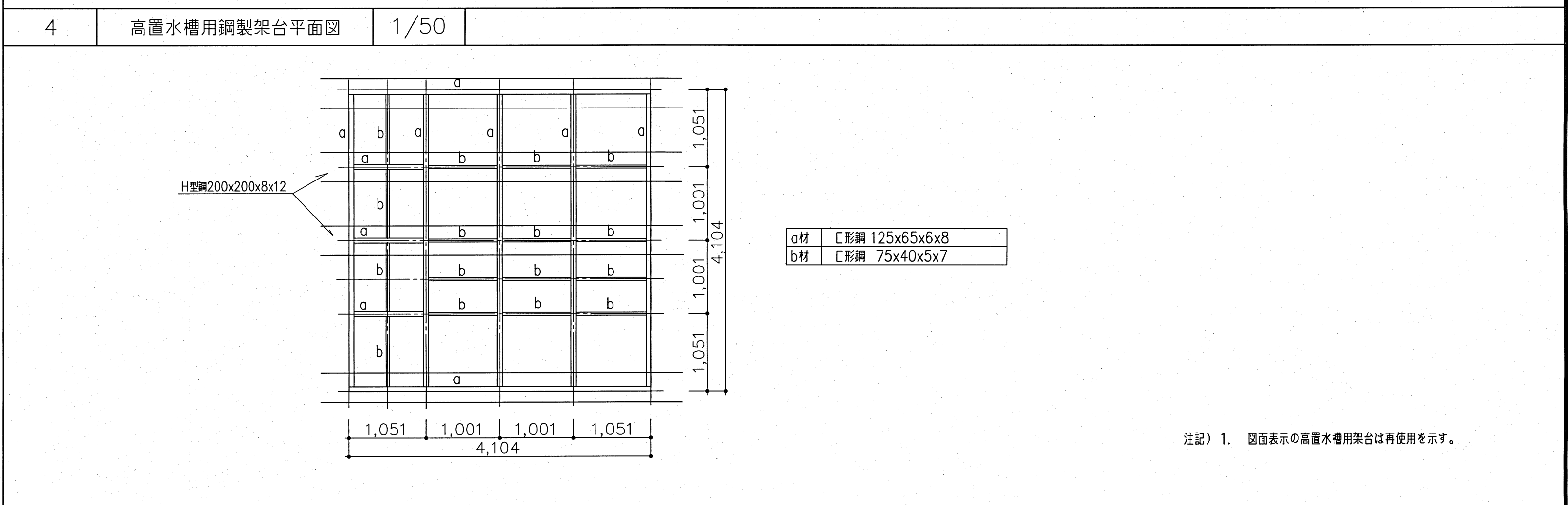
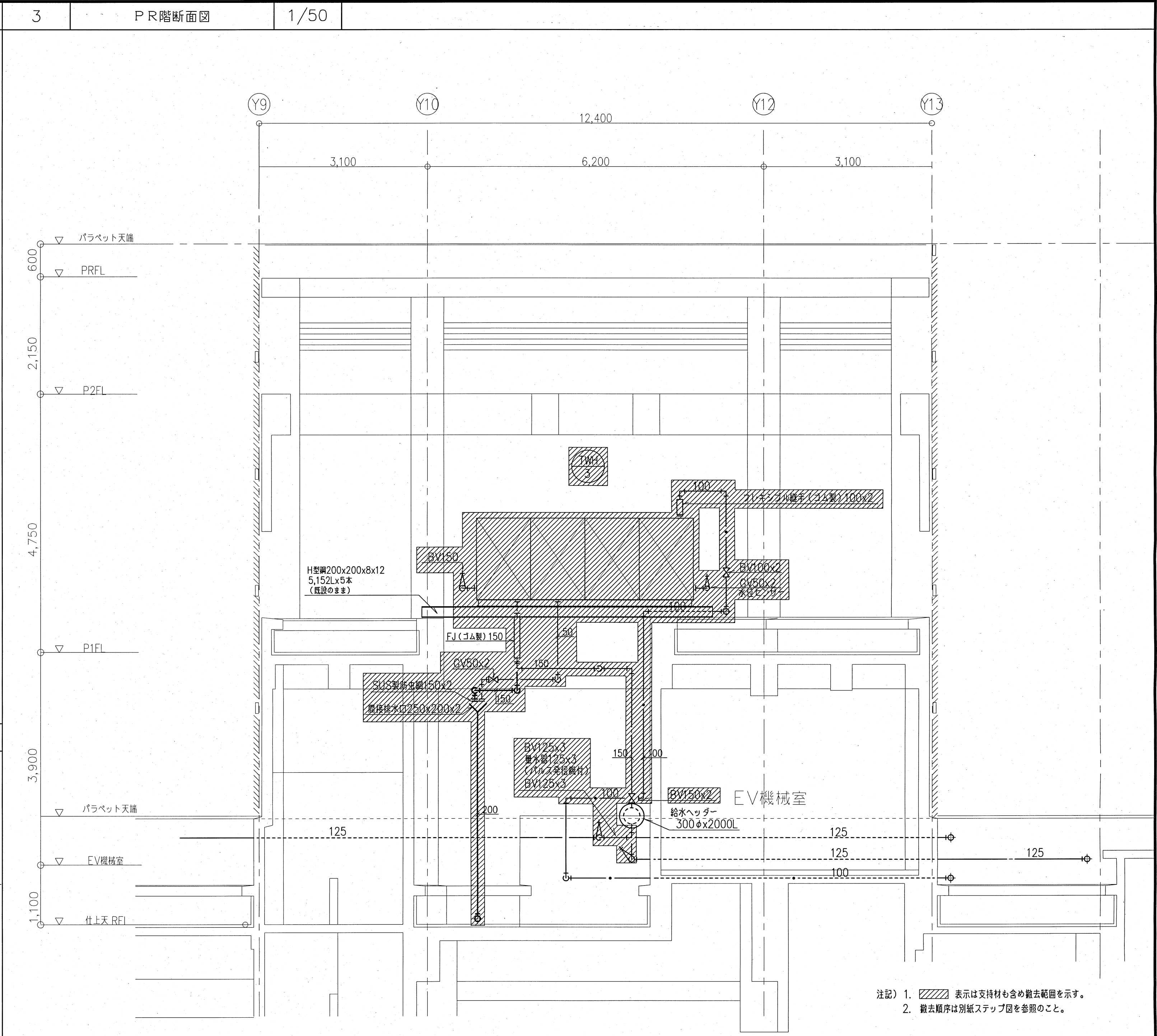
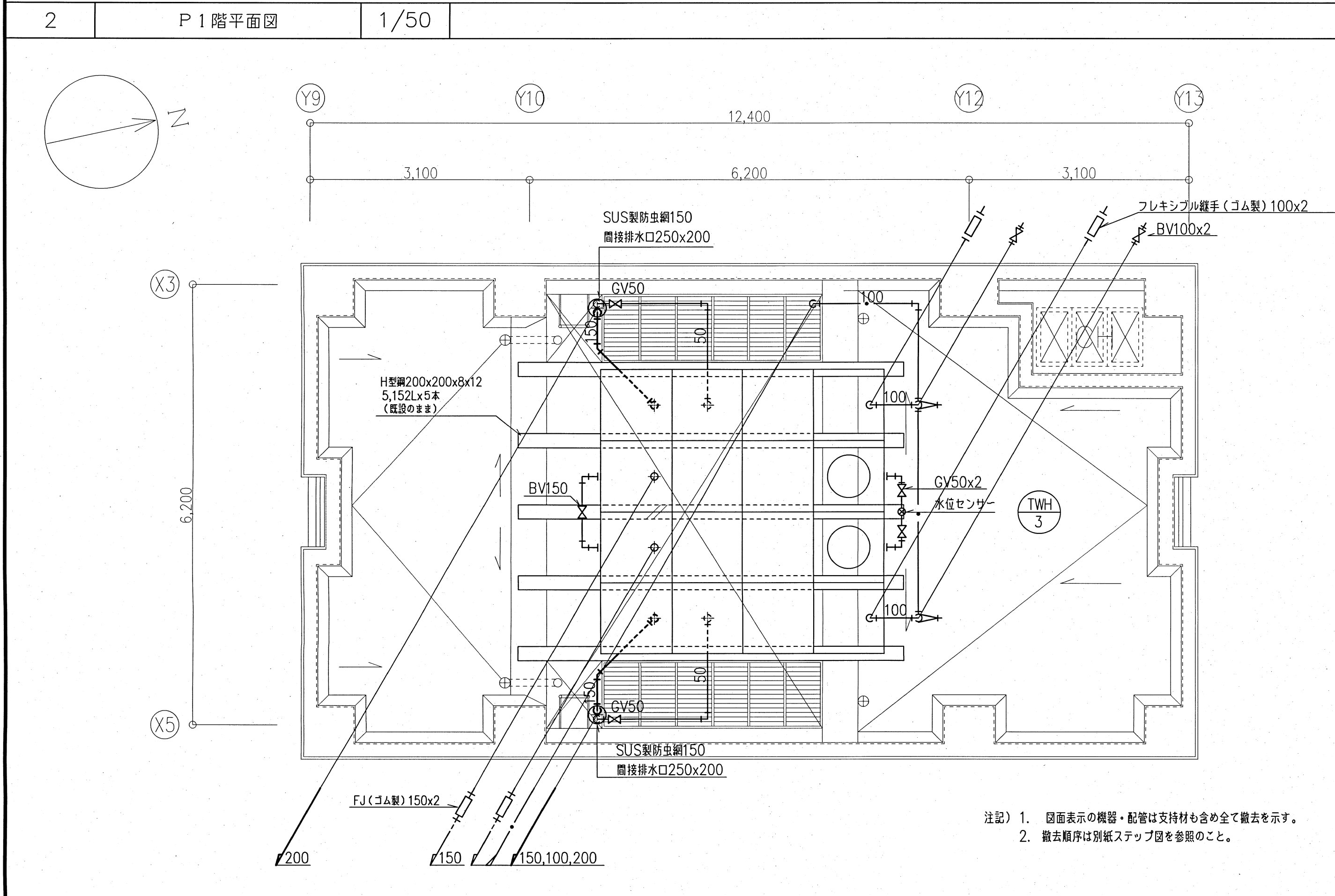
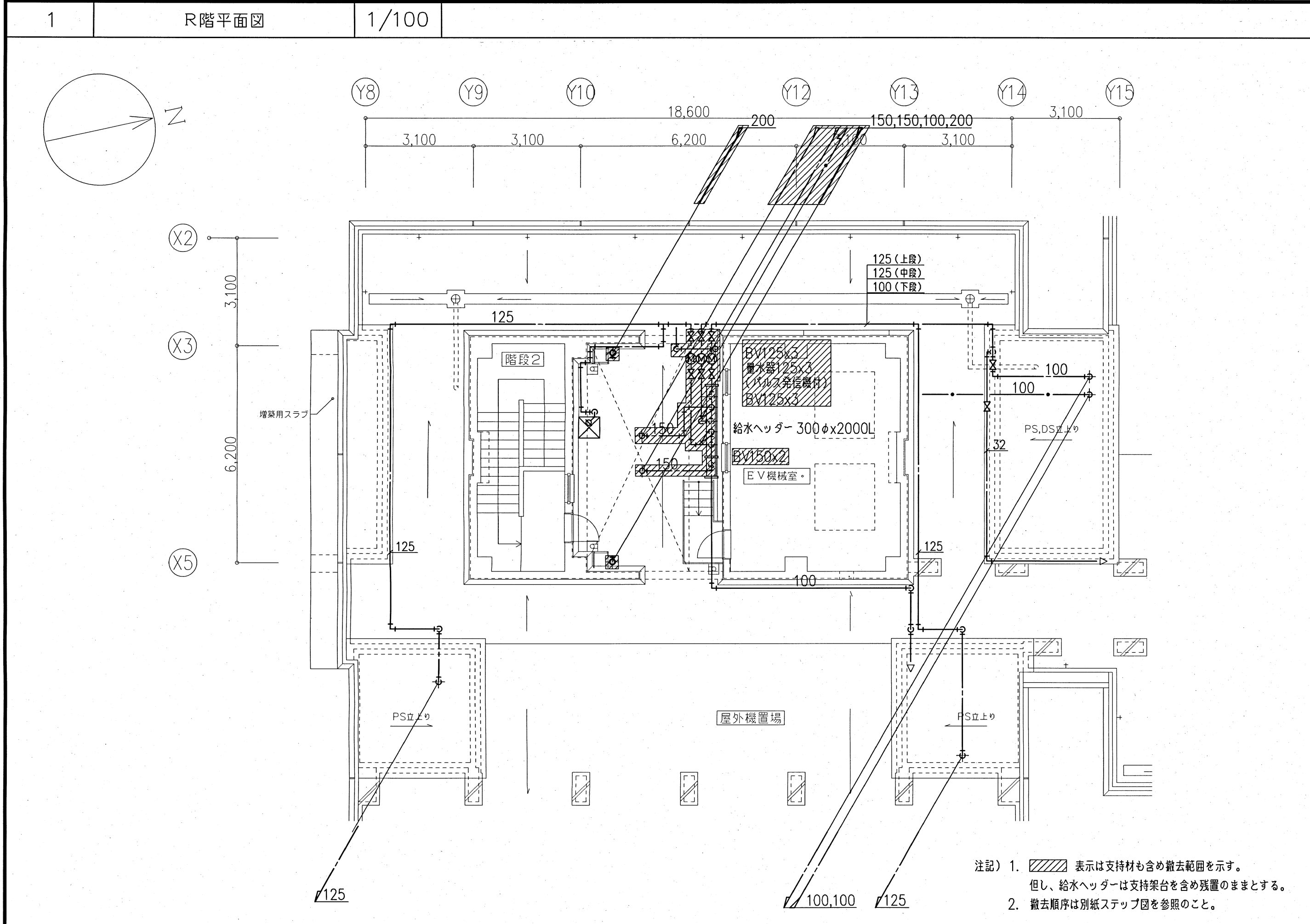


注記) 1. 図面表示の高置水槽用架台は全て撤去を示す。

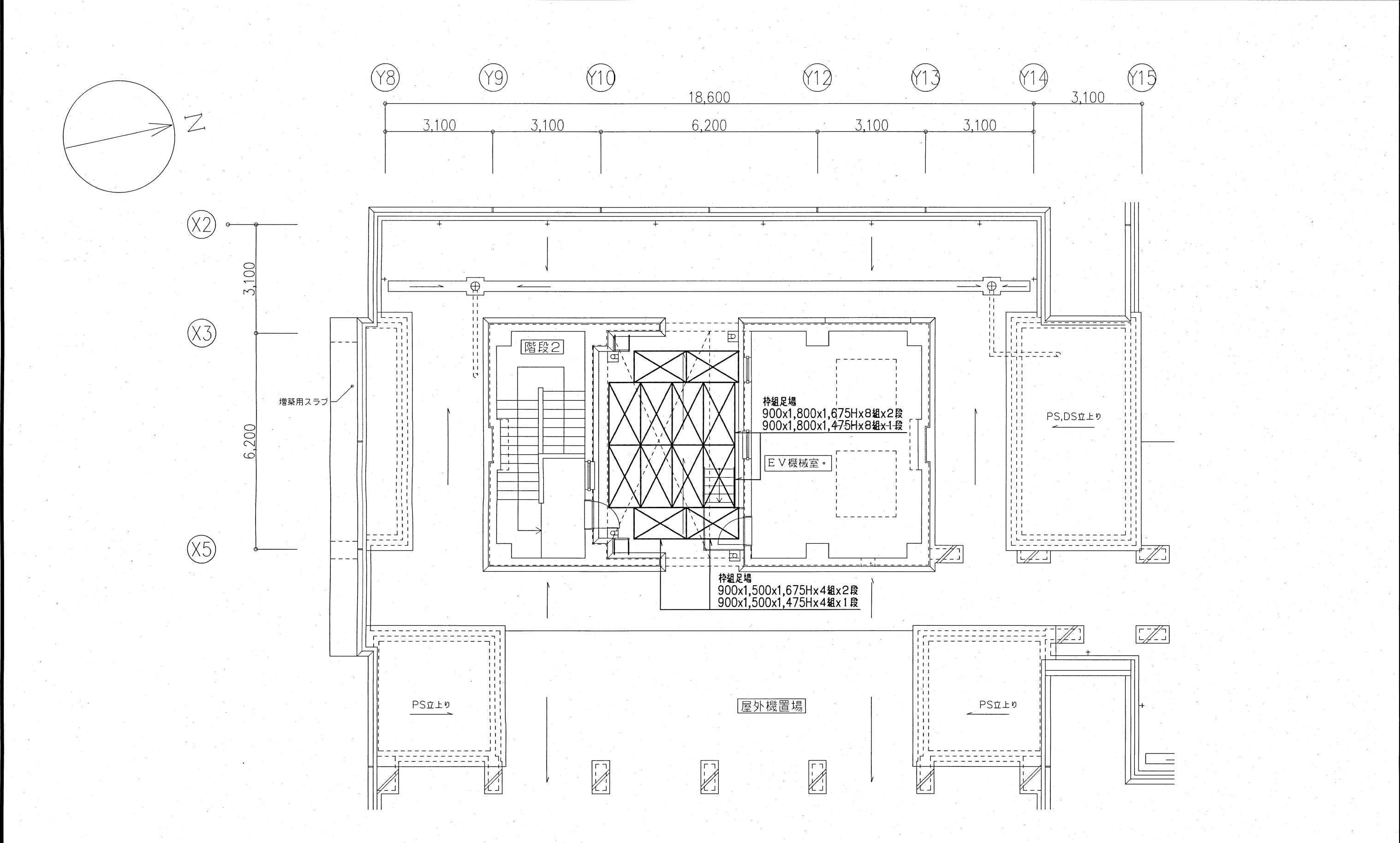
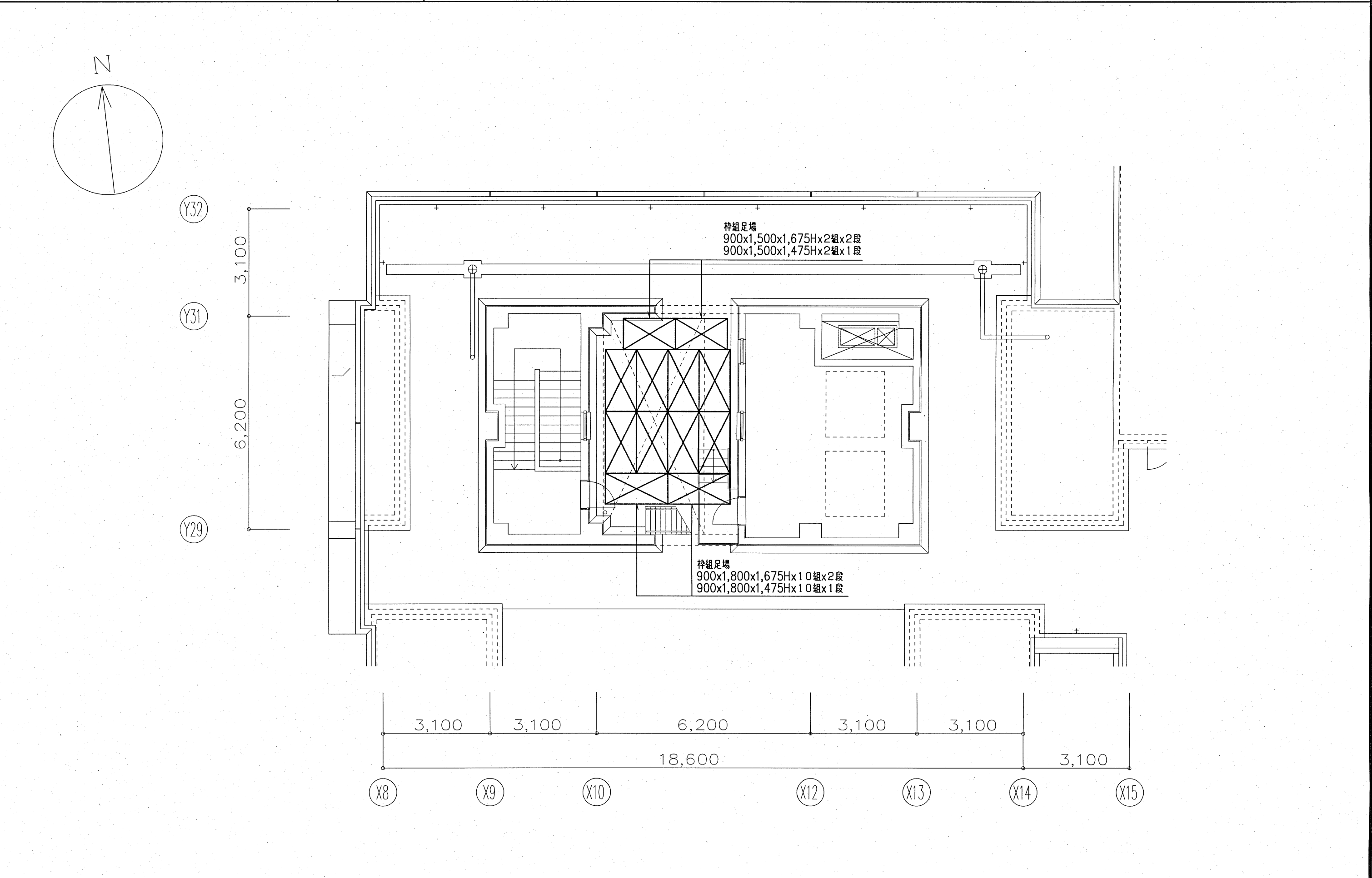
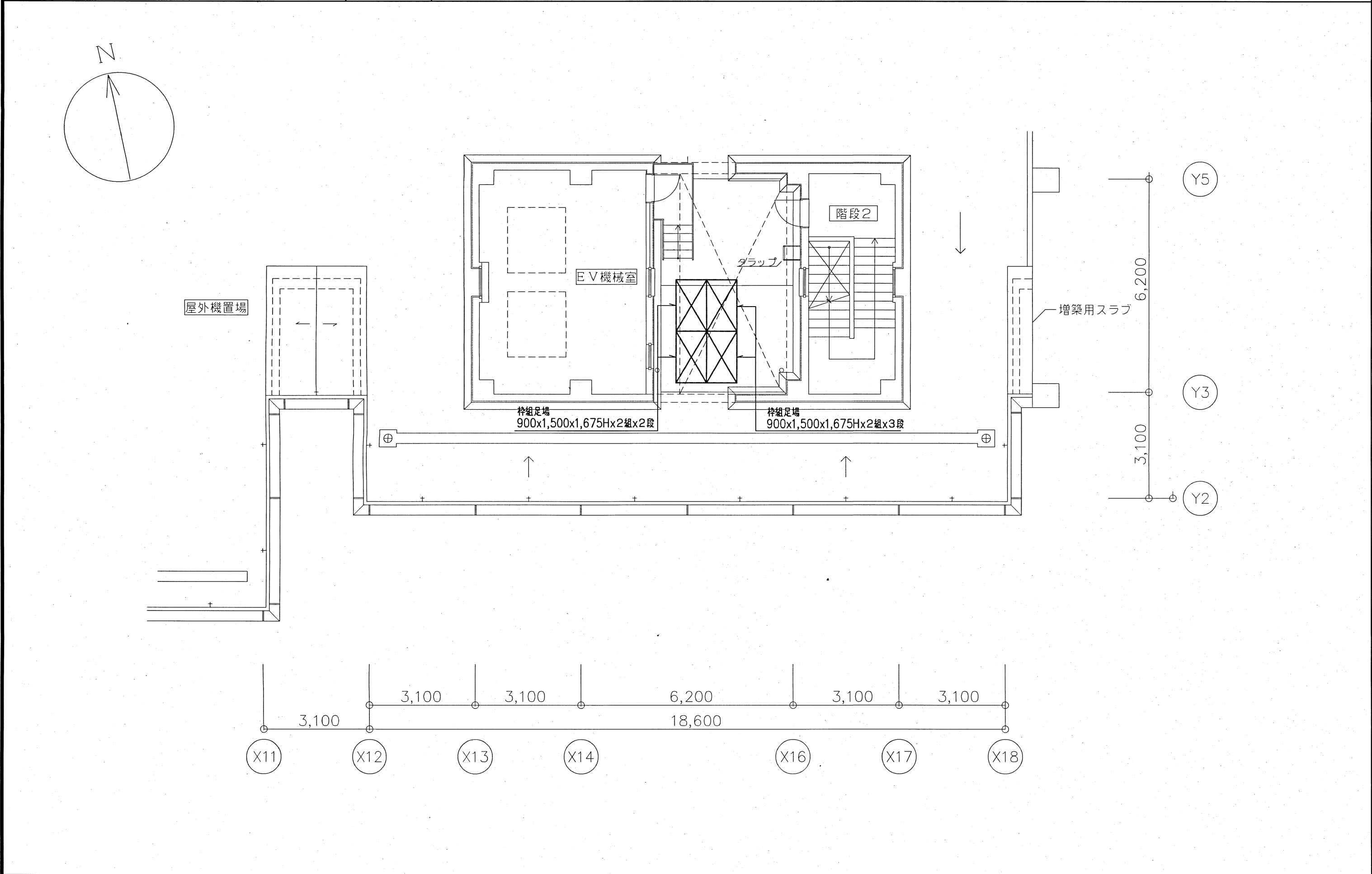


訂正	令和 年 月 日						設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 課長 課長補佐 係長 担当者	工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事 図面名称 バイオサイエンスC棟 屋階高置水槽回り詳細図（撤去）	年度 令和 7 年度 縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 M-27
		株式会社新日本設備計画	紀	桃								

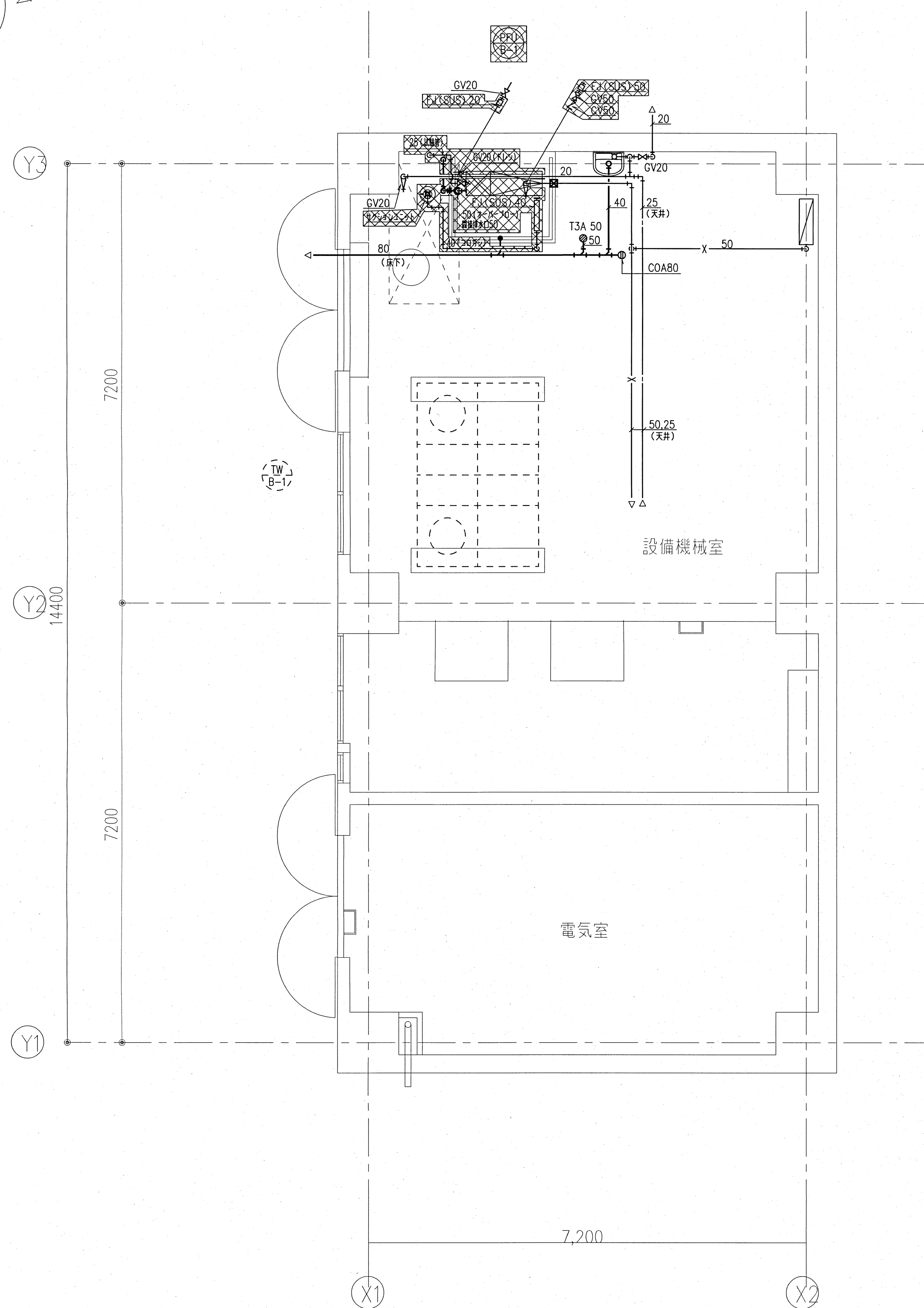
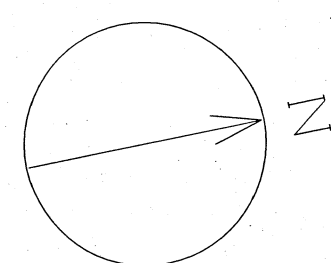




訂正	令和 年 月 日	設計業務名	設計年月日	工事名	年度
		奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 設計業務	令和 7 年 6 月 日	奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 工事	令和 7 年度
		株式会社新日本設備計画	整理番号	図面名称	縮尺 図面番号
				物質創成科学E棟 屋階高置水槽回り詳細図 (撤去)	A1:1/100, 1/50 A3:1/200, 1/100 M-28



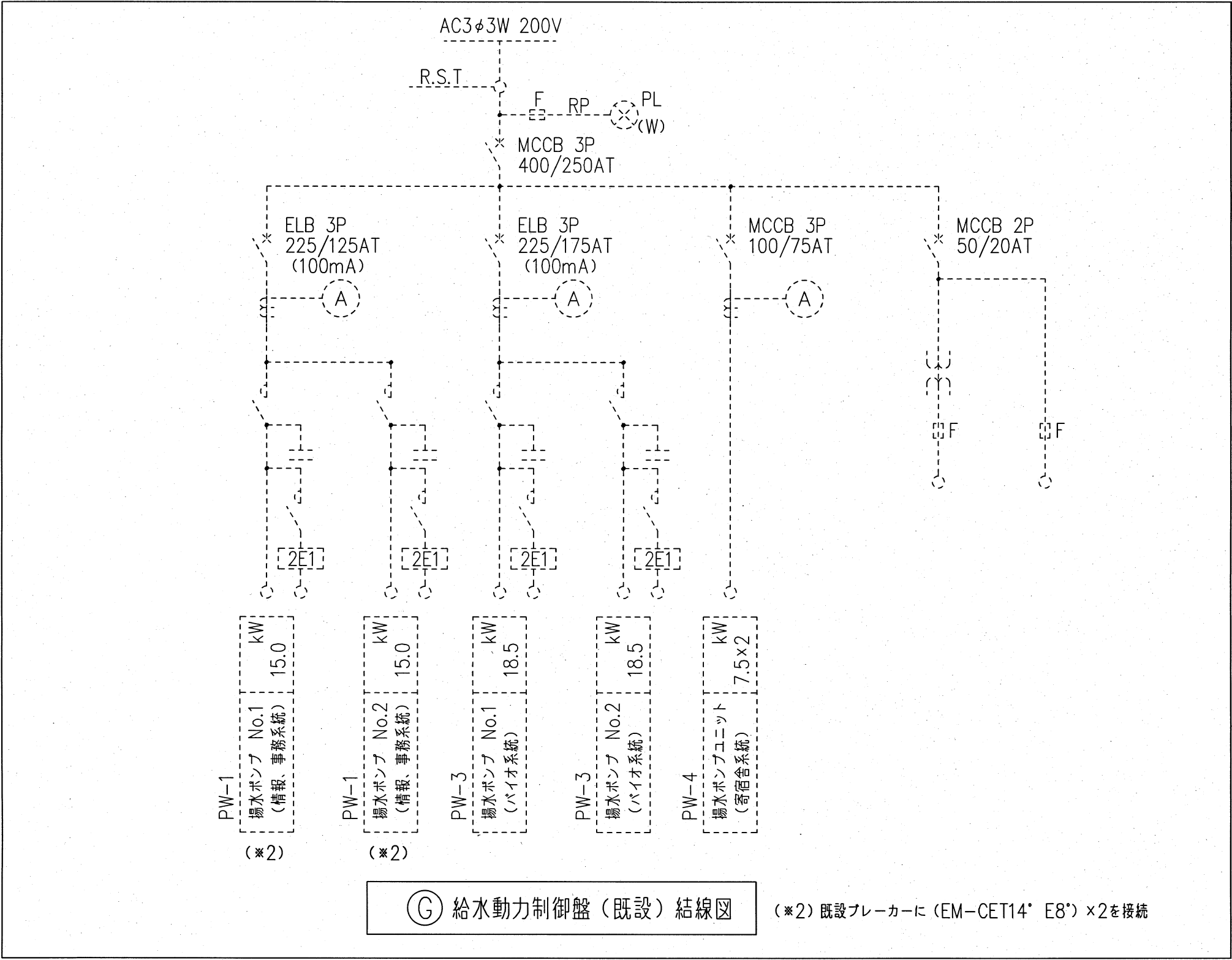
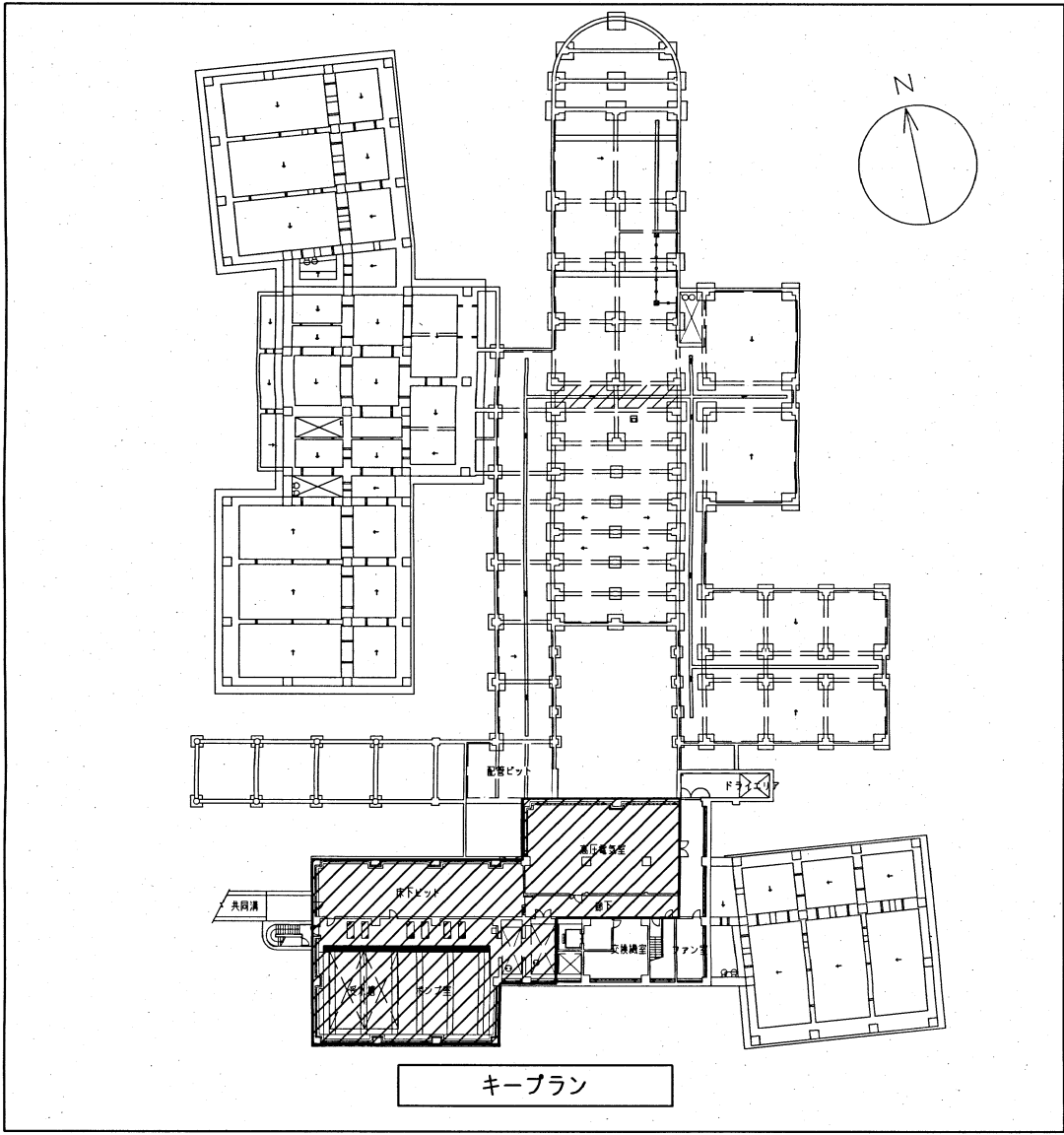




地階平面図 1:100

注記) 1. 表示部のみ撤去改修範囲を示す。  
撤去範囲については、配管支持材の撤去も含む。  
2. 表示は凍結止水位置を示し、2回の止水を見込む。

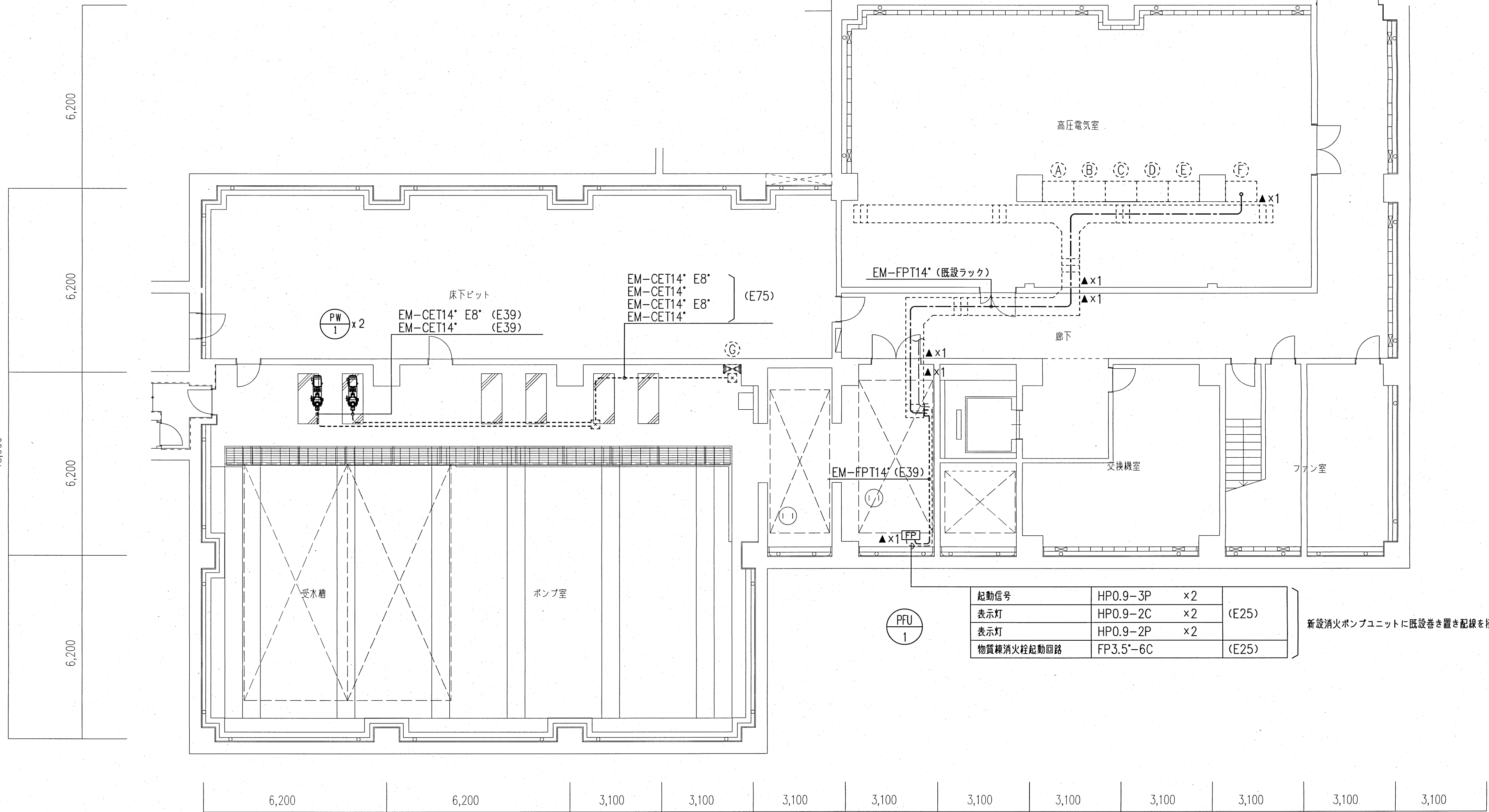
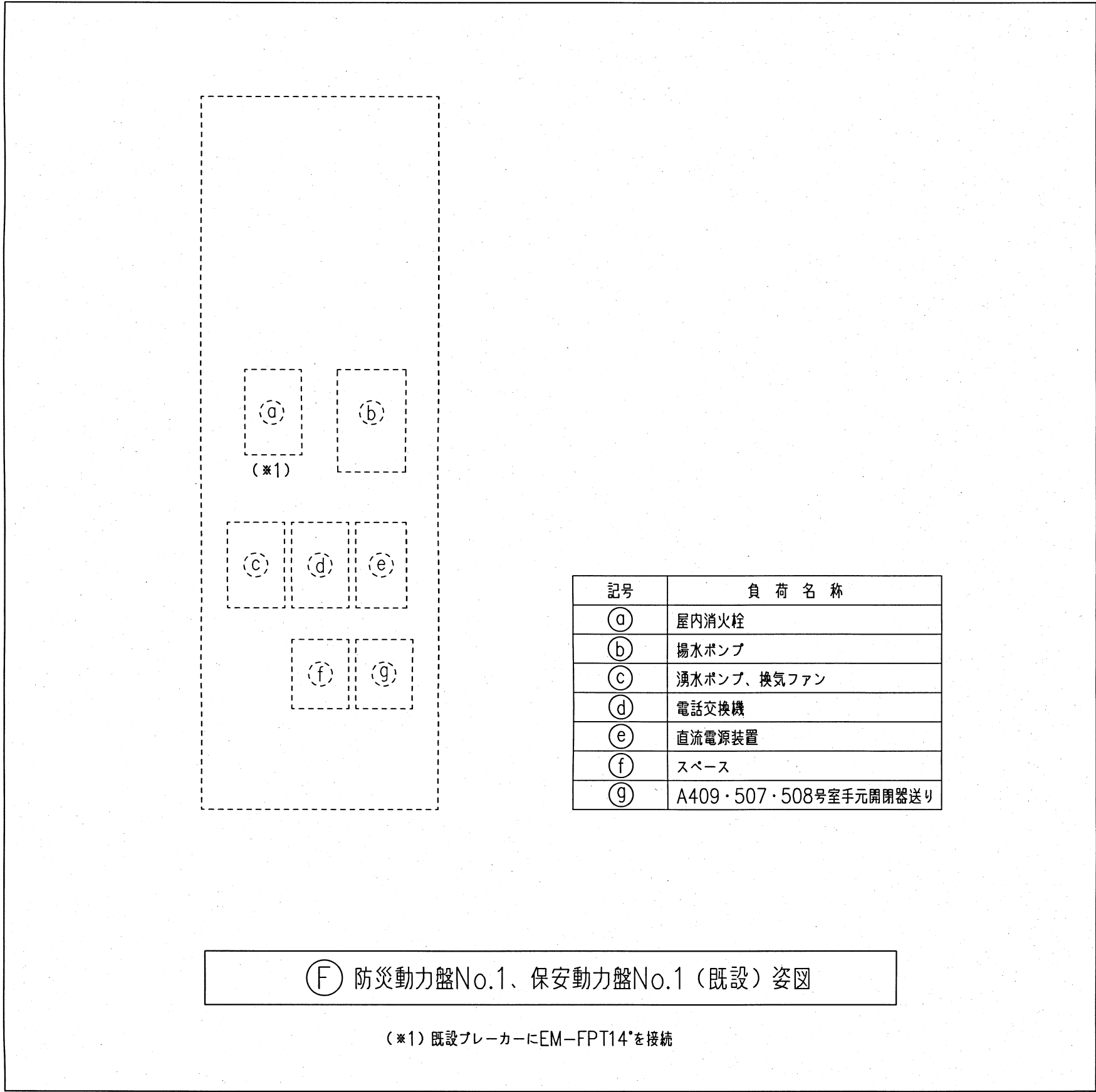
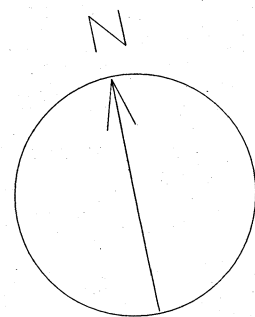
訂正	令和 年 月 日						設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事 図面名称 事務局別館 地階平面詳細図（撤去、改修）	年度 令和 7 年度	
									課長	課長補佐	係長	担当者		縮尺	図面番号
														A1:1/50 A3:1/100	M-30



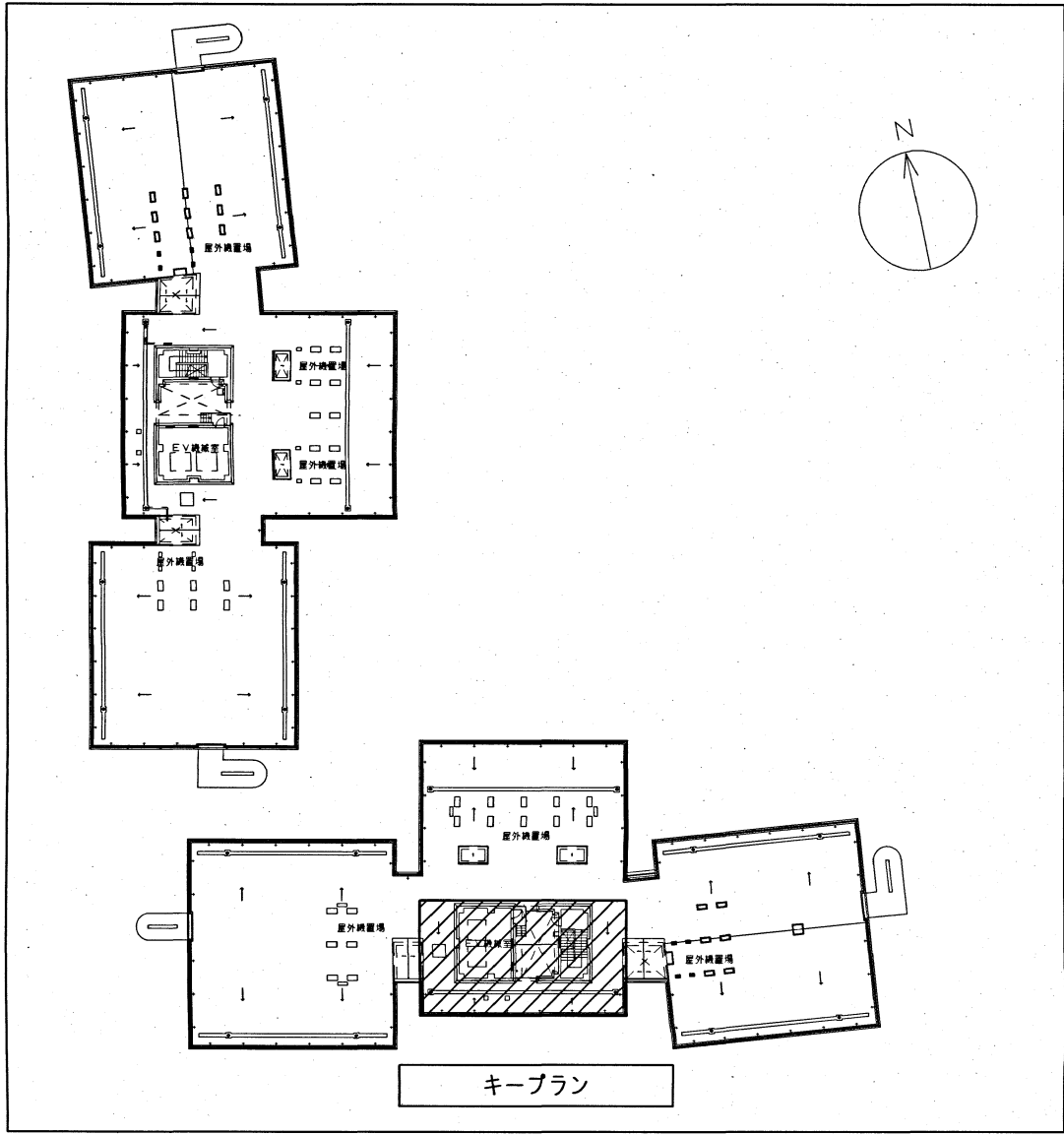
記号	盤 名 称	
(A)	一般実業用盤No.1、電灯盤No.1-1	(既設)
(B)	電灯盤No.1-2	(既設)
(C)	電灯盤No.1-3	(既設)
(D)	低圧電灯盤No.2	(既設)
(E)	一般動力盤No.1、動力盤No.1-1	(既設)
(F)	防災動力盤No.1、保安動力盤No.1	(既設)
(G)	給水動力制御盤	(既設)

凡 例		
[FP]	消防ポンプユニット	衛生設備参照
[E]	動力制御盤	既設
[B]	ブルボックス	既設
-----	露出配管配線	
-----	ケーブルラック配線	
-----	ケーブルラック	既設
▲	ケーブル表示札	アクリル製

注 記  
1. 図中大線図は新設、細破線部は既設を示す。



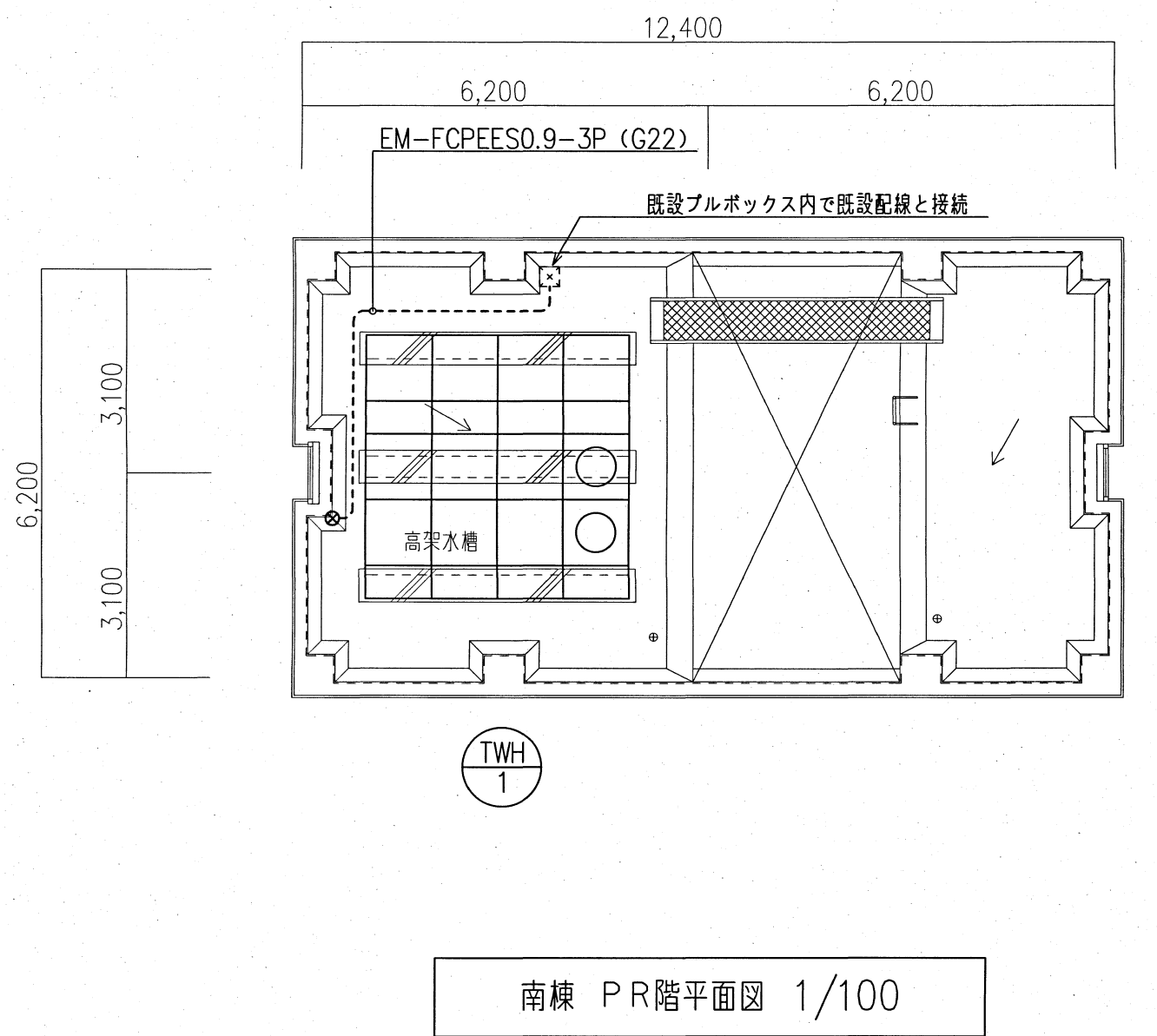
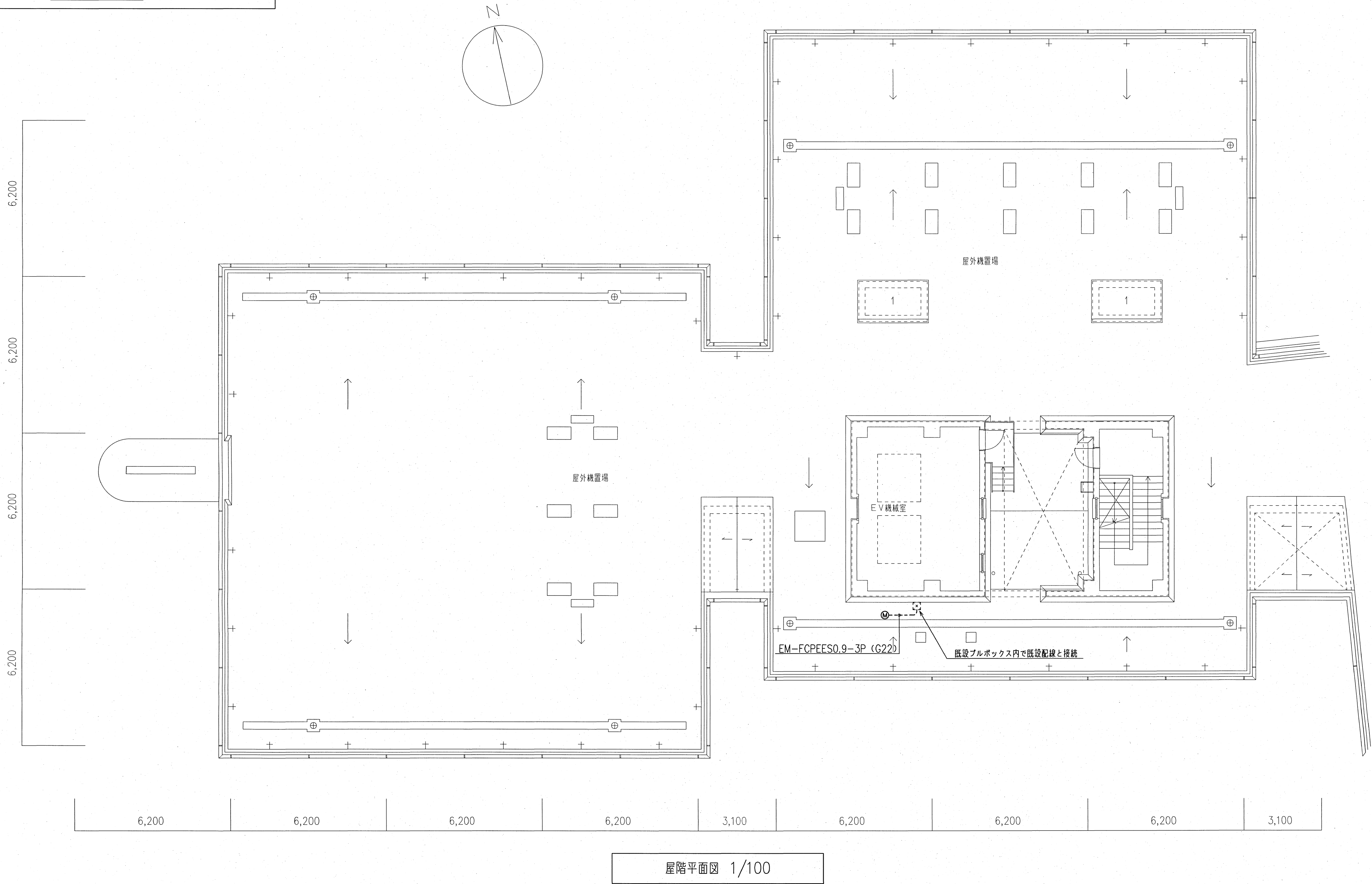




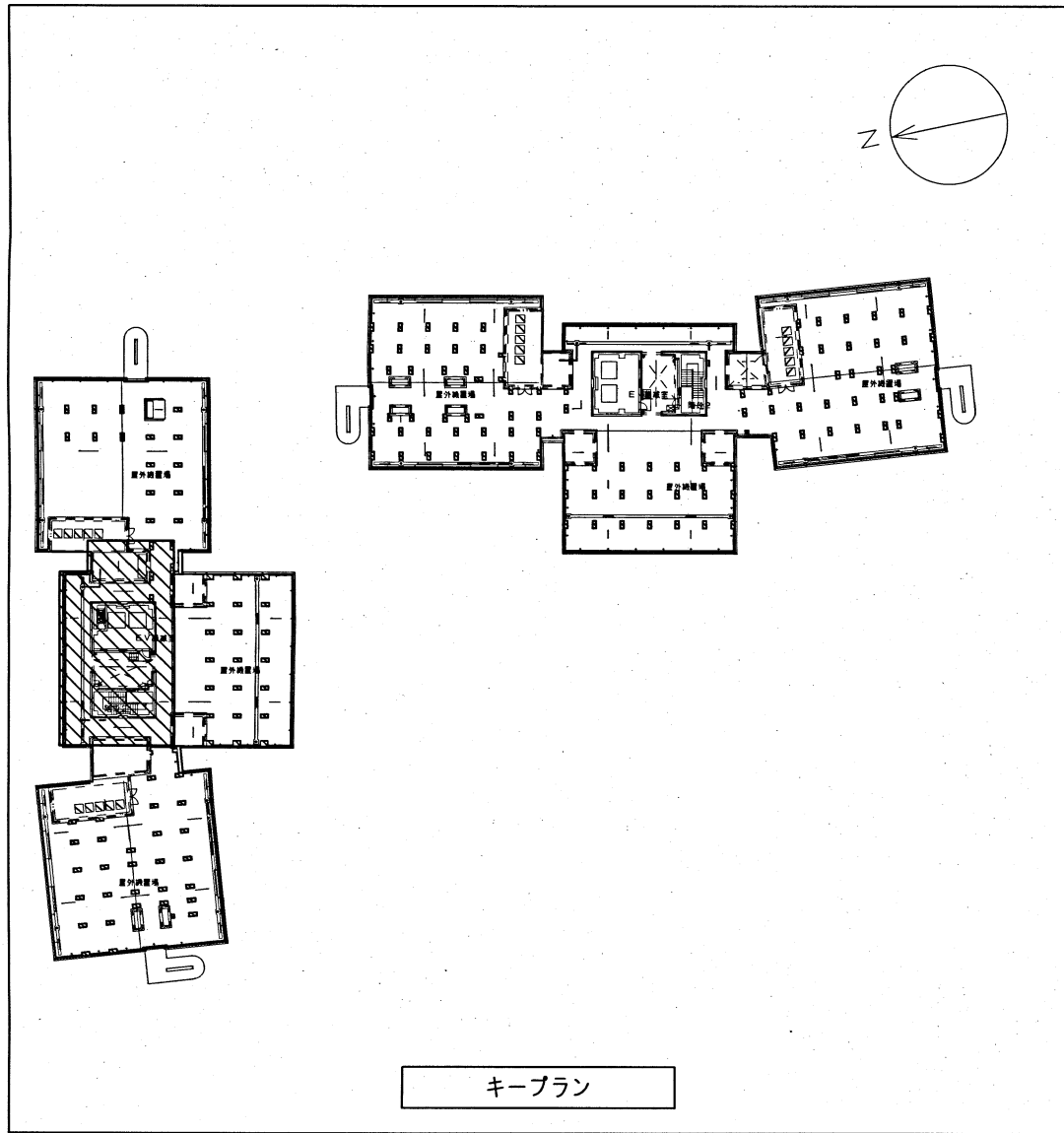
凡 例		
記 号	名 称	備 考
④	量水器	衛生設備参照
⊙	水位センサー	衛生設備参照
□	ブルボックス	既設
-----	露出配管配線	

注 記

1. 図中大線図は新設、細破線部は既設を示す。



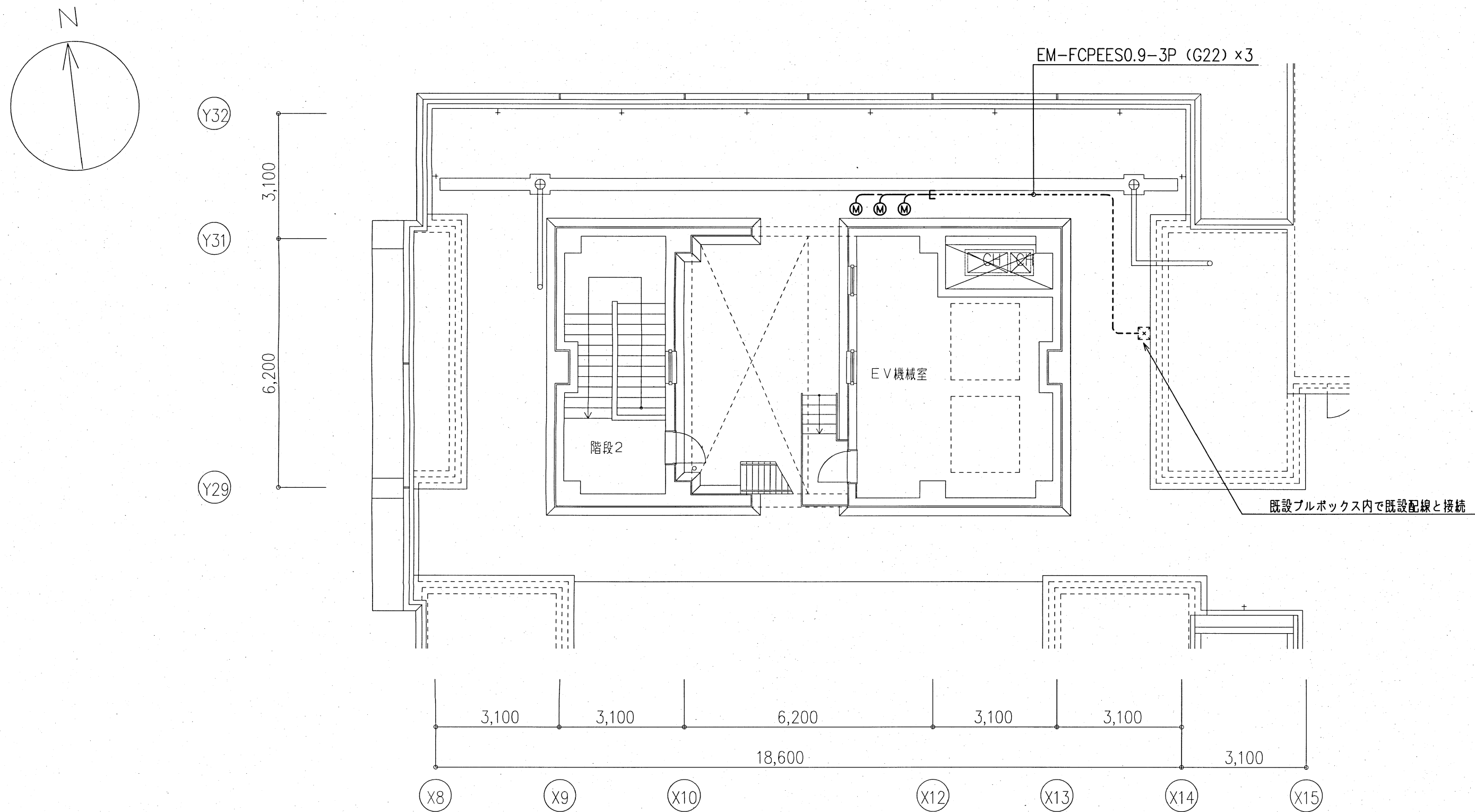
訂正	令和 年 月 日	株式会社新日本設備計画	設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事 図面名称 情報科学A棟 自動制御設備 屋階平面図（改修）	年度 令和7年度 縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-02
					課長	課長補佐	係長	担当者			
					山	山	山	福			



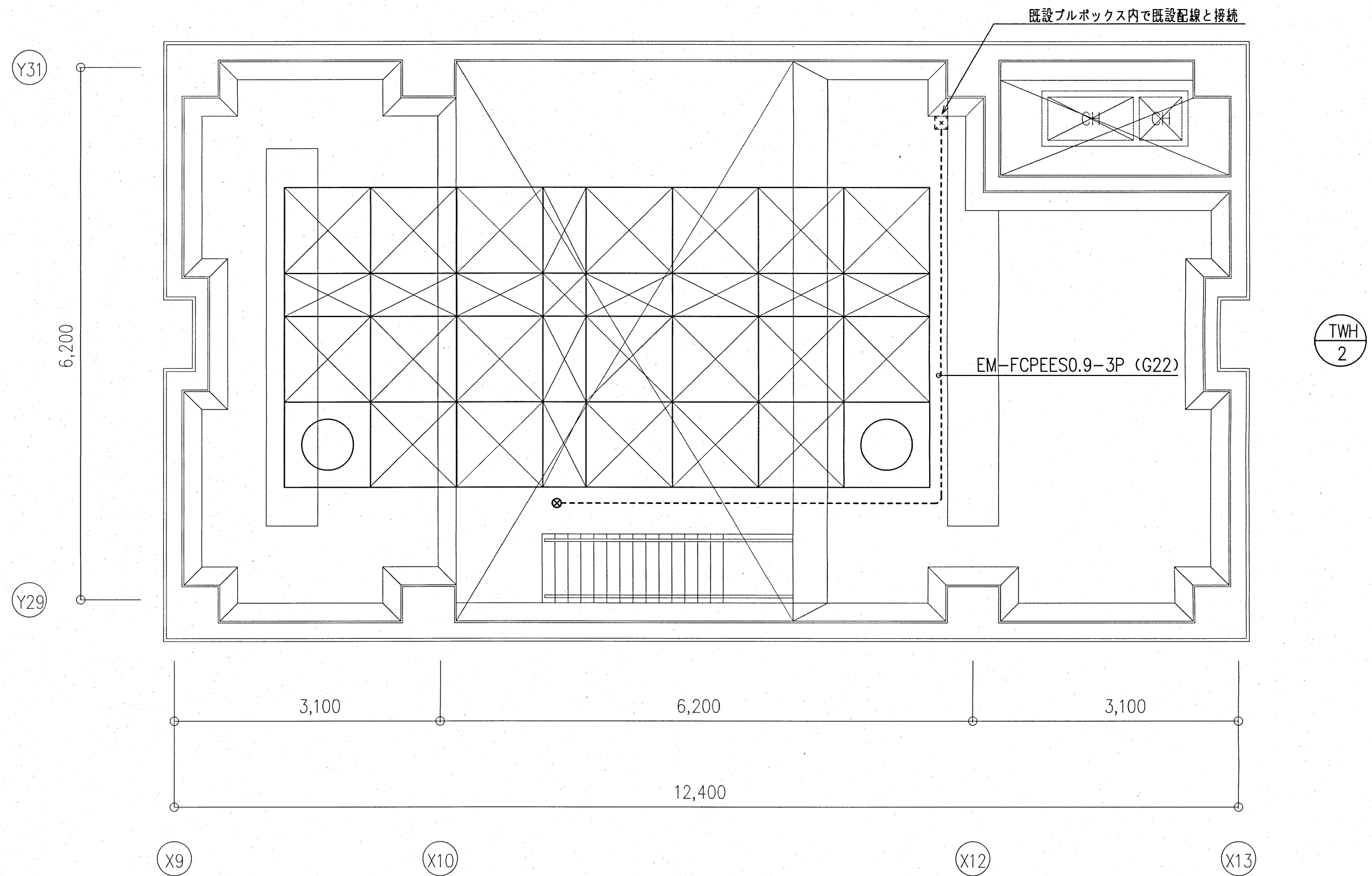
凡 例		
記 号	名 称	備 考
①	量水器	衛生設備参照
②	水位センサー	衛生設備参照
③	ブルボックス	既設
----	露出配管配線	
----	ころがし配線	

注 記




1. 図中大線図は新設、細破線部は既設を示す。



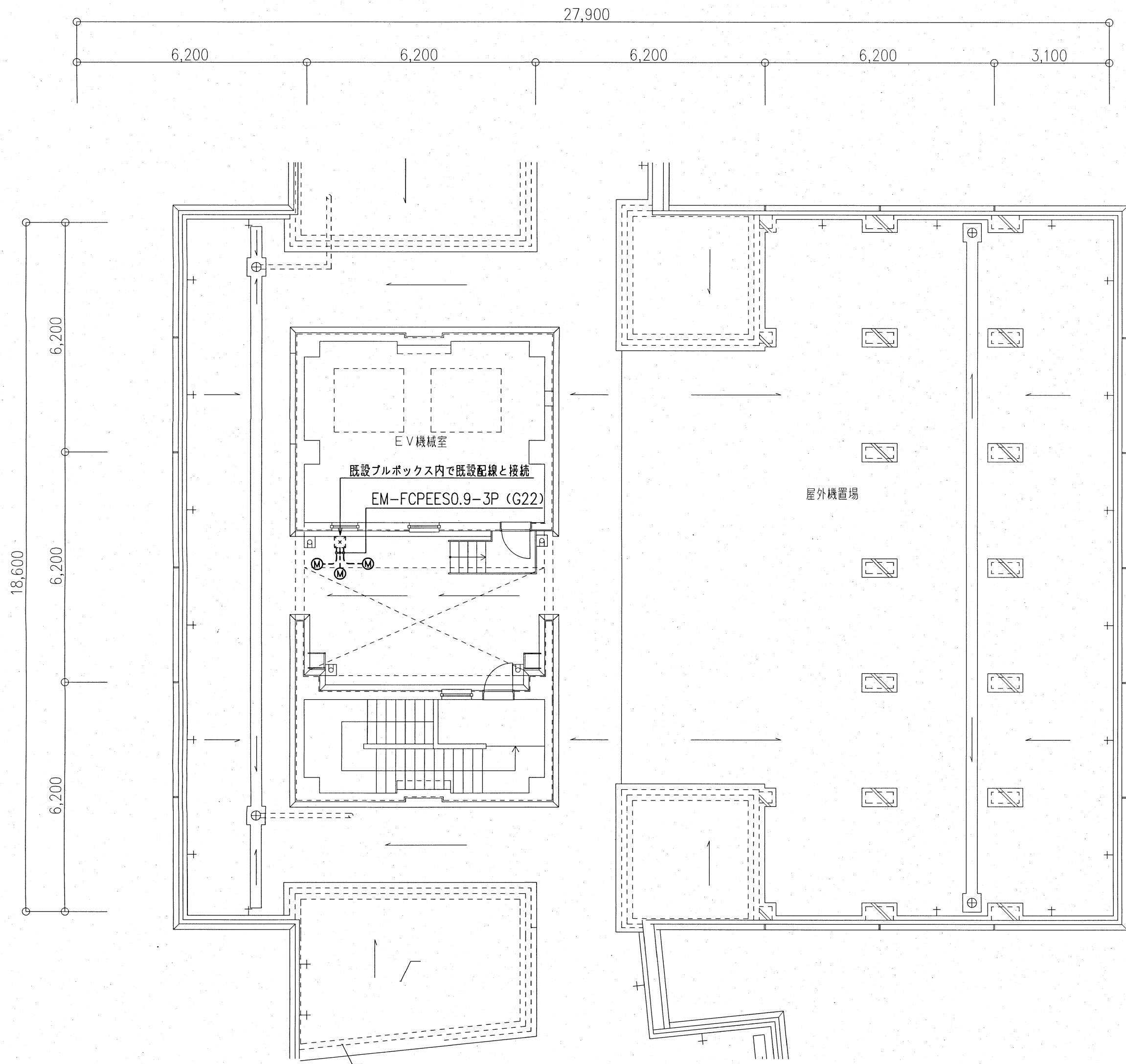
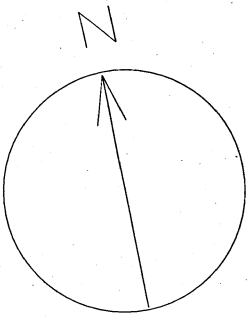
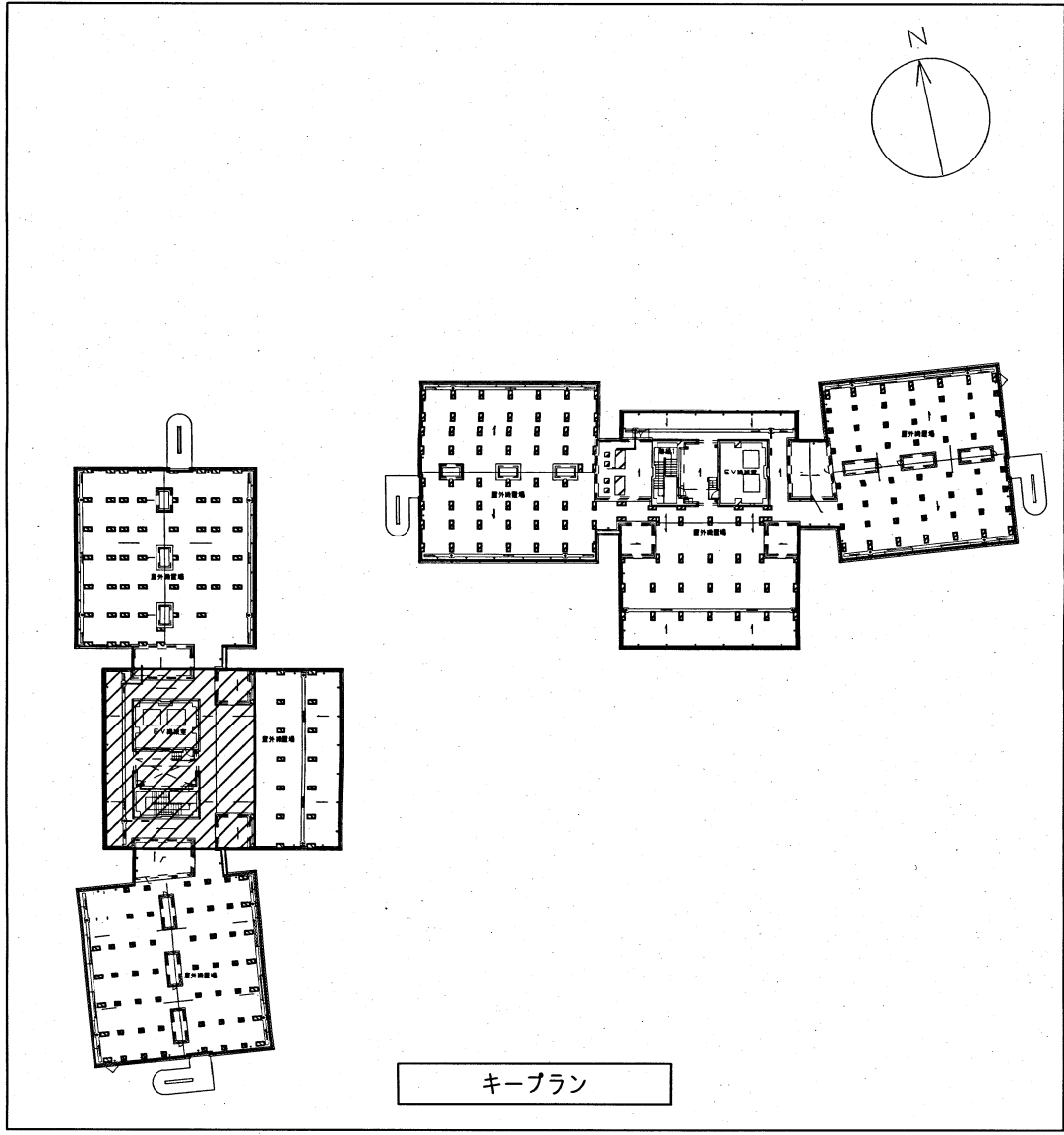
屋階平面図 1:100



P1階平面図 1:100

訂正	令和 年 月 日						設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	年度 令和 7 年度
									課長	課長補佐	係長	担当者		
														
株式会社新日本設備計画								図面名称 バイオサイエンスC棟 自動制御設備 屋階平面図（改修）				縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-03	



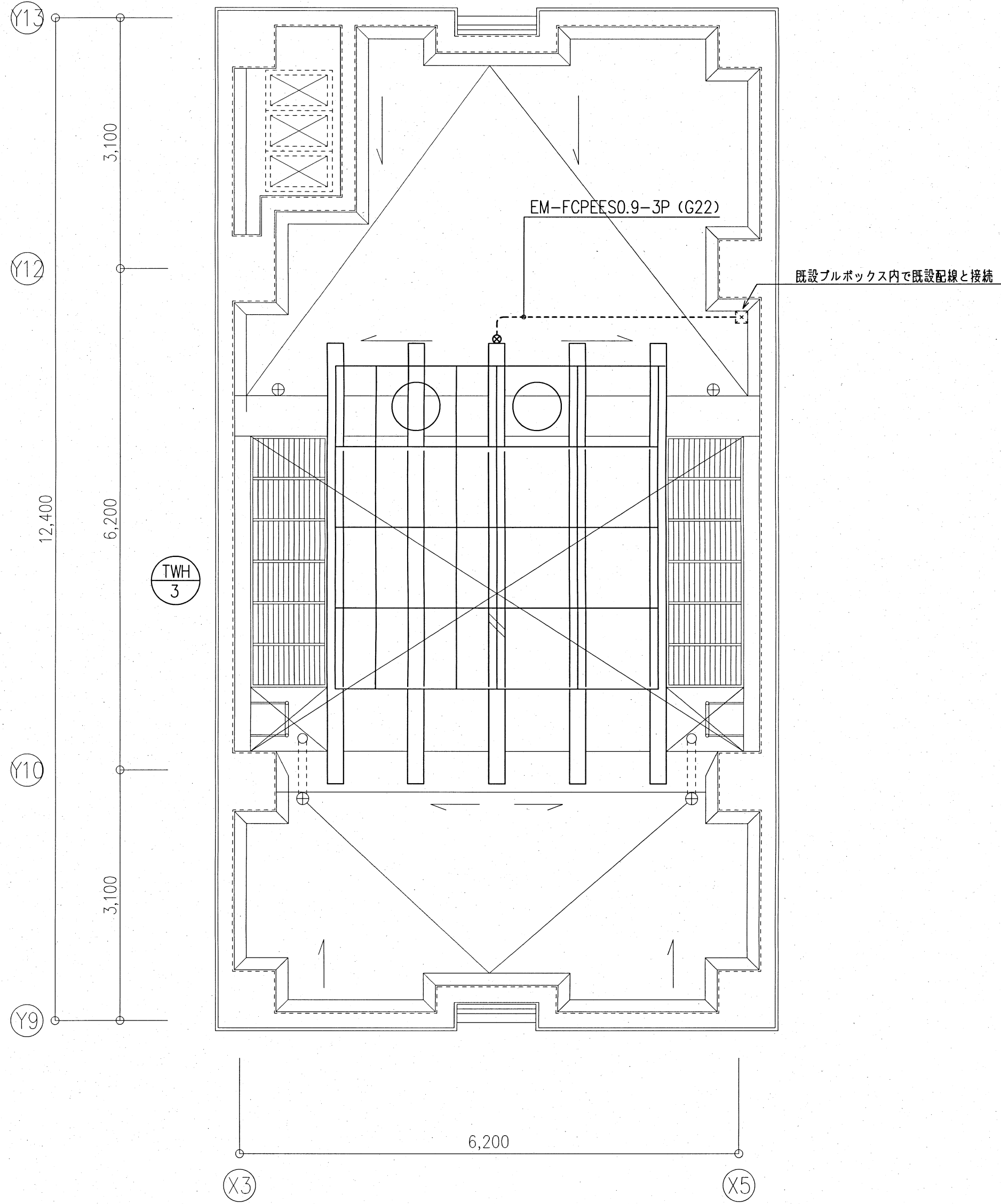


屋階平面図 1/100





凡 例		
記 号	名 称	備 考
①	量水器	衛生設備参照
②	水位センサー	衛生設備参照
③	ブルボックス	既設
-----	露出配管配線	

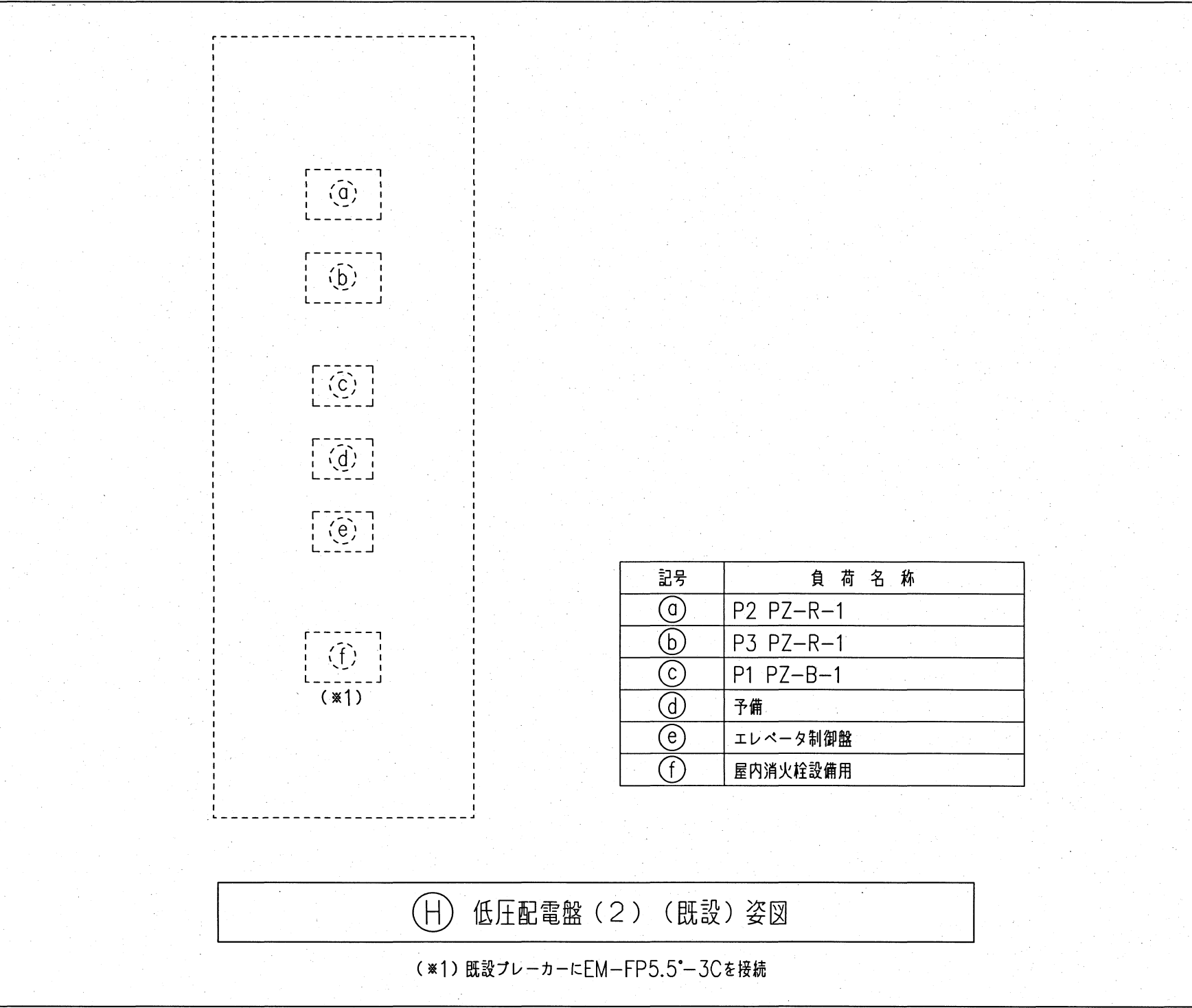
注 記

1. 図中大線図は新設、細破線部は既設を示す。



P1階平面図 1/100

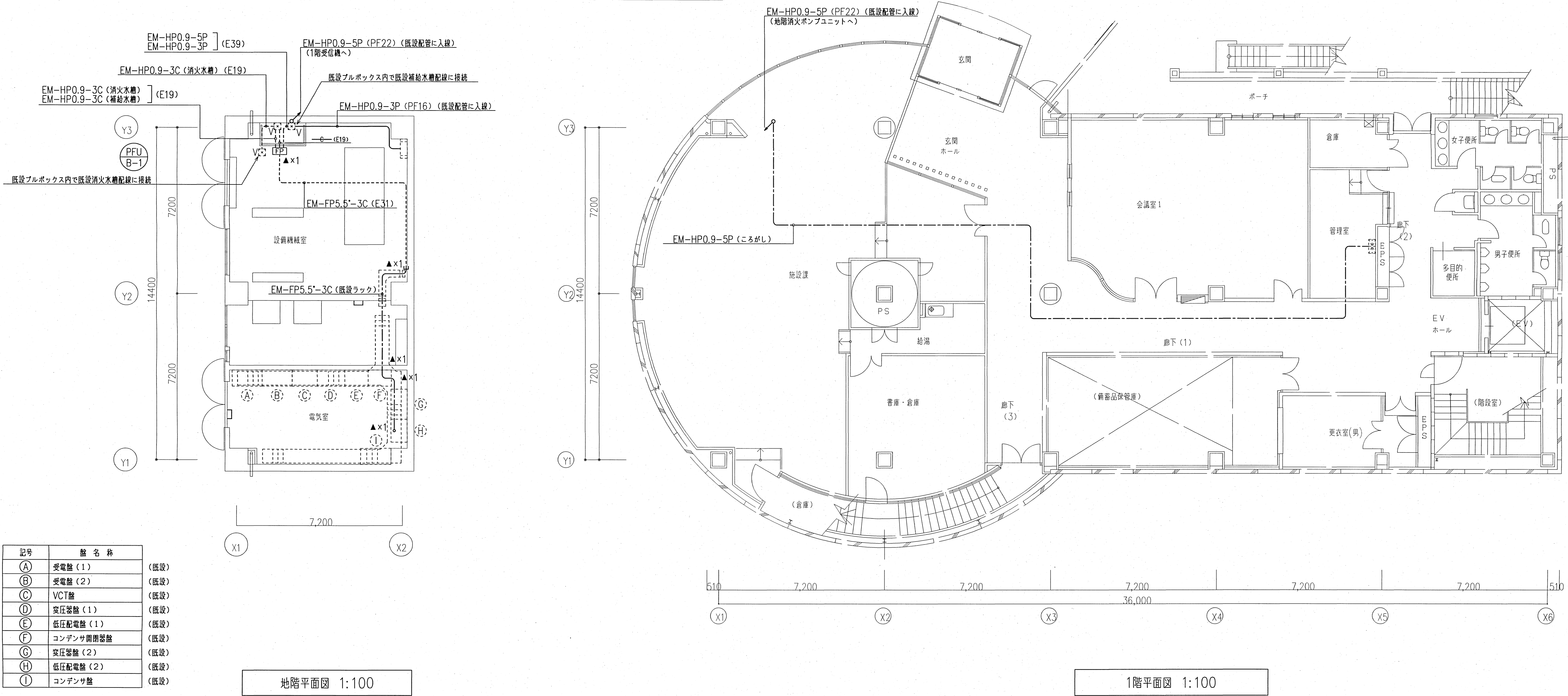
訂正	令和 年 月 日							設計業務名	設計年月日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度
								奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	令和 7 年 6 月 日	課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	令和 7 年度
									整理番号					図面名称	縮尺 図面番号
								株式会社新日本設備計画						物質創成科学E棟 自動制御設備 屋階平面図（改修）	A1:1/100 A3:1/200 E-04



凡 例		
記 号	名 称	備 考
[FP]	消火ポンプユニット	衛生設備参照
[E19]	受信機	既設
[E20]	消火栓	既設
[B]	ブルボックス	既設
——	隠ぺい配管配線	
-----	露出配管配線	
——	ころがし配線またはケーブルラック配線	
——	ケーブルラック	既設
▲	ケーブル表示札	アクリル製

注 記

1. 図中太線図は新設、細破線部は既設を示す。



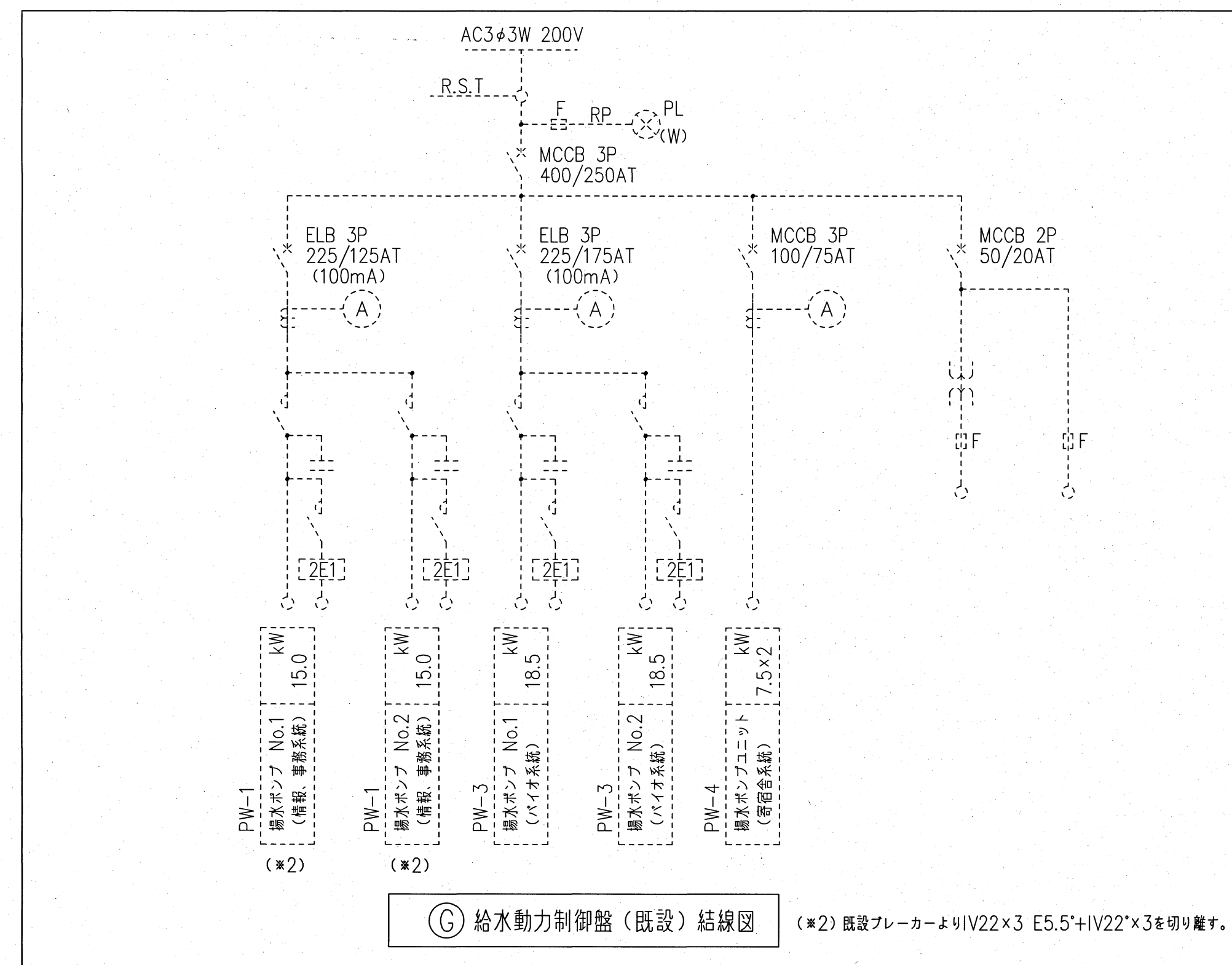
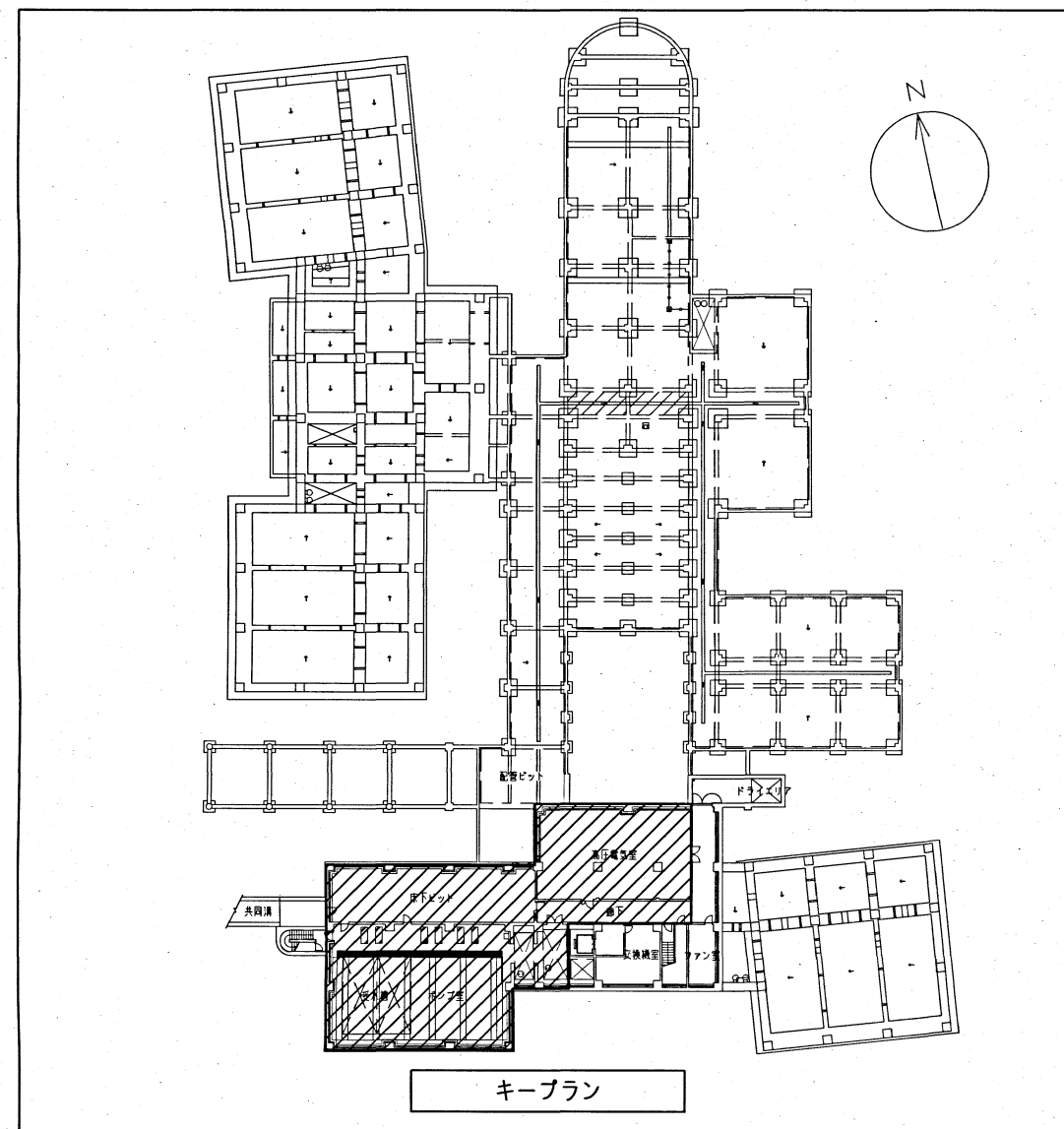
記号	盤 名 称	
(A)	受電盤 (1)	(既設)
(B)	受電盤 (2)	(既設)
(C)	VCT盤	(既設)
(D)	変圧器盤 (1)	(既設)
(E)	低圧配電盤 (1)	(既設)
(F)	コンデンサ開閉器盤	(既設)
(G)	変圧器盤 (2)	(既設)
(H)	低圧配電盤 (2)	(既設)
(I)	コンデンサ盤	(既設)

地階平面図 1:100

1階平面図 1:100

訂正 令和 年 月 日	設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 課長 課長補佐 係長 担当者	工事名 奈良先端大 基幹・環境整備 (給水設備Ⅱ) 工事	年度 令和 7 年度
株式会社新日本設備計画				図面名称 事務局別館 自動制御・動力設備 地階、1階平面図 (改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-05



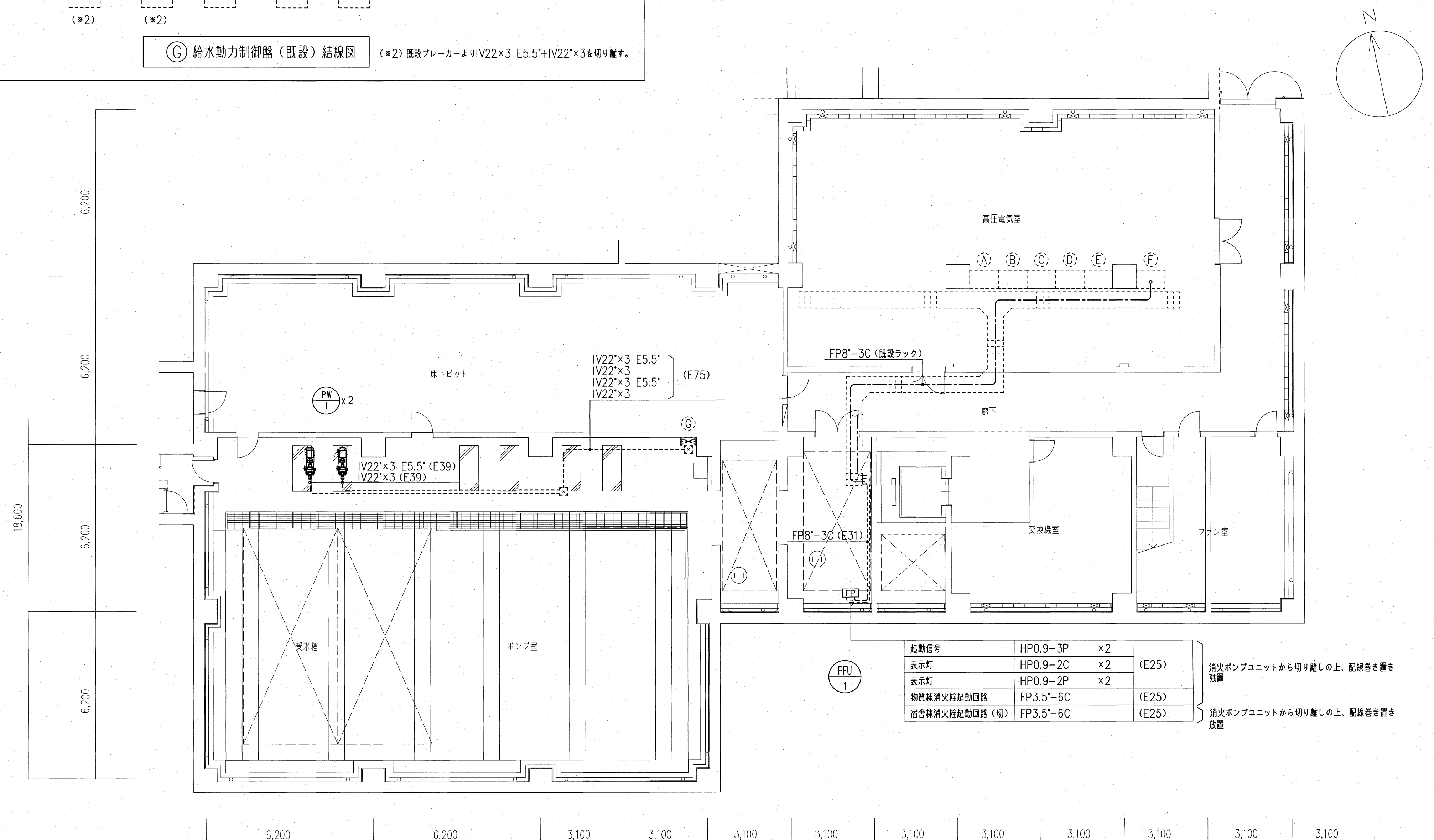
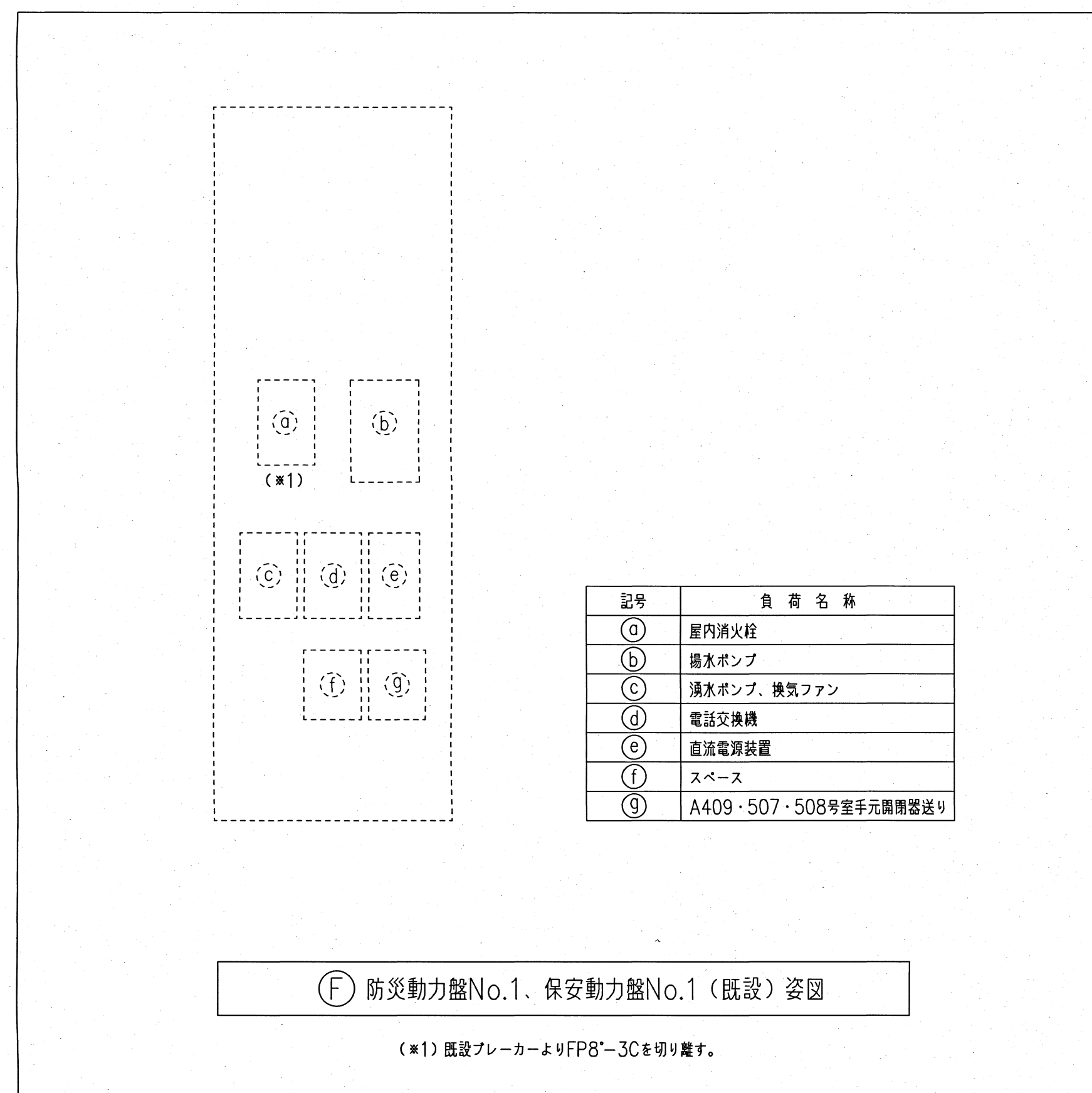


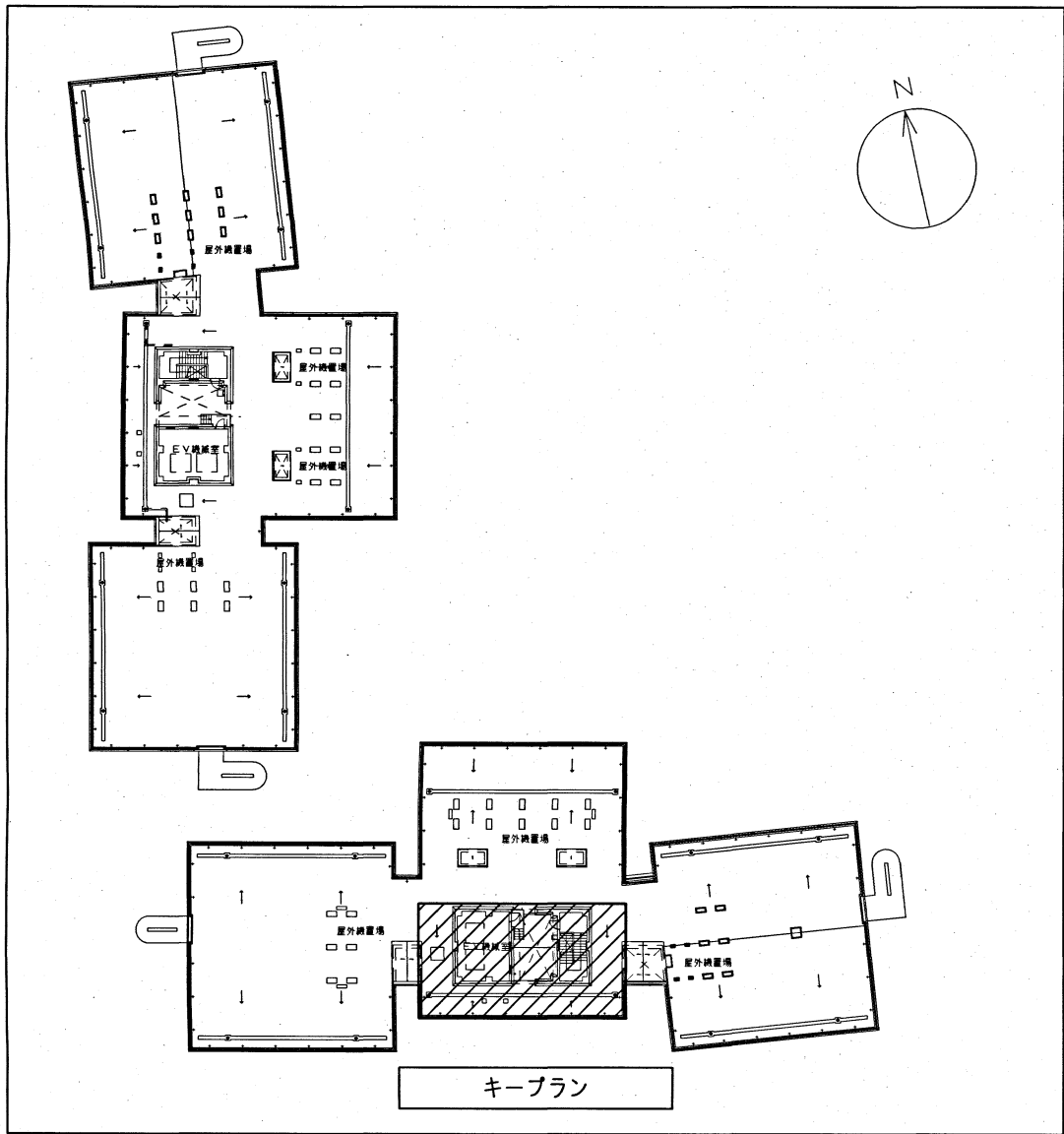
記号	盤 名 称	
(A)	一般実験兼用盤No.1、電灯盤No.1-1	(既設)
(B)	電灯盤No.1-2	(既設)
(C)	電灯盤No.1-3	(既設)
(D)	低圧電灯盤No.2	(既設)
(E)	一般動力盤No.1、動力盤No.1-1	(既設)
(F)	防災動力盤No.1、保安動力盤No.1	(既設)
(G)	給水動力制御盤	(既設)

凡 例		
記 号	名 称	備 考
[FP]	消火ポンプユニット	衛生設備参照
≡≡	動力制御盤	既設
□	ブルボックス	既設
-----	露出配管配線	
-----	ケーブルラック配線	
→[OL]	ケーブルラック	既設

注 記

1. 図中大線図は撤去、細破線図は既設を示す。
2. 撤去に際しては事前に調査を行うこと。
3. 既設壁・床打ち込み配管配線は配線のみ引き抜きとする。



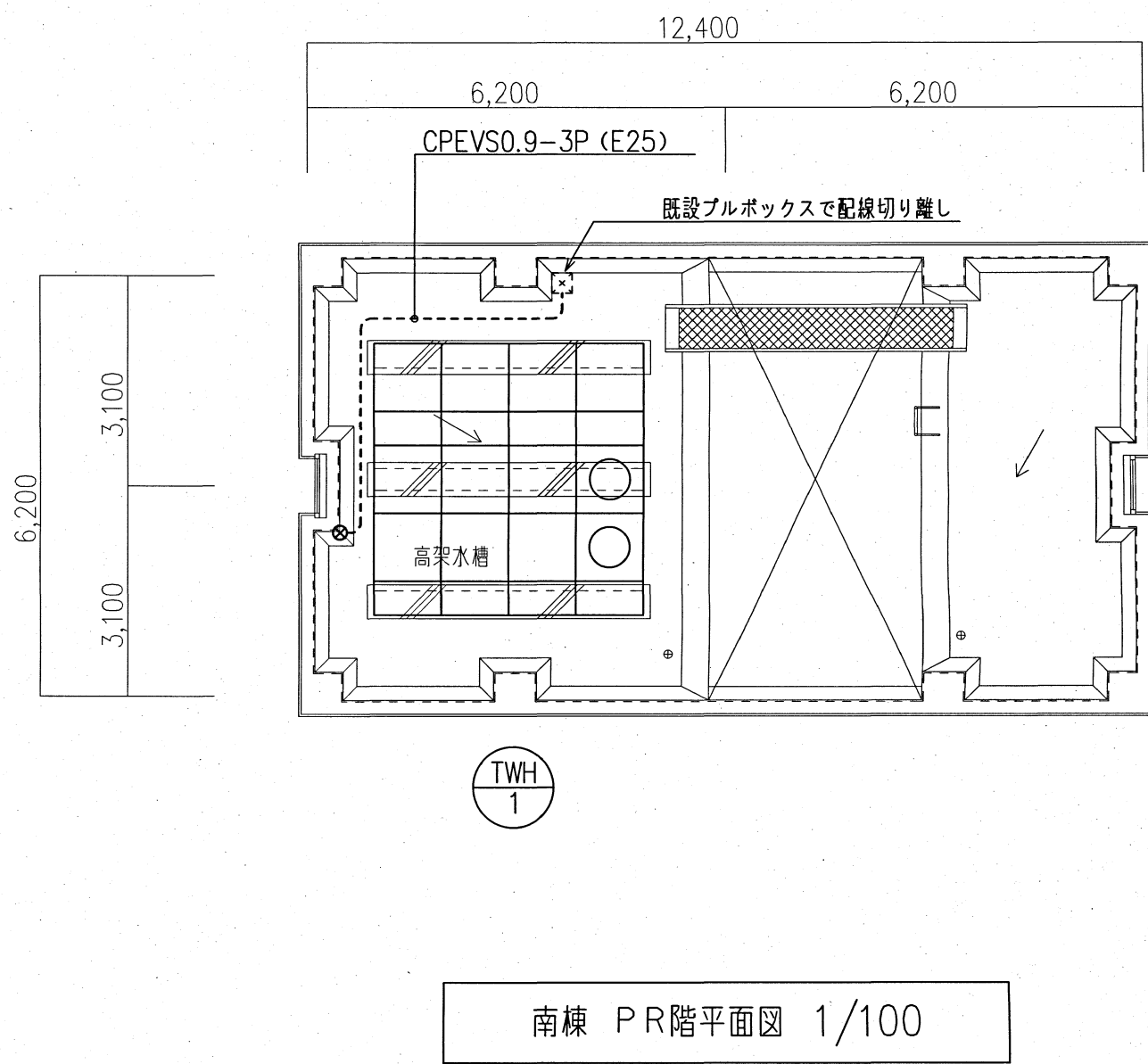
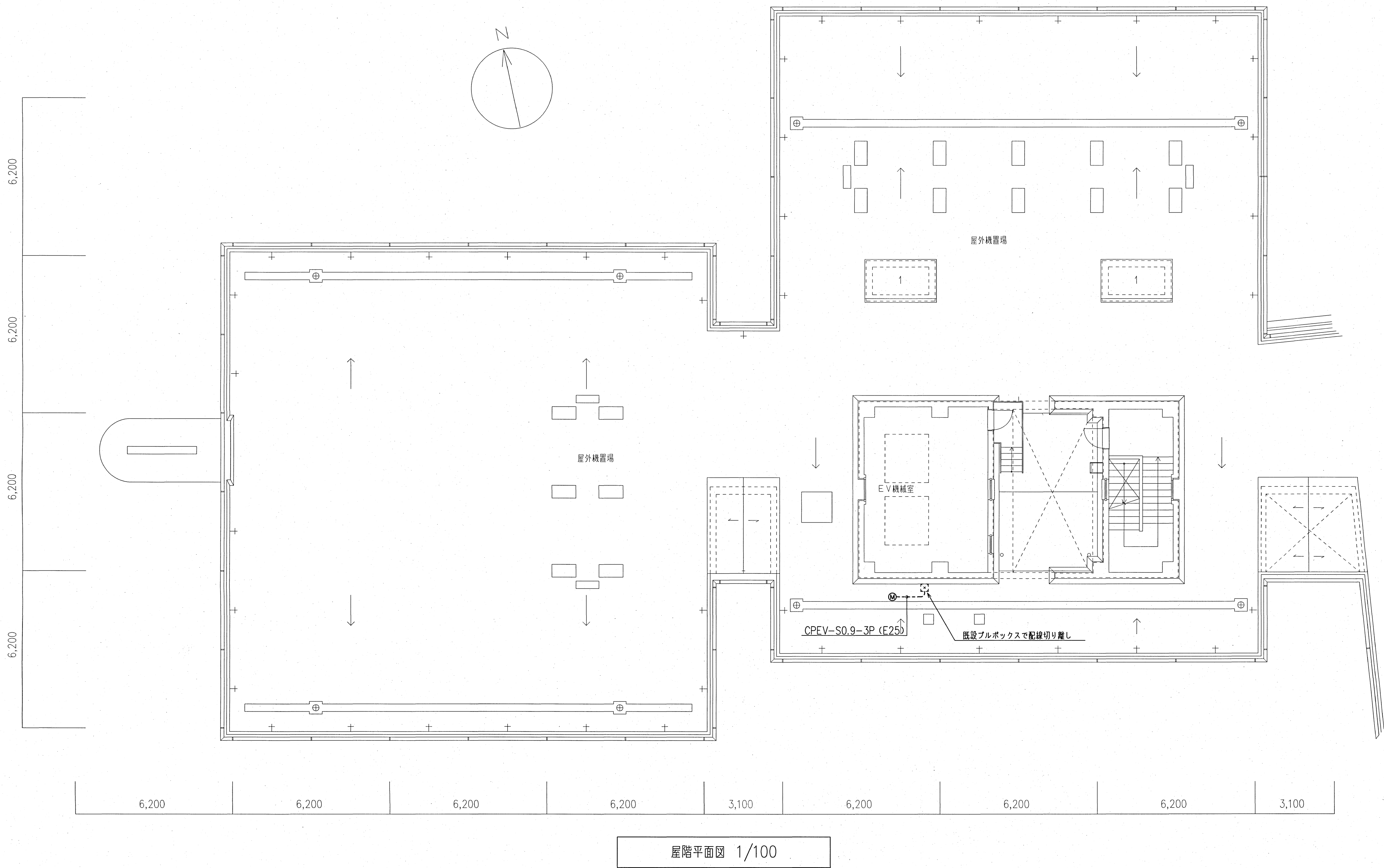






凡 例		
記 号	名 称	備 考
①	量水器	衛生設備参照
②	水位センサー	衛生設備参照
③	ブルボックス	既設
-----	露出配管配線	

- 注 記
1. 図中大線図は撤去、細破線部は既設を示す。

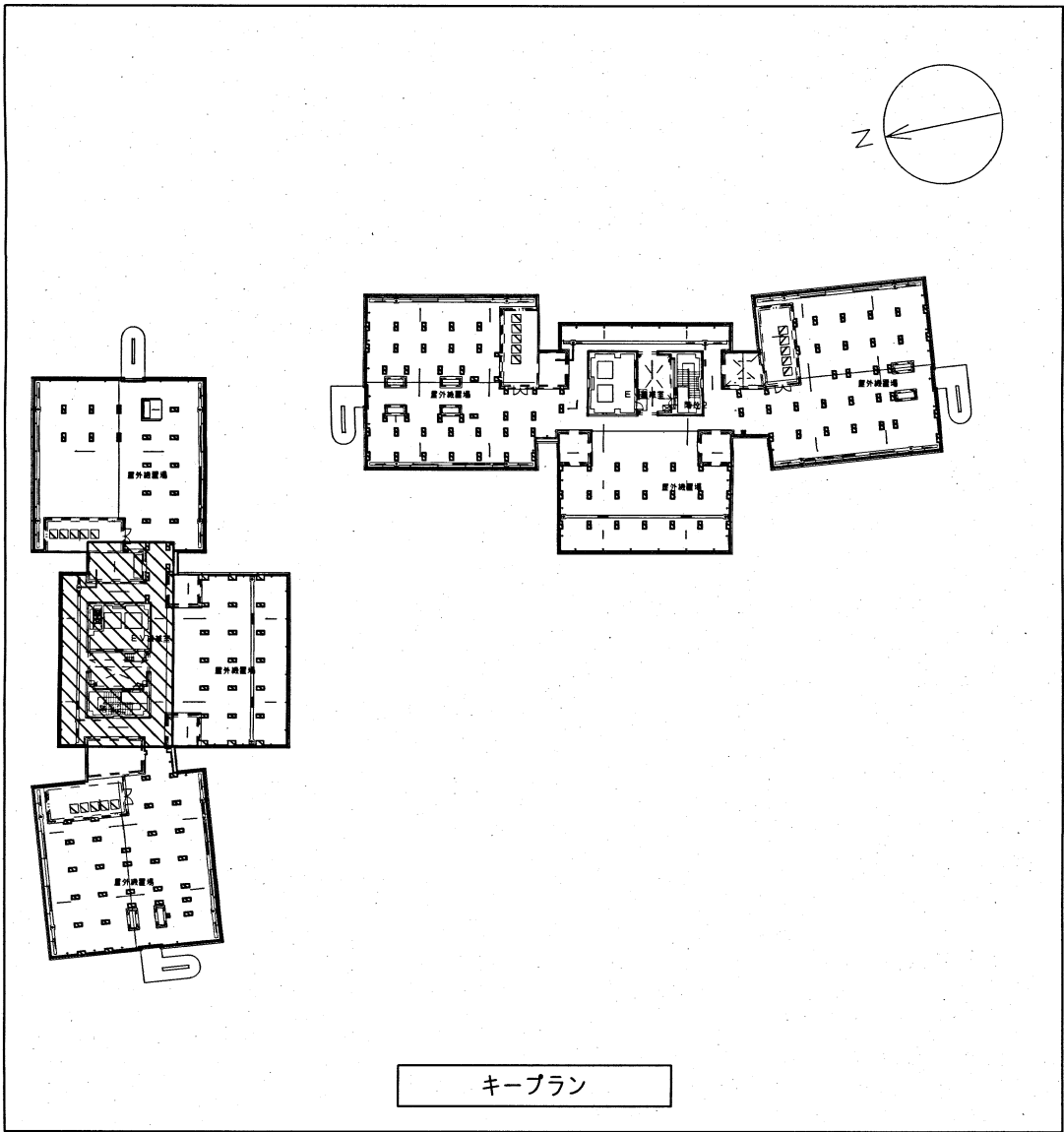
2. 撤去に際しては事前に調査を行うこと。

3. 既設壁・床打ち込み配管配線は配線のみ引き抜きとする。



訂正	令和 年 月 日							設計業務名	設計年月日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度
								奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	令和 7 年 6 月 日	課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	令和 7 年度
									整理番号					図面名称	縮尺 図面番号
								株式会社新日本設備計画						情報科学A棟 自動制御設備 屋階平面図（撤去）	A1:1/100 A3:1/200 E-07



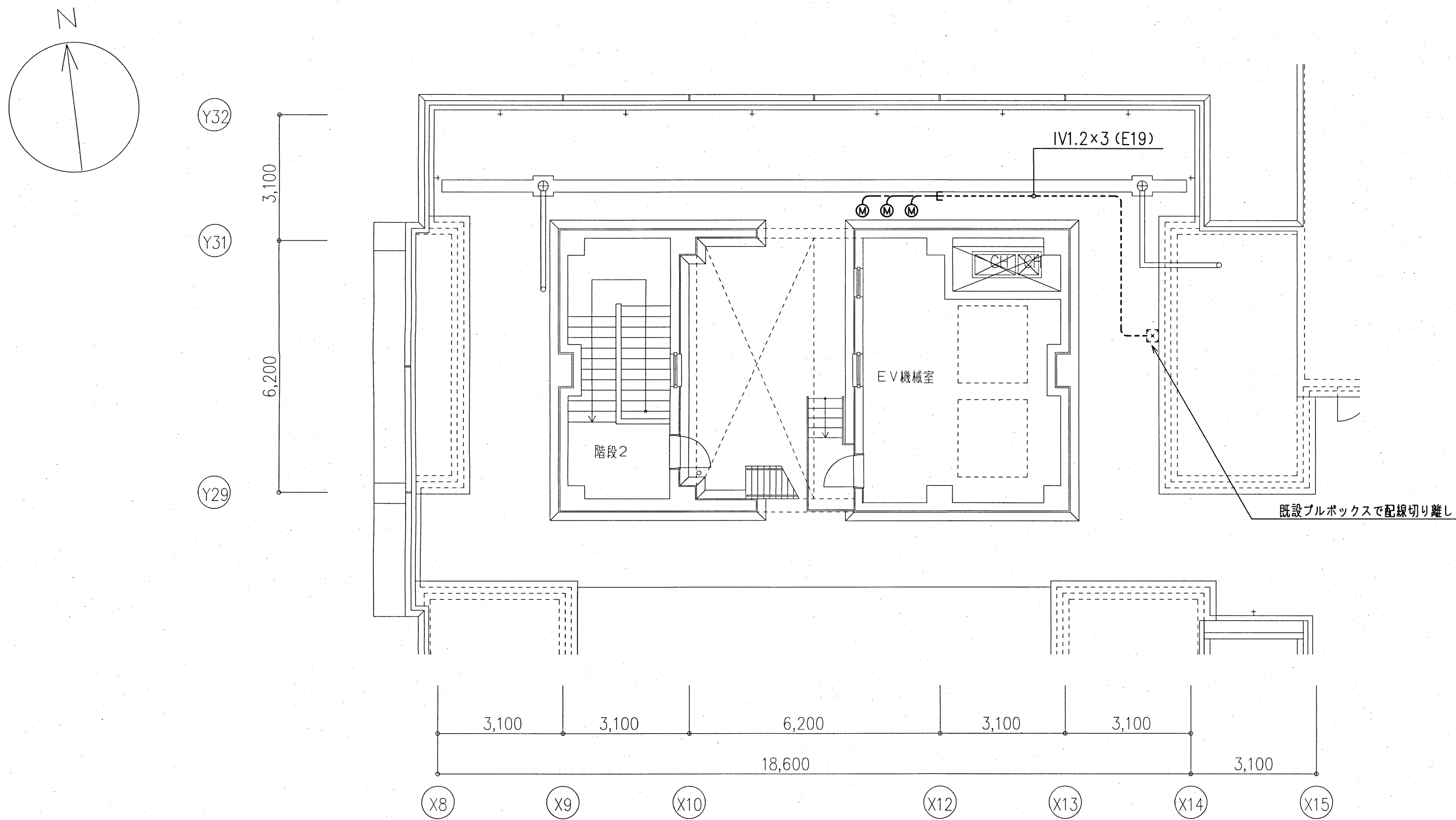


凡 例		
記 号	名 称	備 考
㊦	量水器	衛生設備参照
㊧	水位センサー	衛生設備参照
㊨	ブルボックス	既設
----	露出配管配線	
----	こもがし配線	

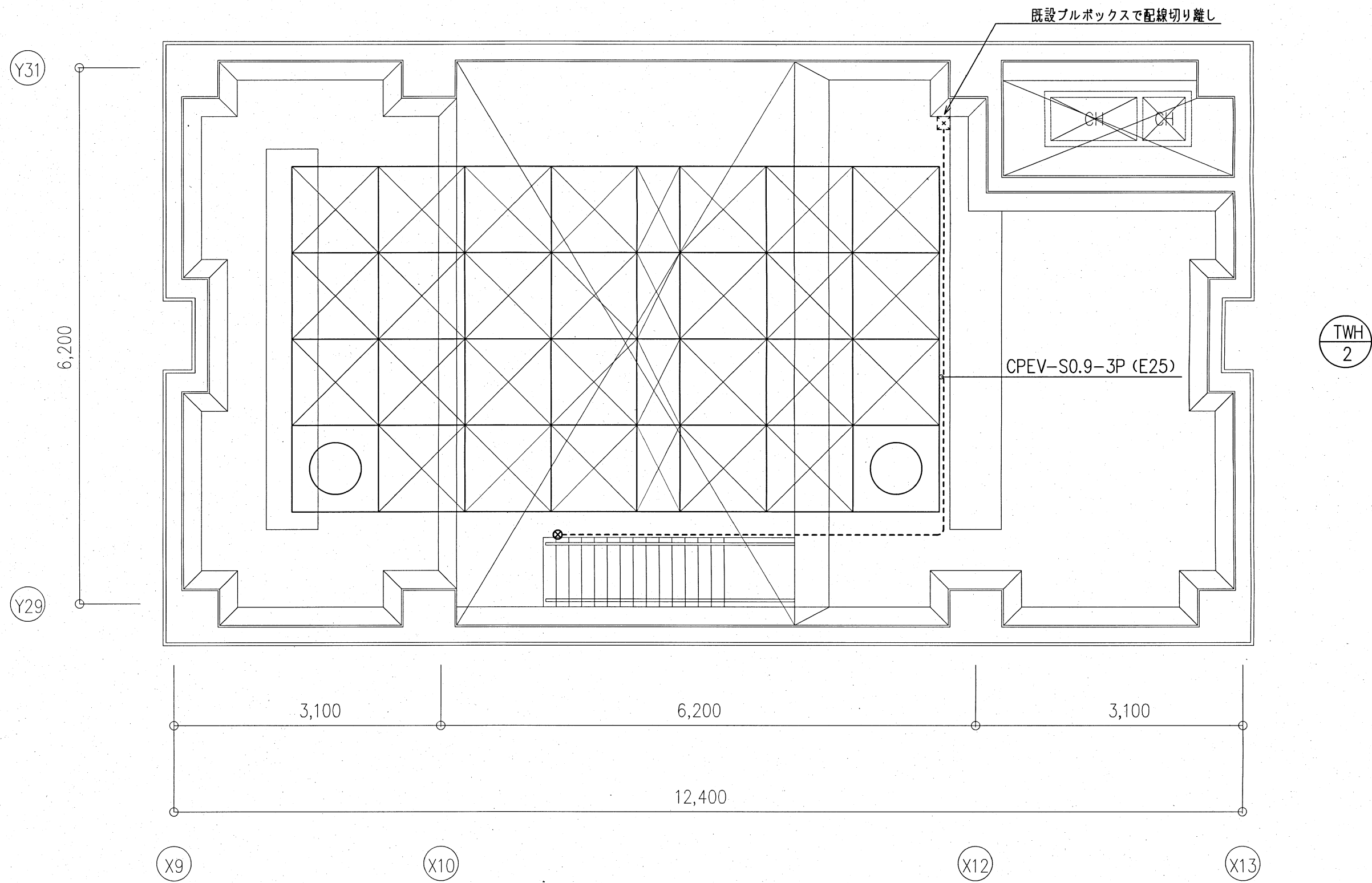
- 注 記
1. 図中太線図は撤去、細破線部は既設を示す。

2. 撤去に際しては事前に調査を行うこと。





3. 既設壁・床打ち込み配管配線は配線のみ引き抜きとする。

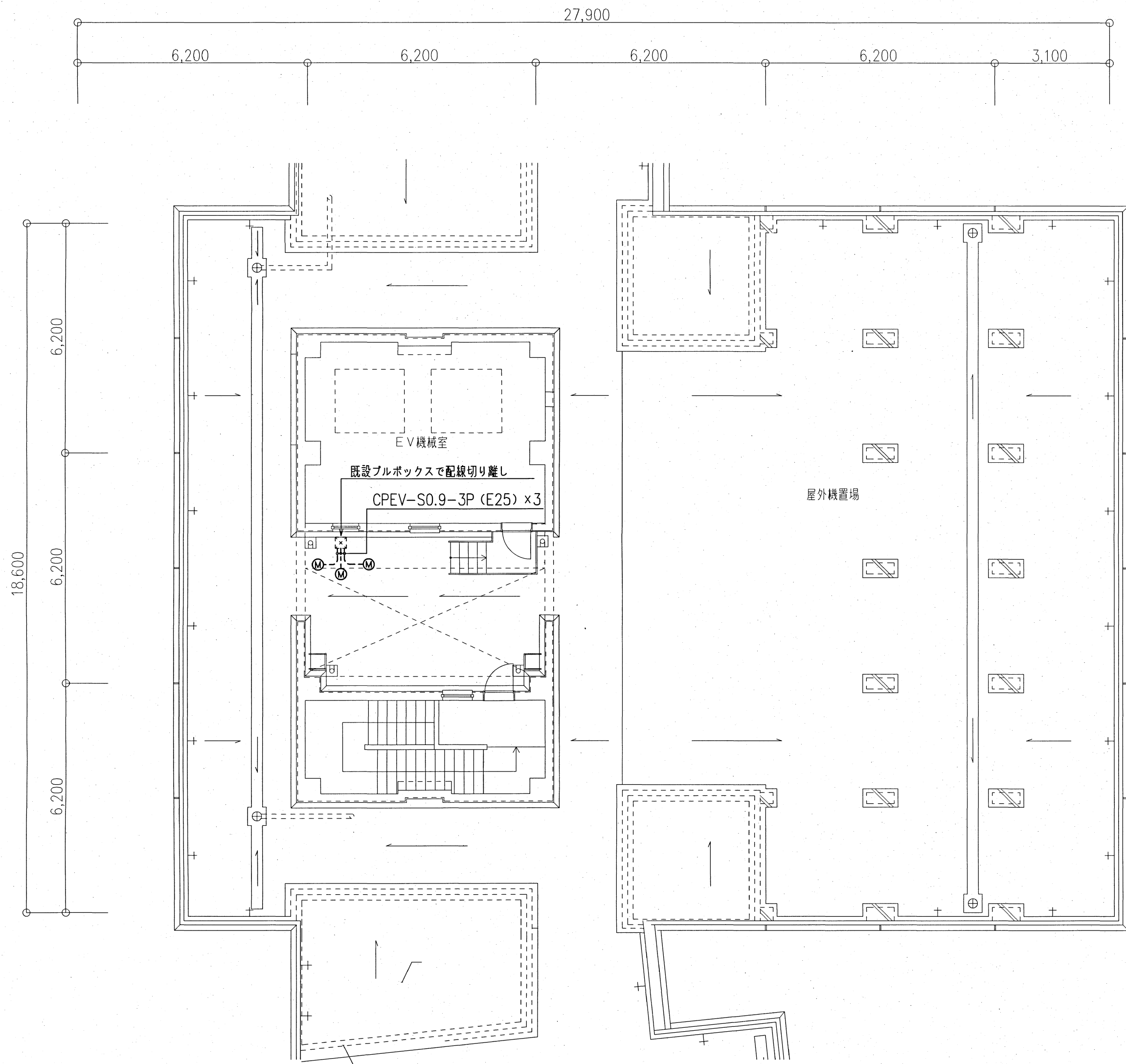
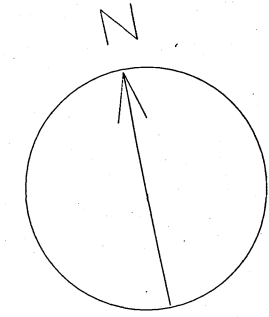
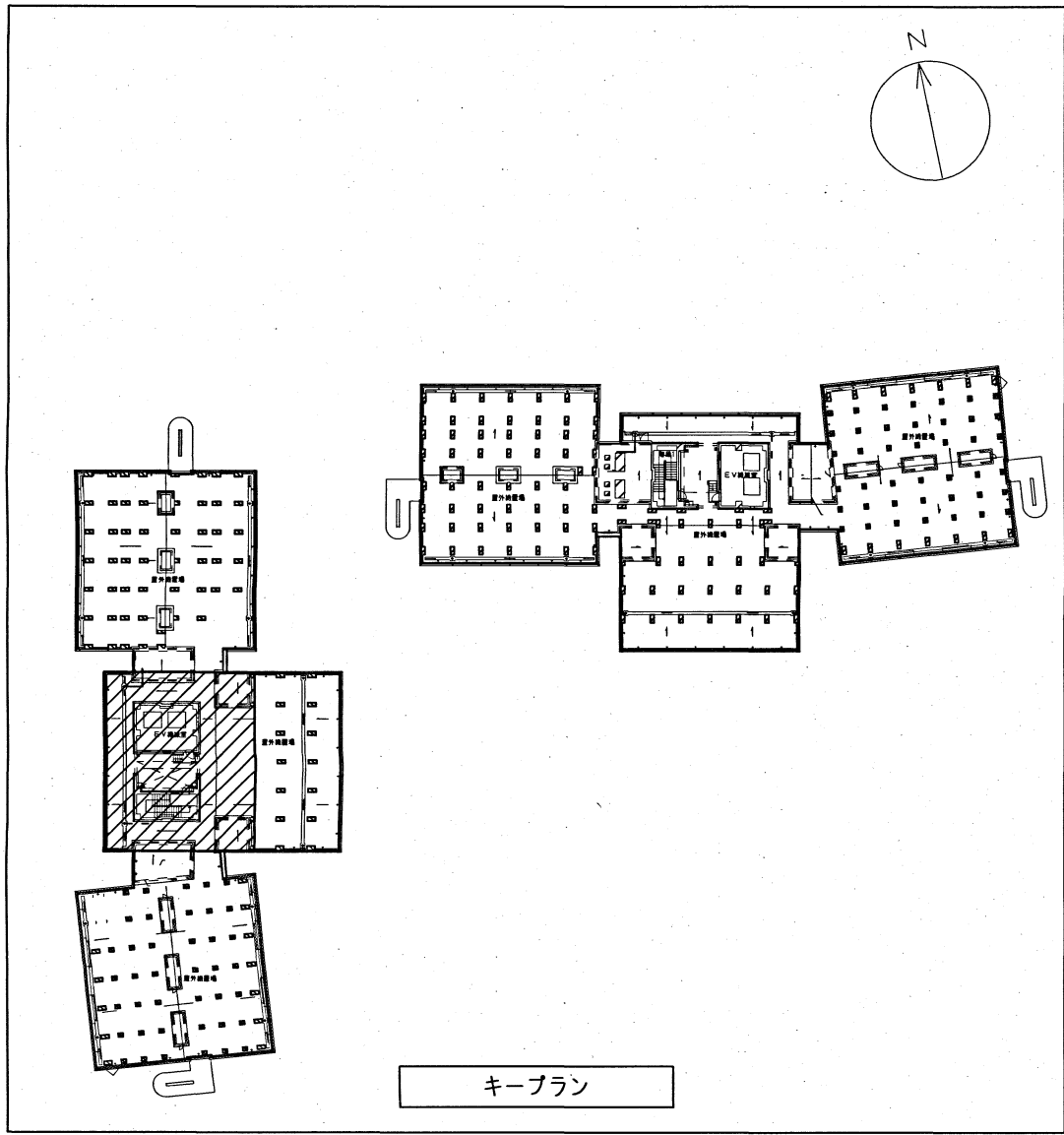


屋階平面図 1:100



P1階平面図 1:100

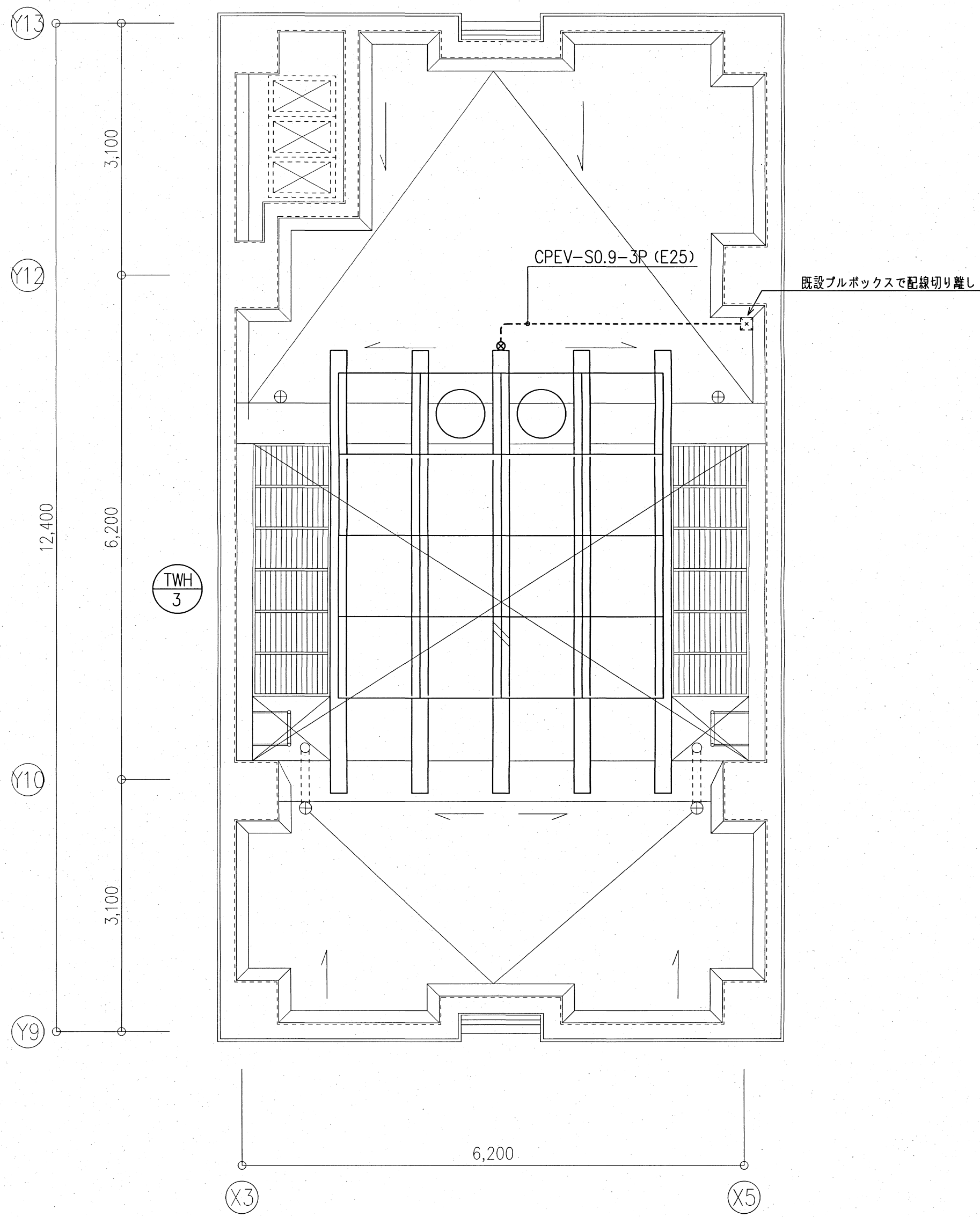
訂正	令和	年	月	日							設計業務名	設計年月日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度	
											奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	令和 7 年 6 月 日	課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	令和 7 年度	
												整理番号					図面名称	縮尺	図面番号
											株式会社新日本設備計画						バイオサイエンス C 棟	A1:1/100	E-08
																	自動制御設備 屋階平面図（撤去）	A3:1/200	



屋階平面図 1/100

凡 例		
記 号	名 称	備 考
①	量水器	衛生設備参照
②	水位センサー	衛生設備参照
③	ブルボックス	既設
---	露出配管配線	

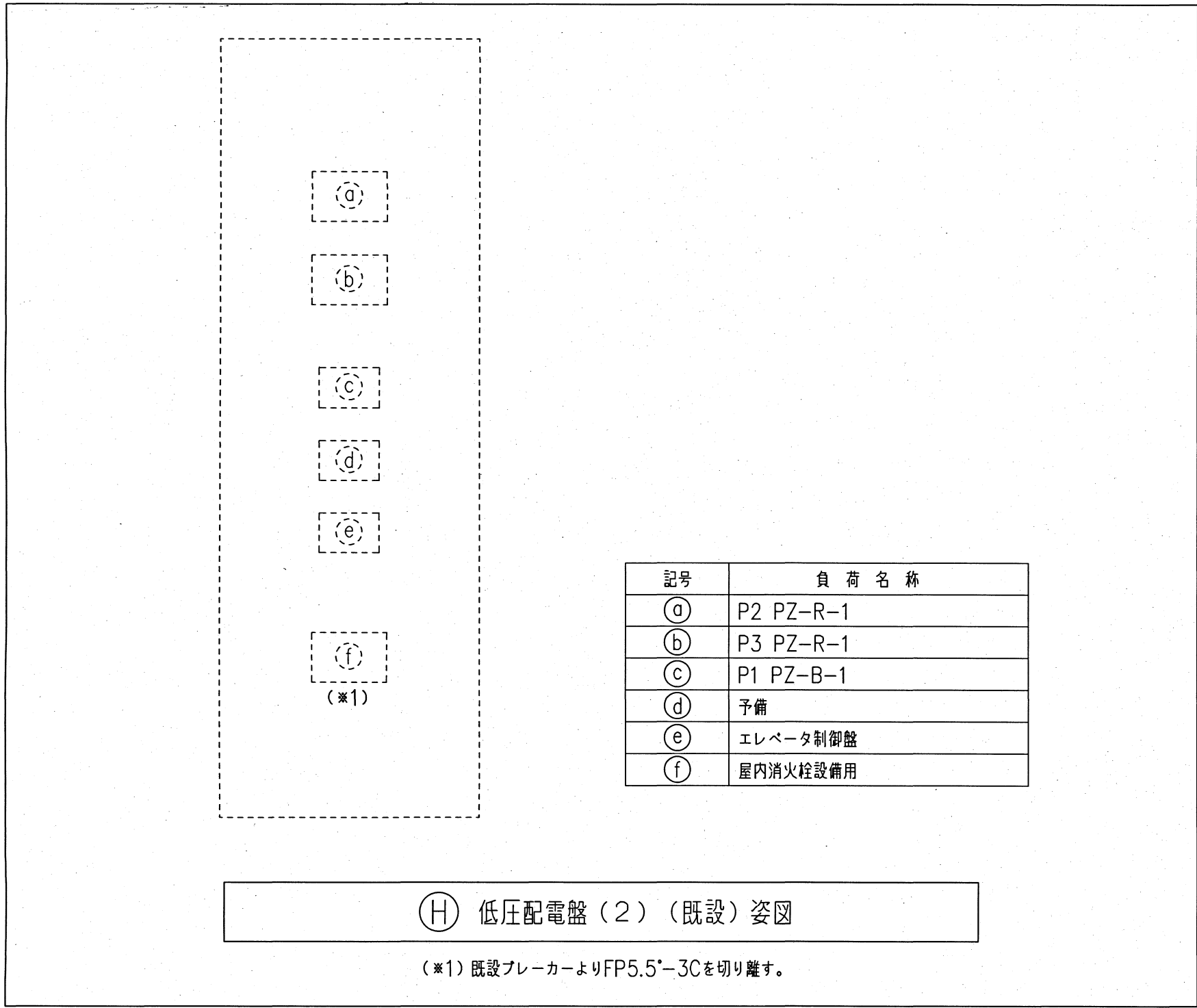
- 注 記
- 図中大線図は撤去、細破線部は既設を示す。
  - 撤去に際しては事前に調査を行うこと。
  - 既設壁・床打ち込み配管配線は配線のみ引き抜きとする。



P1階平面図 1/100

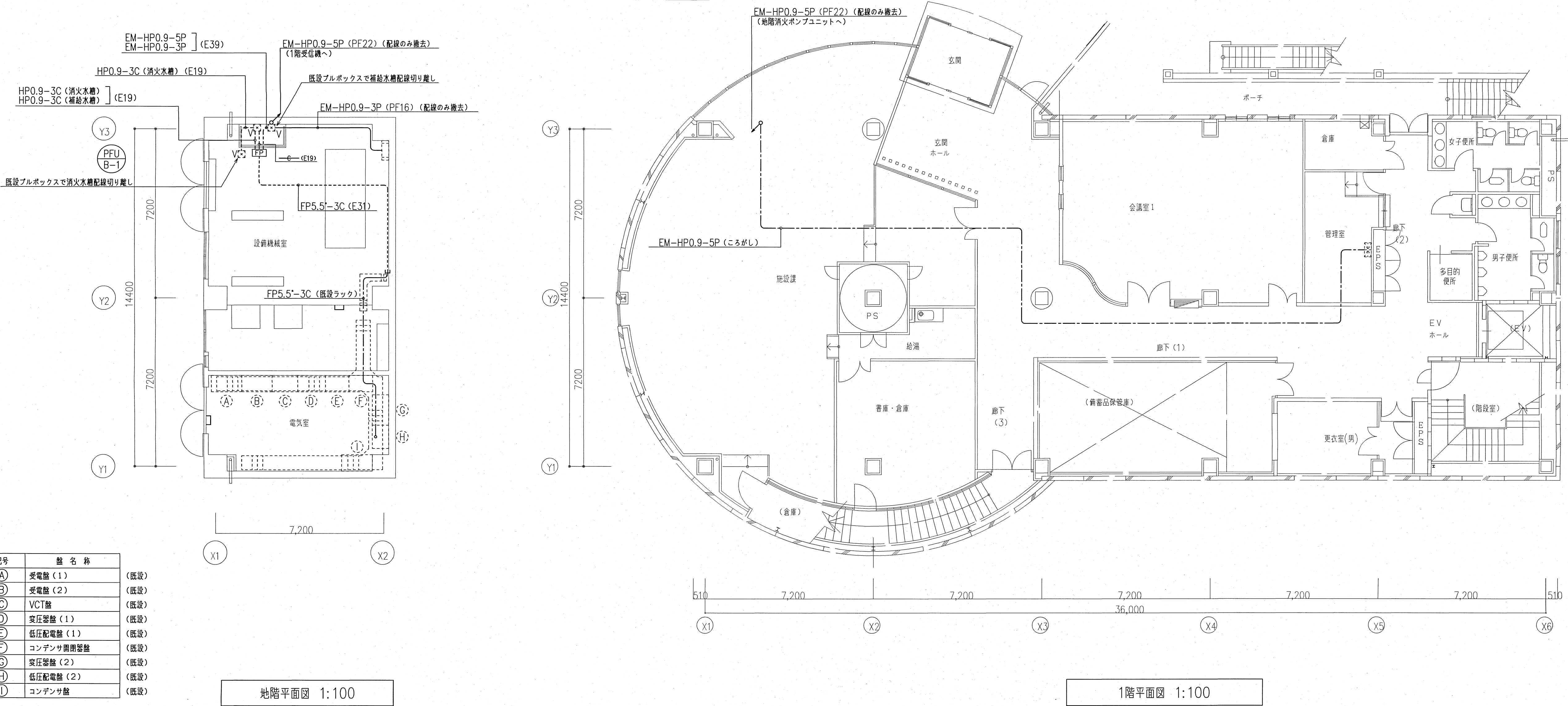
訂正 令和 年 月 日								設計業務名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	設計年月日 令和 7 年 6 月 日 整理番号	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	年度		
															令和 7 年度		
										課長 課長補佐 係長 担当者							
株式会社新日本設備計画															図面名称 物質創成科学E棟 自動制御設備 屋階平面図（撤去）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E-09









凡 例		
記 号	名 称	備 考
[FP]	消火ポンプユニット	衛生設備参照
[ESP]	受信機	既設
[CCU]	消火栓	既設
[B]	ブルボックス	既設
——	隠ぺい配管配線	
-----	露出配管配線	
——	ころがし配線またはケーブルラック配線	
——	ケーブルラック	既設

- 注 記
- 図中大線図は撤去、細破線部は既設を示す。
  - 撤去に際しては事前に調査を行うこと。
  - 既設壁・床打ち込み配管配線は配線のみ引き抜きとする。



記号	盤 名 称	
(A)	受電盤 (1)	(既設)
(B)	受電盤 (2)	(既設)
(C)	VCT盤	(既設)
(D)	変圧器盤 (1)	(既設)
(E)	低圧配電盤 (1)	(既設)
(F)	コンデンサ開閉器盤	(既設)
(G)	変圧器盤 (2)	(既設)
(H)	低圧配電盤 (2)	(既設)
(I)	コンデンサ盤	(既設)

訂正	令和	年	月	日							設計業務名	設計年月日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度	
											奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）設計業務	令和 7 年 6 月 日	課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大 基幹・環境整備（給水設備Ⅱ）工事	令和 7 年度	
												整理番号					図面名称	縮尺	図面番号
											株式会社新日本設備計画						事務局別館 自動制御・動力設備 地階、1 階平面図（撤去）	A1:1/100 A3:1/200	E-10